Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館

豊田市美術館
年報

ANNUAL REPORT
Toyota Municipal Museum of Art

NO.28

2023/04–2024/03

豊田市美術館
年報

ANNUAL REPORT
Toyota Municipal Museum of Art

NO.28

凡例

◎展覧会の出品作品、収集作品のデータは
原則として、以下のとおりに記した。
作者名
制作年
技法、素材
寸法（縦 × 横 × 奥行、高さは H、直径はΦで表示）
所蔵者
不明な項目は空欄とした。
また、常設展示、常設特別展示、ならびに収集作品において所蔵者
が「豊田市美術館」である場合は、一部省略した。

目次

常設展

004 第1期常設展示
005 第2期常設展示
コレクション／ライトと並走するヨーロッパのデザイン
008 第3期常設展示
011 髙橋節郎館　第1期常設展示
013 髙橋節郎館　第2期常設展示

企画展/常設特別展

015 吹けば風
018 コレクション企画　枠と波
022 帝国ホテル二代目本館100周年
フランク・ロイド・ライト　世界を結ぶ建築
040 コレクション展　歿後20年　若林奮
042 未完の始まり：未来のヴンダーカンマー

作品管理

044 収集作品一覧
054 作品貸出実績

教育・普及

056 講演会、シンポジウム
講座、講演会、ギャラリートーク、ワークショップ
作品ガイドボランティア
学校団体の受け入れ
博物館実習
研修会
庭園活用事業
出版、ビデオ、音声ガイド制作
撮影協力
そのほか

060 **調査研究**

利用実績

061 観覧者数
ギャラリー利用状況
062 ライブラリー利用状況
レストラン等付属施設利用状況

組織

063 組織図
美術館運営協議会
美術品収集委員会

関係法規

064 豊田市美術館条例
065 豊田市美術館管理規則

068 **沿革**

第1期常設展示

2023年6月27日[火]−9月24日[日]
81日間
展示室6, 7

展示室6

01
下村 観山
美人と舎利
1909年
膠彩、絹布
各126.0×50.7cm（双幅）

02
グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

03
エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.9×110.5cm

04
ルネ・マグリット
無謀な企て
1928年
油彩、カンヴァス
116.0×81.1cm

05
小堀 四郎
黄衣の女
1932年
油彩、カンヴァス
162.2×114.0cm

06
ジョアン・ミロ
絵画
1933年
油彩、カンヴァス
128.0×162.0cm

07
フランシス・ベーコン
スフィンクス
1953年頃
油彩、カンヴァス
151.0×116.0cm

08
宮脇 晴
戯れる
1954年
油彩、カンヴァス
100.0×80.3cm

展示室7

09
草間 彌生
無題（イス）
1963年
詰めもの入り縫製布、木製椅子
87.5×45.0×57.0cm

10
草間 彌生
チェア
1965年
詰めもの入り縫製布、木製椅子
90.0×80.0×87.0cm

11
ギュンター・ユッカー
変動する白の場
1965年
釘、カンヴァス、木、アクリル
150.0×150.0cm

12
岡崎 和郎
両の手
1971年
石膏に彩色
6.1×12.7×21.8cm

13
トニー・クラッグ
無題（棚に置いた5本のボトル）
1982年
プラスチック・ボトル
26.0×60.5×11.0cm

14
宮脇 綾子
ひもと遊ぶ
1986年
アプリケ
33.6×33.6cm

15
法貴 信也
無題
2008年
油彩、アルミ積層複合材
111.7×161.5cm

16
横山 奈美
ＬＯＶＥ
2018年
油彩、麻布
182.0×227.3cm

第2期常設展示

2023年10月21日[土]ー12月24日[日]
56日間
コレクション（展示室4-5）
ライトと並走するヨーロッパのデザイン（展示室6-7）

展示室4

01
岡崎 和郎
HISASHI
1979年
ABS樹脂に彩色
6.6×19.9×18.5cm

02
岡崎 和郎
HISASHI
1979年
ABS樹脂に彩色
11.2×24.0×34.8cm

03
岡崎 和郎
HISASHI
1979年
ABS樹脂に彩色
6.0×23.8×16.4cm

04
大岡 信・加納 光於
アララットの船あるいは空の蜜
1971-72年
ミクストメディア
68.5×44.0×24.0cm

05
中西 夏之
コンパクト・オブジェ
1968年
ポリエステル、鋏、砂鉄、磁石、鎖、針、赤い糸、かみそりの刃、電球、コルク瓶
15.0×25.0×16.0cm

06
高松 次郎
板の単体（赤）
1970年
ラッカー、木
177.0×177.0cm

07
高松 次郎
板の単体（黒）
1970年
ラッカー、木
228.0×108.0cm

08
高松 次郎
板の単体（青）
1970年
ラッカー、木
230.0×60.0cm

09
関根 伸夫
位相 No.13
1968年
合板、木、ラッカー
224.0×140.0×43.0cm

10
李 禹煥
線より
1977年
油彩、岩絵具、カンヴァス
182.0×227.0cm

11
榎倉 康二
無題
1970年（1995年再制作）
革、合板
220.0×217.0×4.0cm

12
小清水 漸
a tetrahedron-鋳鉄
1974年
鉄
85.0×75.0×70.0cm

13
三木 富雄
EAR
1965年
アルミニウム
170.0×138.0×33.5cm

14
斎藤 義重
作品 10
1961年
油彩、合板
181.4×121.2cm

15
斎藤 義重
作品
1951年（1973年再制作）
ラッカー、合板
120.0×100.1cm

16
毛利 武士郎
作品（パルサー）
1957年
鉄
132.0×108.0×108.0cm

17
篠田 守男
テンションとコンプレッション 27
1959年
真鍮、鉄、木
30.0×20.0×14.0cm

18
篠田 守男
テンションとコンプレッション 30
1961, 92年
ブロンズ、ステンレスワイヤー、アルミニウム
60.0×160.0×35.0cm

19
堀内 正和
D氏の骨ぬきサイコロ
1964年（1994年鋳造）
ブロンズ
53.5×18.0×18.0cm

20
辻 晉堂
坐像
1952年
石膏
63.0×48.0×50.0cm

21
柳原 義達
坐る
1960年（1993年鋳造）
ブロンズ
129.5×44.0×75.0cm

展示室5

22
アルベルト・ジャコメッティ
ディエゴの胸像
1954年
ブロンズ
39.5×33.0×19.0cm

23
浅野 弥衛
彫刻のある室内
1955年
油彩、カンヴァス
60.6×72.7cm

24
杉全 直
作品
1960年
油彩、アクリル、カンヴァス
145.5×96.0cm

25
山口 長男
三ツノ円 A
1949年
油彩、カンヴァス
195.0×300.0cm

26
ジャン・デュビュッフェ
存在の漏出
1950年
油彩、イゾレル
55.0×46.0cm

27
ジョアン・ミロ
絵画
1933年
油彩、カンヴァス
128.0×162.0cm

28
マックス・エルンスト
子供、馬そして蛇
1927年
油彩、カンヴァス
71.5×82.0cm

29
熊谷 守一
高原の秋
1935年頃
油彩、板
37.9×45.5cm

30
宮脇 晴
膝の裸婦
1930年
油彩、カンヴァス
91.0×65.2cm

31
小堀 四郎
影
1927年
油彩、カンヴァス
130.5×89.8cm

32
坂本 繁二郎
ポルテ・シャンチー
1922年
油彩、カンヴァス
31.9×40.9cm

33
中村 彝
髑髏のある静物
1923年
油彩、カンヴァスボード
32.5×23.7cm

34
オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

35
エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.9×110.5cm

36
グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

37
今村 紫紅
大井川
1913年
膠彩、絹布
136.0×56.0cm

38
入江 波光
草園
1925-26年頃
膠彩、絹布
136.5×42.2cm

39
村上 華岳
瞻部樹下悉達太子禅定之図
1933年
墨、膠彩、紙
67.3×31.7cm

40
山本 丘人
海の微風
1936年
膠彩、絹布
173.6×180.6cm

41
前田 青邨
二日月
1946年
墨、膠彩、紙
79.5×109.0cm

42
福田 平八郎
牡丹猫
1949年
膠彩、紙
80.0×50.8cm

43
宮脇 綾子
百日草
1953年
アプリケ
28.0×152.0cm

ライトと並走するヨーロッパのデザイン

展示室6

01
チャールズ・レニー・マッキントッシュ
芸術愛好家の家Ⅱ
デザイン：1901年、出版年：1902年（アレクサンダー・コッホ出版社）
リトグラフ、紙
各54.6×40.4cm（本紙14枚）

01-1
第1葉　1階および2階の平面図

01-2
第2葉　東側および西側立面図

01-3
第3葉　北側立面図

01-4
第4葉　南側立面図

01-5
第5葉　南東側の透視図

01-6
第6葉　北西側の透視図

01-7
第7葉　応接間兼ミュージックルームの透視図

01-8
第8葉　応接間の窓の立面図

01-9
第9葉　ミュージックルームのピアノを設置する壁面および応接間の暖炉を設置する壁面の立面図

01-10
第10葉　こども部屋の透視図

01-11
第11葉　ベッドルームの壁の立面図：洗面台、暖炉、洋服箪笥

01-12
第12葉　ホールの南側の壁および廊下の立面図

01-13
第13葉　ダイニングルームの食器棚の立面図

01-14
第14葉　ダイニングルームの透視図

02
アンリ・ヴァン・デ・ヴェルデ
ハーピー理髪店のアームチェア
1901年
マホガニー、革
97.5×63.5×60.0cm

03
ペーター・ベーレンス
椅子
デザイン年：不詳
製作年：1902年（アントン・ブリュッゲル）
カシ、籐
99.6×44.5×45.8cm

04
チャールズ・レニー・マッキントッシュ
アーガイル・ストリート・ティールームのラダーバック・アームチェア
1898年
カシ
137.5×62.5×42.3cm

05
ペーター・ベーレンス
ディナー・プレートとデザート・プレート
デザイン年：不詳
製作年：1901年（陶磁器製造所バウシャー兄弟商会）
磁器
2.2cm、Φ24.9cm/1.6cm、Φ16.2cm

06
ペーター・ベーレンス
スプーンとナイフ
デザイン年：不詳
製作年：1902年（ザクセン金属製品製造所アウグスト・ヴェルナー父子商会株式会社）
ホワイトメタル
スプーン21.5×5.0cm、スプーン20.0×4.9cm、ナイフ25.5×2.0cm

07
ペーター・ベーレンス
ナイフとフォーク
デザイン年：不詳
製作年：1904年頃（銀製品製造所フランツ・バーナー株式会社）
銀
ナイフ:21.0×2.7cm、フォーク:21.0×2.7cm

08
ペーター・ベーレンス
ナイフ、フォーク、スプーン
デザイン年：不詳
製作年：1904年頃（銀製品製造所フランツ・バーナー株式会社）
銀
ナイフ24.7×2.7cm、フォーク21.2×2.5cm、スプーン21.7×4.5cm

09

ペーター・ベーレンス
床用タイル
デザイン年：1904年頃
製作年：1904年頃（ヴィレロイ & ボッホ）
つや消し加工、磁器
各16.9×16.9×2.1cm（6枚組）

10
ペーター・ベーレンス
壁用タイル
デザイン年：不詳
製作年：1904年頃（ヴィレロイ & ボッホ）
14.6×14.6×1.1cm

11
ペーター・ベーレンス
壁用タイル
デザイン年：不詳
製作年：1904年頃（ヴィレロイ & ボッホ）
14.6×14.6×1.1cm

12
ペーター・ベーレンス
壁用タイル
デザイン年：不詳
製作年：1904年頃（ヴィレロイ & ボッホ）
14.6×14.6×1.1cm

13
ペーター・ベーレンス
壁用タイル
デザイン年：不詳
製作年：1904年頃（ヴィレロイ & ボッホ）
14.6×14.6×1.1cm

展示室7

14
ペーター・ベーレンス
〔建築図面〕 マンネスマンパイプ製造会社の管理棟、立面図（第9頁）
1911年
青写真、紙
49.0×90.0cm

15
ペーター・ベーレンス
〔建築図面〕 ドイツ産業展のドームバウヒュッテの煉瓦壁、立面図
1922年
鉛筆、トレーシングペーパー
106.3×73.6cm

16
ペーター・ベーレンス
〔建築図面〕 アレクサンダー・ホフマン邸
1924年
鉛筆、木炭、トレーシングペーパー
27.4×50.7cm

17
ペーター・ベーレンス
照明器具
1926年
鉛筆、トレーシングペーパー
37.5×43.0cm

18
ペーター・ベーレンス
〔建築図面〕 クルト・レヴィンの別荘、立図面（建築申請書）
1930年
青写真、紙
41.7×67.2cm

19
ペーター・ベーレンス
電気時計
デザイン年：1910年頃
製造年：1929年以降（AEG社）
真鍮、金属
11.0cm、Φ31.0cm

20
ル・コルビュジェ、ピエール・ジャンヌレ、シャルロット・ペリアン
アームチェア（ バスキュラン ）
デザイン年：不詳
製作：1928年頃（トーネット=ムンドス社）
クロームメッキのスティールチューブ、金属、カンヴァス
63.0×59.0×63.0cm

21
ルートヴィヒ・ミース・ファン・デル・ローエ
アームチェア（ MR 534 ）
デザイン年：1927年
製作年：1932年（トーネット=ムンドス社）
クロムめっきのスティールチューブ、布、木
78.7×55.5×82.6cm

22
ヘリット・トーマス・リートフェルト
ジグザグ・チェア
デザイン年：1932-33年
製作年：1940年（ヘラルト・A・ファン・デ・フルーネカン）
カエデ、ボルト、ナット
73.0×35.7×43.0cm

23
ヘリット・トーマス・リートフェルト
ベルリン・チェア
デザイン：1923年
製作年：1958年（ヘラルト・A・ファン・デ・フルーネカン）
マツ（またはモミ）
105.5×68.5×55.2cm

第3期常設展示

2024年1月20日[土]−5月6日[月・祝]
95日間
展示室2-7
ただし、展示室4-5は3月17日[日]まで(51日間)
展示室6-7は3月24日[日]まで(57日間)

展示室2

01
山口 啓介
4つの黒船
1990年
エッチング、紙
156.0×240.0cm

02
山口 啓介
炭素の船
1990年
エッチング、紙
140.0×312.0cm

03
山口 啓介
RNA World - 5つの空　5つの海
1991年
エッチング、紙
180.0×390.0cm

展示室3

04
イケムラレイコ
大きいライオンの家
1987年
粘土
23.0×40.0×13.0cm

05
イチハラヒロコ
美術中。
2005年 (1999年のオリジナルに基づく)
カッティングシート、蛍光灯ブラケット
10.0×37.0×9.0cm

06
榎 忠
薬莢
1991年
薬莢、鉄、金メッキ、ガラスケース
各130.0×80.0×40.0cm (2点組)

07
小川 待子
2011-TO-9
2011年
磁土、フリット釉
54.0×62.0×24.0cm

08
河井 寛次郎
象嵌草花扁壺
1941年頃
陶器
22.3×24.0×14.5cm

09
河井 寛次郎
碧釉扁壺
1964年
陶器
19.5×21.0×21.0cm

10
黒田 辰秋
赤漆彫華紋飾手筐
1941年
漆、ヒノキ
18.8×34.2×24.9cm

11
黒田 辰秋
乾漆耀貝螺鈿捻十稜水指
1965年
漆、鮑貝
18.0cm、Φ22.4cm

12
さかぎし よしおう
5005
2005年
セラミック
4.7×8.1×4.7cm

13
さかぎし よしおう
5014
2005年
セラミック
14.3×15.1×7.0cm

14
さかぎし よしおう
7029
2007年
セラミック
8.7×8.7×6.5cm

15
さかぎし よしおう
8012
2008年
セラミック
7.3×7.5×7.7cm

16
笹井 史恵
secret negotiation 1
2002年
乾漆に朱漆、塗立仕上
14.0×47.0×18.0cm

17
笹井 史恵
secret negotiation 2
2002年
乾漆に朱漆、塗立仕上
14.0×47.0×18.0cm

18
塩田 千春
トラウマ／日常—赤い靴
2007年
鉄、糸、靴
50.0×25.0×25.0cm

19
須田 悦弘
雑草
2000年
木
サイズ可変

20
高松 次郎
点 (No.1)
1961年
ラッカー、針金
17.0×13.0×10.0cm

21
中西 夏之
コンパクト・オブジェ
1968年
ポリエステル、鋏、砂鉄、磁石、鎖、針、赤い糸、かみそりの刃、電球、コルク瓶
15.0×25.0×16.0cm

22
奈良 美智
Girl on the Boat
1994年
彩色、木
52.0×15.0×30.0cm

23
村上 隆
R. P. (ランドセル・プロジェクト)
1991年
コブラの皮革、タテゴトアザラシ (毛付) の皮革、タテゴトアザラシの皮革、イワシクジラの皮革、ダチョウの皮革、カイマンワニの皮革、カバの皮革、ヨシキリザメの皮革
各30.0×23.0×20.0cm (8点)

24
毛利 武士郎
Mr. 阿からのメッセージ　第3信
1996年
ステンレス
12.7×50.7×13.0cm

25
アルマン
カシャ パシャ、シッパイ
1962年
カメラ、木箱
60.0×100.0×22.0cm

26
ヨーゼフ・ボイス
ジョッキー帽
1963, 85年
フェルト帽、脂肪、絵具、新聞紙
14.5×25.5×17.5cm

27
ヨーゼフ・ボイス
ヴィトリーヌ : 耕地の素描
1963-83年
黒鉛坩堝、乾燥ソラマメ、鍬、シャベル、手鎌、ヴィトリーヌ (木、ガラス)、鉄製台座
205.7×209.5×49.5cm

28
ヨーゼフ・ボイス
ヴィトリーヌ : チンギス・ハーンの玉座
1965-83年
布、ビニール・チューブ、鉄、革紐、フェルト、硫黄、顔料、脂肪、ヴィトリーヌ (木、ガラス)、鉄製台座
205.7×219.5×49.5cm

29
ヨーゼフ・ボイス
ヴィトリーヌ : マルチプル
1969-85年
フェルト、ブリキ缶、グリース、ドライバー、ガラス瓶、コルク栓、プラスチック板、ゼラチン、蜜蝋、鋼、鍬、ヴィトリーヌ (木、ガラス)、鉄製台座
205.7×219.5×49.5cm

30
クリスチャン・ボルタンスキー
罠 1970/71
1970-71年
カミソリ、針、布、木、ガラス
39.5×63.5×12.0cm

31
スタンリー・ブラウン
1×1フット上の1/10×1/10メートル
1991年
アルミニウムシート
26.0×26.0×0.1cm

32
スタンリー・ブラウン
1×1フット上の1/10×1/10ステップ
1991年
アルミニウムシート
26.0×26.0×0.1cm

33
スタンリー・ブラウン
1×1フット上の1/10×1/10エル
1991年
アルミニウムシート
26.0×26.0×0.1cm

34
トニー・クラッグ
無題（棚に置いた5本のボトル）
1982年
プラスチック・ボトル
26.0×60.5×11.0cm

35
ピエロ・マンゾーニ
8.01メートルの線
1959年
インク、紙、紙筒
紙巻801.0×21.7cm、筒Φ5.6cm

36
ヴォルフ・フォステル
アイゼンハワーとド・ゴール　#1
1962年
ミクストメディア
43.0×58.0×8.0cm

展示室4

37
加藤 泉
無題
2006年
油彩、カンヴァス
194.0×162.0cm

38
斎藤 義重
作品
1959年
油彩、板
150.0×120.7cm

39
白髪 一雄
無題
1957年
油彩、紙
182.0×242.0cm

40
堂本 尚郎
連続の溶解 1963-60
1963年
金箔、油彩、カンヴァス
130.0×91.0cm

41
奈良 美智
Through the Break in the Rain
2020年
アクリル、カンヴァス
220.0×195.0cm

42
櫃田 伸也
風の出来事
1977年
油彩、カンヴァス
81.0×117.0cm

43
丸山 直文
path 4
2005年
アクリル、綿布
185.0×185.0cm

44
村瀬 恭子
Swallows 2
2009年
油彩、色鉛筆、綿布
190.0×145.0cm

45
吉原 治良
無題
1961年
油彩、カンヴァス
162.0×131.0cm

46
ゲオルク・バゼリッツ
羊
1964年
油彩、カンヴァス
162.3×130.4cm

47
ダニエル・ビュレン
定まらないフォルムの絵画
1966年
アクリル、ストライプの入った麻布
200.0×200.0cm

48
アルベルト・ブッリ
赤 プラスチック
1964年
燃焼、プラスチック、カンヴァス
60.0×50.0cm

49
クリスト
梱包
1961年
布、ロープ、ボード
75.0×60.0×20.0cm

50
ウィレム・デ・クーニング
二人の人物
1967年
油彩、カンヴァスに貼った紙
90.8×60.3cm

51
ピエロ・マンゾーニ
無色
1958/59年
カオリン、襞のあるカンヴァス
80.0×60.0cm

52
ブリンキー・パレルモ
無題
1970年
綿布、漂白した綿布、絹、木
200.0×200.0×3.0cm

53
A. R. ペンク
密林の理性あるもの
1966年
油彩、カンヴァス
147.0×197.0cm

54
ダニエル・スペーリ
レストラン・シティ・ギャラリー
1965年
ミクストメディア
135.0×135.0×34.0cm

展示室5

55
梅原 龍三郎
少女アニーン
1908年
油彩、カンヴァス
41.0×32.8cm

56
川合 玉堂
桃咲く山里
1949年頃
膠彩、絹布
72.5×54.4cm

57
岸田 劉生
自画像
1913年
油彩、カンヴァス
45.6×38.0cm

58
国吉 康雄
花飾りをつけた女
1932年
油彩、カンヴァス
66.0×81.3cm

59
小杉 放庵
老君出関
1929年
墨、膠彩、絹布
127.7×36.0cm

60
小林 古径
羅浮仙
1920年
膠彩、紙
150.0×48.0cm

61
佐分 眞
アリス
1927年
油彩、カンヴァス
60.5×50.0cm

62
冨田 溪仙
吉野彩雨
1926年
墨、膠彩、絹布
128.3×42.0cm

63
中村 彝
静物
1917年頃
油彩、カンヴァス
39.5×52.0cm

64
速水 御舟
果物
1920年
膠彩、絹布
26.4×23.9cm

65
藤田 嗣治
自画像
1943年
油彩、カンヴァス
23.0×15.0cm

66
村上 華岳
山澗含春図
1936年
墨、膠彩、紙
74.4×30.8cm

67
安田 靫彦
梅花定窯瓶
1963年
膠彩、紙
53.0×45.5cm

68
横山 大観
月明
1909年頃
膠彩、墨、絹布
119.2×41.2cm

69
サルバドール・ダリ
皿のない二つの目玉焼きを背に乗せ、ポルトガルパンのかけらを犯そうとしている平凡なフランスパン
1932年
油彩、板
16.0×22.0cm

70
グスタフ・クリムト
オイゲニア･プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

71
オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

72
ルネ・マグリット
無謀な企て
1928年
油彩、カンヴァス
116.0×81.1cm

73
エゴン・シーレ
レオポルト･ツィハチェックの肖像
1907年
油彩、カンヴァス
149.8×49.7cm

74
エゴン・シーレ
カール･グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.9×110.5cm

75
イヴ・タンギー
失われた鐘
1929年
油彩、カンヴァス
64.2×53.2cm

展示室6

76
小堀 四郎
十三湖の月
1978年
油彩、カンヴァス
112.4×162.0cm

77
小堀 四郎
人生とは
1982年
油彩、カンヴァス
162.5×130.5cm

78
小堀 四郎
生命の神秘（伊東の大楠）
1983年
油彩、カンヴァス
130.0×162.0cm

79
小堀 四郎
生命の神秘（千年の藤）
1986年
油彩、カンヴァス
164.8×130.5cm

80
小堀 四郎
二人で歩いた厳しい道
1987年
油彩、カンヴァス
161.8×149.0cm

81
小堀 四郎
滝･動中静（命の振源）
1991年
油彩、カンヴァス
194.0×112.2cm

展示室7

82
宮脇 晴
樹上姉弟図
1936年
油彩、カンヴァス
130.0×97.0cm

83
宮脇 晴
鳥羽川の橋
1946年
油彩、カンヴァス
72.7×116.7cm

84
宮脇 晴
笛
1965年
油彩、カンヴァス
116.7×72.7cm

85
宮脇 綾子
あやめ
1962年
アプリケ
39.2×99.5cm

86
宮脇 綾子
ひなげし
1969年
アプリケ
71.9×90.0cm

87
宮脇 綾子
うど
1970年
アプリケ
89.0×60.0cm

88
宮脇 綾子
花になったふきのとう
1975年
アプリケ
59.5×29.5cm

89
宮脇 綾子
かぶの花
1976年
アプリケ
108.3×57.2cm

90
宮脇 綾子
筍
1977年
アプリケ
101.4×72.2cm

91
宮脇 綾子
むつごろう
1977年
アプリケ
16.7×41.0cm

92
宮脇 綾子
ごぼう
1986年
アプリケ
49.0×43.3cm

93
宮脇 綾子
あかごち
1989年
アプリケ
35.0×31.0cm

髙橋節郎館 第1期常設展示

2023年6月27日[火]−9月24日[日]
81日間
髙橋節郎館

01
髙橋 節郎
踊り（タンゴ）
1966年
版画／漆、紙
56.1×82.6cm

02
髙橋 節郎
青い絨毯
1955年
鎗金
72.8×60.7cm

03
髙橋 節郎
赤い絨毯
1955年
鎗金
72.8×60.8cm

04
髙橋 節郎
蜃気楼
1960年
鎗金、彩錆絵、螺鈿
197.5×182.0cm

05
髙橋 節郎
化石の年輪
1965年
鎗金、彩錆絵
182.8×182.6cm

06
髙橋 節郎
広間に置く棚「作品58」
1958年
堆朱絵、箔押
75.0×125.5×50.0cm

07
髙橋 節郎
断層
1962年
朱叩き塗
188.1×182.8cm

08
髙橋 節郎
悠久の記
1971年
鎗金、彩錆絵
182.0×182.4cm

09
髙橋 節郎
杉の木の寓話
1959年
鎗金、螺鈿
121.4×243.2cm

10
髙橋 節郎
星座回帰
1986年
鎗金、螺鈿、堆朱
176.7×173.7cm

11
髙橋 節郎
都会の詩　B
制作年不詳
モノタイプ（版画）、漆、紙
41.5×34.0cm

12
髙橋 節郎
都会の朝
制作年不詳
モノタイプ（版画）、漆、紙
41.0×33.0cm

13
髙橋 節郎
はるかなる地平線
制作年不詳
エッチング、紙
18.0×14.0cm

14
髙橋 節郎
風船
1959年
エッチング、紙
18.0×12.0cm

15
髙橋 節郎
夜の猫
1959年
エッチング、紙
14.5×14.5cm

16
髙橋 節郎
天空の婦人像
制作年不詳
エッチング、紙
14.5×13.0cm

17
髙橋 節郎
森の小径
1964年
エッチング、紙
20.5×13.5cm

18
髙橋 節郎
標
1978年
鎗金、螺鈿
121.3×85.0cm

19
髙橋 節郎
東京美術学校課題演習　6
1934-37年
水彩、鉛筆、紙
47.0×63.7cm

20
髙橋 節郎
東京美術学校課題演習　7
1934-37年
水彩、鉛筆、紙
46.5×63.7cm

21
髙橋 節郎
神戸所見
制作年不詳
墨、水彩、紙
60.6×45.6cm

22
髙橋 節郎
神戸
1982年
墨、水彩、紙
45.3×59.9cm

23
髙橋 節郎
長崎の丘
制作年不詳
墨、水彩、紙
33.2×41.1cm

24
髙橋 節郎
雨上がる
制作年不詳
墨、水彩、紙
52.7×94.0cm

25
髙橋 節郎
アルプスの見える街
1984年
墨、水彩、紙
95.2×63.8cm

26
髙橋 節郎
峻岳
1989年
墨、水彩、紙
94.0×181.4cm

27
髙橋 節郎
佐渡
1986年
墨、水彩、紙
17.6×60.3cm

28
髙橋 節郎
峠にて
1986年
墨、水彩、紙
17.5×72.8cm

29
髙橋 節郎
川辺風景
制作年不詳
墨、紙
35.5×44.9cm

30
髙橋 節郎
阿蘇
制作年不詳
墨、水彩、紙
112.0×68.0cm

31
髙橋 節郎
扇面　我眉山
制作年不詳
墨、水彩、紙
110.0×60.0cm

32
髙橋 節郎
扇面　雲
制作年不詳
書／墨、水彩、紙
125.0×60.5cm

33
髙橋 節郎
円の中の杉（杉風）
1987年
蒔絵、螺鈿
1.4cm、Φ41.2cm

34
髙橋 節郎
円の中の松（寿松）
1987年
蒔絵、螺鈿
1.4cm、Φ41.2cm

35
髙橋 節郎
円の中の海（夏）
1987年
鎗金、彩漆絵、螺鈿
1.3cm、Φ41.2cm

36
髙橋 節郎
円の中の山（月彩）
1987年
蒔絵、螺鈿
1.3cm、Φ41.2cm

37
髙橋 節郎
地久大恵 樹 1
1994年
木芯乾漆
36.0cm、Φ17.0cm

38
髙橋 節郎
地久大恵 樹 2
1994年
木芯乾漆
20.0cm、Φ6.5cm

39
髙橋 節郎
地久大恵 9
1993年
木芯乾漆
61.0×13.0×41.0cm

40
髙橋 節郎
明けゆく山湖
制作年不詳
墨、水彩、紙
45.4×46.2cm

41
髙橋 節郎
朝霧
1986年
墨、水彩、紙
44.3×93.4cm

42
髙橋 節郎
邑里
制作年不詳
墨、水彩、紙
61.6×92.9cm

43
髙橋 節郎
街
1959年頃
モノタイプ（版画）、漆、紙
43.8×63.0cm

44
髙橋 節郎
邑
1959年
モノタイプ（版画）、漆、紙
63.3×75.8cm

45
髙橋 節郎
地層　B
制作年不詳
モノタイプ（版画）、漆、紙
74.5×96.0cm

46
髙橋 節郎
地平線の見える静物
1965年
鎗金
37.0×44.0cm

47
髙橋 節郎
花のセレナード
制作年不詳
鎗金
27.5×22.3cm

48
髙橋 節郎
長方形プレート　黒
制作年不詳
化学塗料、鉄
2.5×29.5×44.5cm

49
髙橋 節郎
長方形プレート　白
制作年不詳
化学塗料、鉄
31.0×61.0cm

50
髙橋 節郎
二等辺三角水盤　1
1945-54年
金胎漆器
4.0×25.0×30.0cm

51
髙橋 節郎
二等辺三角水盤　2
1945-54年
金胎漆器
4.0×25.0×35.0cm

52
髙橋 節郎
飾盆　葡萄
制作年不詳
漆絵
Φ27.8cm

53
髙橋 節郎
飾盆　薔薇
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm

54
髙橋 節郎
二人
1958年
モノタイプ（版画）、漆、紙
41.5×32.0cm

55
髙橋 節郎
ピアノ：宇宙紀行
1995年
鎗金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm

56
髙橋 節郎
童子神
1995年
木芯乾漆
322.0×146.0cm、Φ60.0cm

髙橋節郎館 第2期常設展示

2023年10月21日[土]−12月24日[日]
56日間
髙橋節郎館

01
髙橋 節郎
遥かなる郷愁
1956年
鎗金
157.5×109.0cm
寄託作品

02
髙橋 節郎
古墳映像
1976年
鎗金、螺鈿
175.5×173.2cm

03
髙橋 節郎
遠森の記
1974年
鎗金
175.8×163.4cm

04
髙橋 節郎
古墳借景
1978年
鎗金、螺鈿
176.0×170.0cm

05
髙橋 節郎
蜃気楼「空中都市」
1961年
朱叩き塗、鎗金
187.8×181.6cm

06
髙橋 節郎
古墳月彩
1979年
鎗金、螺鈿
179.2×169.6cm

07
髙橋 節郎
星座物語
1994年
鎗金、箔押、螺鈿、堆朱
176.0×173.0cm

08
髙橋 節郎
杉の木の寓話
1959年
鎗金、螺鈿
121.4×243.2cm

09
髙橋 節郎
夢・縄文の星座
1996年
鎗金、箔押、螺鈿、堆朱
176.0×86.0cm

10
髙橋 節郎
夢・太古の星座
1995年
鎗金、箔押、螺鈿、堆朱
176.0×86.0cm

11
髙橋 節郎
万化
1991年
鎗金、螺鈿、堆朱
95.7×116.7cm

12
髙橋 節郎
遠い記録
1973年
鎗金
120.9×98.0cm

13
髙橋 節郎
千手観音
制作年不詳
モノタイプ(版画)、漆、紙
28.0×19.5cm

14
髙橋 節郎
大樹の詩
制作年不詳
モノタイプ(版画)、漆、紙
42.0×33.0cm

15
髙橋 節郎
角力
1951年
モノタイプ(版画)、漆、紙
30.0×25.5cm

16
髙橋 節郎
踊り
1954年
鎗金、螺鈿、アルミニウム合金板
121.5×84.8cm

17
髙橋 節郎
踊り A (下図)
1954年
鉛筆、紙
27.4×21.2cm

18
髙橋 節郎
踊り B (下図)
1954年
鉛筆、紙
27.5×21.0cm

19
髙橋 節郎
踊り A
1954年
鎗金
19.0×19.0cm

20
髙橋 節郎
踊り B
1954年
鎗金
19.0×19.0cm

21
髙橋 節郎
寓話
1962年
鎗金、アルミニウム合金板
48.3×29.5cm

22
髙橋 節郎
化石の山
1997年
木芯乾漆
30.0×74.0×17.0cm

23
髙橋 節郎
化石の森
1996年
木芯乾漆
60.0×47.0×18.0cm

24
髙橋 節郎
森魂
1997年
木芯乾漆
37.0×97.0×20.0cm

25
髙橋 節郎
森神
1995年
木芯乾漆
56.0×78.0×12.0cm

26
髙橋 節郎
フルート：金河
2001年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
67.0cm、Φ2.5cm

27
髙橋 節郎
フルート：銀河
2001年
プラチナ箔みだれ押し
67.0cm、Φ2.5cm

28
髙橋 節郎
クラリネット：アルタイ
2005年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
68.2cm、Φ7.5cm

29
髙橋 節郎
クラリネット：ベガ
2005年
プラチナ箔みだれ押し
68.3cm、Φ7.5cm

30
髙橋 節郎
クラリネットケース
2005年
プラチナ箔みだれ押し
4.5×73.0×12.0cm

31
髙橋 節郎
クラリネットケース
2005年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
4.5×73.0×12.0cm

32
髙橋 節郎
赤い化石
1997年
木芯乾漆
51.0×24.5×15.3cm

33
髙橋 節郎
三角ユニット花器 I 赤 1
1950年代
木胎漆器
27.3×10.5×9.0cm

34
髙橋 節郎
三角ユニット花器 I 白
1950年代
木胎漆器
27.3×10.5×9.0cm

35
髙橋 節郎
三角ユニット花器 I 黒 1
1950年代
木胎漆器

27.3×10.5×9.0cm

36
髙橋 節郎
遠い森の記憶
1974年
鎗金
115.1×90.8cm

37
髙橋 節郎
山寺
1986年
墨、紙
93.8×63.1cm

38
髙橋 節郎
大和路散策
制作年不詳
墨、紙
30.8×46.0cm

39
髙橋 節郎
古都所見　聖林寺
1982年
墨、紙
30.4×45.7cm

40
髙橋 節郎
当麻寺
1982年以前
墨、紙
28.5×44.0cm

41
髙橋 節郎
秋深し　2
制作年不詳
墨、水彩、紙
31.2×45.6cm

42
髙橋 節郎
北信濃　秋 2
制作年不詳
墨、水彩、紙
95.4×63.8cm

43
髙橋 節郎
円の中の杉 (杉風)
1987年
蒔絵、螺鈿
1.4cm、Φ41.2cm

44
髙橋 節郎
鎗金線紋四方盆　琴弦　1
1994年
鎗金
3.0×23.1×23.0cm

45
髙橋 節郎
鎗金線紋棗　琴弦
1982年
鎗金
6.4cm、Φ6.7cm

46
髙橋 節郎
日月の小筥 日
制作年不詳
金地
4.8×7.0×10.9cm

47
髙橋 節郎
日月の小筥 月
制作年不詳
金地
4.7×6.1×12.3cm

48
髙橋 節郎
飾盆 楓　B
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm

49
髙橋 節郎
飾盆　楓　1
制作年不詳
漆絵
Φ27.5cm

50
髙橋 節郎
飾盆　楓　4
制作年不詳
漆絵
Φ27.5cm

51
髙橋 節郎
古都所見　秋篠寺
1982年以前
墨、水彩、紙
45.6×29.8cm

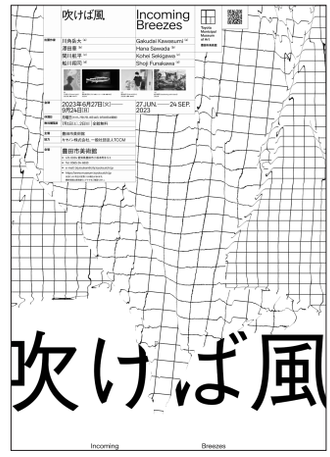
52
髙橋 節郎
ピアノ：宇宙紀行
1995年
鎗金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm

53
髙橋 節郎
童子神
1995年
木芯乾漆
322.0×146.0cm、Φ60.0cm

吹けば風

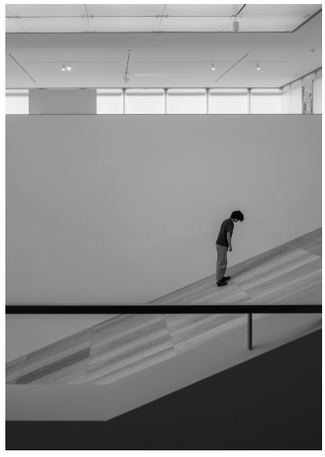
2023年6月27日［火］−9月24日［日］
81日間
展示室1-5

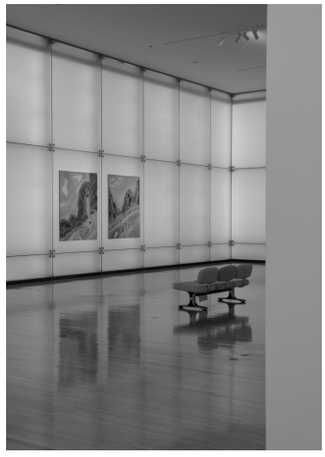
タイトルは、明治生まれの詩人・高橋元吉が詠んだ詩の「咲いたら花だった　吹いたら風だった」という一節に着想し、通常は見過ごされてしまうような細やかな発見や驚きを見つめなおそうとするテーマ展として企画した。招聘した4名はいずれも30代の若手であり、1990年代から2010年代にかけて劇的に変わってきた社会で育ち、制作をはじめた30代の作家である。現在の社会でまさに新しい表現方法を切り開こうとする新進作家を招くことで、作品を介して現在の社会や、人々のなかで新しく起ころうとしている変化を鑑賞者とともに見つめることができる展示となった。それぞれの作品は繊細ながらも、制作や鑑賞のあり方を根底から考え直そうとする姿勢が垣間見られ、細やかさや軽やかさのうちに力強い魅力を備えた最新作を紹介できた意義は大きい。会期中には若年層も多く来館し、幅広い世代に新進作家の先端的な表現を見せる機会となった。



ポスター

観覧料金： 一般1,300円［1,100円］／高校・大学生800円［600円］／中学生以下無料
※［　］内は前売券及び20名以上の団体料金　※障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名含む）、豊田市内在住又は在学の高校生の方、豊田市在住の18歳以下の方（満18歳から最初の3月31日まで）、豊田市内在住の満70歳以上の方は無料［要証明］
主　　催： 豊田市美術館
出品点数： 30点
観覧者数： 19,734人


展示風景（関川 航平）


展示風景（川角 岳大）


展示風景（澤田 華）


展示風景（船川 翔司）

関連事業：

船川翔司による公開制作
日時：7月8日［日］午前10時−12時
会場：展示室5
日時：7月9日［日］午後3時−5時
会場：展示室5

船川翔司による「天気」のワークショップ
ゲスト：船川翔司（出品作家）
日時：7月22日［火］午前10時−12時
会場：展示室5及び庭園

澤田華によるワークショップ
ゲスト：澤田華（出品作家）
日時：7月25日［火］午後1時30分−4時
会場：ワークショップルーム

関川航平のなにがしたいんだろう1-4
ゲスト：関川航平（出品作家）
日時：8月12日［土］午後3時−5時
会場：展示室1
8月26日［土］午後3時−5時
会場：講堂
9月2日［土］開館中不定期に実施
会場：館内及び庭園
9月18日［月・祝］午後1時−5時
会場：1階階段室

船川翔司・AokidによるWeather twin
ゲスト:船川翔司（出品作家）、Aokid（ダンサー、作家）
日時：9月3日［日］午前10時−午後5時30分

アーティストトーク・川角岳大
日時：9月24日［日］午後2時−
会場：講堂

印刷物：
ティザーポスター：B1判
ポスター：B1判、B2判
チラシ：A4判
作品リスト：A3／三つ折り
カタログ：B6変形版／512ページ
デザイン： 刈谷悠三＋角田奈央［neucitora］
作品輸送・展示： ヤマト運輸株式会社
会場設営： ミラクルファクトリー、株式会社カトウスタヂオ
学芸担当： 石田大祐、能勢陽子
庶務担当： 籠谷明日香、松田吉範

関川 航平

01
夂
2023年
2023年6月27日〜9月24日、23.4度の傾き、ドローイング、パフォーマンス
作家蔵

川角 岳大

02
山
2021年
アクリル、カンヴァス
53.0×45.5cm
作家蔵

03
イシダイ
2023年
アクリル、カンヴァス
217.3×50.0cm
作家蔵

04
手銛
2023年
アクリル、カンヴァス
217.3×50.0cm
作家蔵

05
春の濁り
2019年
油彩、鉛筆、カンヴァス
22.0×27.3cm
作家蔵

06
Summer
2021年
アクリル、カンヴァス
80.3×65.2cm
作家蔵

07
海の上
2023年
アクリル、カンヴァス
226.7×162.0cm
作家蔵

08
雪山
2023年
アクリル、カンヴァス
226.7×182.3cm
作家蔵

09
下りの蛇
2021年
アクリル、カンヴァス
130.0×90.0cm
作家蔵

10
上りの蛇
2021年
アクリル、カンヴァス
130.2×89.5cm
作家蔵

11
草とり
2021年
アクリル、カンヴァス
45.6×37.8cm
作家蔵

12
Street Light
2022年
アクリル、カンヴァス
100.0×80.3cm
作家蔵

13
登り道
2023年
アクリル、カンヴァス
162.0×130.5cm
作家蔵

14
空き家
2023年
アクリル、カンヴァス
162.0×130.3cm
作家蔵

15
枯れ木
2023年
アクリル、カンヴァス
162.0×130.0cm
作家蔵

16
石場
2023年
アクリル、カンヴァス
162.3×130.3cm
作家蔵

17
上流
2023年
アクリル、カンヴァス
194.0×140.0cm
作家蔵

18
ひっかけ
2023年
アクリル、カンヴァス
194.0×140.0cm
作家蔵

19
黒い犬
2023年
アクリル、カンヴァス
98.7×317.7cm
作家蔵

20
Shooting Star
2023年
アクリル、カンヴァス
83.2×317.5cm
作家蔵

21
Shutte
2021年
アクリル、カンヴァス
45.5×37.8cm
作家蔵

22
Reflection Light
2022年
アクリル、カンヴァス
90.0×72.6cm
作家蔵

23
カラス
2023年
アクリル、カンヴァス
72.6×60.4cm
作家蔵

24
夜の帽子
2019年
ボールペン、油彩、色鉛筆、グラファイト、カンヴァス
27.1×22.1cm
作家蔵

澤田 華

25
漂うビデオ（ナイト・オブ・ザ・リビングデッド、懐中電灯）
2023年
ビデオ（96分）
作家蔵

26
漂うビデオ（移動、裂け目、白い影）
2023年
ビデオ、プロジェクター、コピー用紙、テグス、目玉クリップ、三脚、壁、他
作家蔵

27
ビューのビュー
2023年
ビデオ（18分32秒）、モニター
作家蔵

船川 翔司

28
Weather twins
2023年
a 双子の歌 ビデオ（2チャンネル）、LEDビデオ(2チャンネル)、音声(2チャンネル)
a' 天気のリボン
ファイバーグラス、リボン、モーター
b ビーズ〈 台風 mawar〉
モーター、ledライト、光ファイバー、骨、石、プラスチック、ガラス、貝、漂流物
c プネウマ
ポリエチレンバルーン、木、ヒーター、クーラー、布
d 太陽の匂い
ヘイザーマシン、リキッド、香料
e 碑（Weathering with...）
石、ペイント、ムービングライト
f ストームグラス
ストームグラス、ガラス、漂流物、プラスチック、3Dプリント、木、スターラー
g 天気を憶える
2枚の写真（インクジェット）、ターメリック
h 天気を憶える
カーテン（15分ごとに開閉）、ライト、モーター
i ウェザー キャッチ
ポリスチレン、ポール、ロープ、布にプリント
j 気象観測機β
木、布、風量計、日射計、雨量計
k 天気を憶える
ビデオ（15分）、サーモカメラ、モニター、天気の結び目〈 資料〉、船、布、石、彫像のかけら、写真、木、etc
l 天気を憶えるための覚書
布、プリント
l' 天気を憶えるための覚書（双子の日記とインストラクション）
紙、プリント
作家蔵

特別展示
豊田参合館・豊田市中央図書館

澤田 華

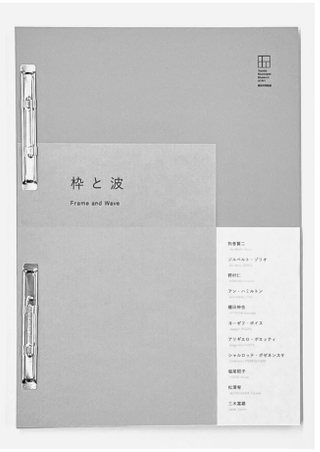
29
64のポストビューおよび目下のシーン
2021年
ビデオ（17分14秒）
作家蔵

30
67のポストビューおよび目下のシーン
2022年
ビデオ（17分21秒）
作家蔵

コレクション企画
枠と波

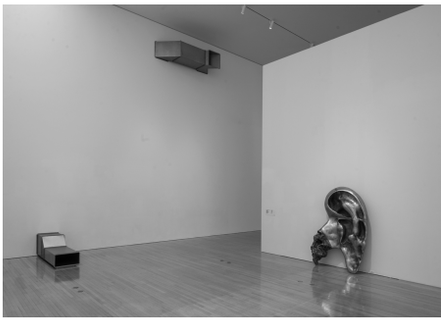
2023年6月27日［土］−9月24日［日］
81日間
展示室8

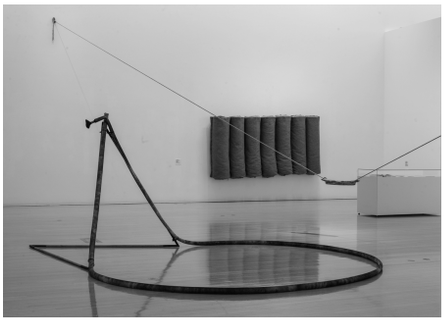
本展「枠と波」は1960-70年代当時に20-30歳代の若手作家だった日本、アメリカ、ドイツ、イタリアの、写真を実験的に用いる作家、言語や身体によるパフォーマンスを行う作家、日常の風景を見つめ直す作家を当館の所蔵作家を中心に一部外部借用を交えてとりあげ、上階の若手作家4人による企画展とあわせてみせることで、歴史的、地理的な射程を補助しつつ、相互に理解をふかめられるような構成として企画された。進む都市化によって周りの環境が目まぐるしく変わり、社会の制度や枠組みが大きく変化し、写真や映像、音響の録音機器などが個人ユーザーにも届くようになったこの時代に、美術作家たちはたとえば車に乗って延々と続く高速道路を運転するときに開ける視界、日々目にするものをひたすらに写真に収めていく行為といった、あたらしくもすでに日常となった体験を作品へと接続し、日常的に用いる文字や言葉を問い直し、口から発し、耳にする音を再考しようと試みた。狗巻賢二、野村仁、堀尾昭子、松澤宥、櫃田伸也の5人の作家については、70年代以降の作品も織り交ぜて、半世紀ほど前から今日につながる問題意識を探った。

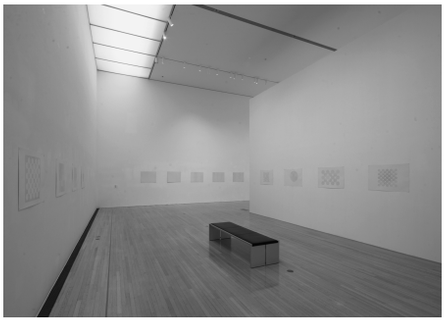


カタログ

観覧料：一般500円［300円］／高大生400円［200円］／中学生以下無料
※［　］内は前売券及び20名以上の団体料金　※障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名）、豊田市内在住又は在学の高校生の方、豊田市在住の18歳以下の方（満18歳から最初の3月31日まで）、豊田市内在住の満70歳以上の方は無料［要証明］
主催：豊田市美術館
出品点数：116点
観覧者数：19,985人


展示風景


展示風景


展示風景

関連事業：

担当学芸員によるギャラリートーク
日時：7月8日［土］、9月9日［土］　午後3時30分ー
会場：展示室8

レクチャー&パフォーマンス
「波音と夏の午後」
日時：9月10日［日］
午後3時ー　レクチャー：「1970年代の日本美術における波音」　金子智太郎（愛知県立芸術大学准教授）
午後4時ー　パフォーマンス：誉田千尋、山田聡
パフォーマンス協力：兒島朋笑、林晃世
会場：展示室8

印刷物：
チラシ：A4判
カタログ：A4判／88ページ
グラフィックデザイン：岡田和奈佳
作品輸送・展示：ヤマト運輸株式会社
会場設営：株式会社カトウスタヂオ
学芸担当：鈴木俊晴
庶務担当：大柳良輔

01
シャルロッテ・ポゼネンスケ
シリーズD 立方管
1967/2014年
ガルバリウム鋼板（6パーツ）
サイズ可変

02
シャルロッテ・ポゼネンスケ
単調なのはすてき
1968年
4本のスーパー 8フィルム
14'22''
Courtesy the Estate of Charlotte Posenenske and Peter Roehr, Mehdi Chouakri Gallery and Take Ninagawa

03
三木 富雄
EAR
1965年
アルミニウム
170.0×138.0×33.5cm

04
ヨーゼフ・ボイス
無題
1957年
鉛筆、油彩、紙
ヒロセコレクション（寄託作品）

05
ヨーゼフ・ボイス
はい　はい　はい　はい　はい、いや　いや　いや　いや　いや
1968年（2001年）
CD
64'53''

06
ヨーゼフ・ボイス
『Interfunktionen 6』のなかに
1971年
雑誌『Interfunktionen 6』にばらばらに封入されたそれぞれ異なる折り方の7色の色紙、雑誌
雑誌29.0×21.0cm

07
ヨーゼフ・ボイス
ジョッキー帽
1963, 85年
フェルト帽、脂肪、絵具、新聞紙
14.5×25.5×17.5cm

08
ヨーゼフ・ボイス
プライト エレメント
1985年
フェルト・ロール、フェルト原料
147.0×330.0×31.0cm

09
ジルベルト・ゾリオ
言葉を純化するために
1969年
銅、鉄、アルコール、ホース
182.9×358.1×475.0cm

10
ジルベルト・ゾリオ
憎しみ
1969年
鉛、ロープ
サイズ可変

11
松澤 宥
赤本（聖なる）
1962/63年
ペン、コラージュ、ノート
22.0×12.0×1.5cm
個人蔵

12
松澤 宥
〈プサイの死体遺体〉に就いて
1964年
印刷、紙
38.4×26.1cm
個人蔵

13
松澤 宥
精密絵画30（青本）
1967年
ペン、コラージュ、ノート
22.0×14.0×1.0cm
個人蔵

14
松澤 宥
白色円形根本絵画
制作年不詳
印刷、紙
36.6×27.8cm
個人蔵

15
松澤 宥
白鳥の歌
2003年
大理石
9.0×288.0×288.0cm
美術館2F大池

16
松澤 宥
パフォーマンス《白鳥の歌をきけよ》（「宥密法」豊田市美術館、愛知） 2003.9.14 PM2:22:22
2003年
ヴィデオ（撮影：長澤章生）
14'59''

17
松澤 宥
in bed
2004年
フェルトペン、紙
42.0×29.8cm、29.8×42.0cm、90.0×63.0cm

18
アリギエロ・ボエッティ
ONONIMO
1972-73年
インク、紙
各70.0×100.0cm（11枚組）

19
アリギエロ・ボエッティ
ALIGHIERO BOETTI
1975年
インク、紙
70.0×100.0cm

20
アン・ハミルトン
アレフ
1993年
ヴィデオ、LCDスクリーン
8.9×11.4cm

21
野村 仁
Ten-Year Photobook 又は 視覚のブラウン運動
1972-82年（1997-2000年製本）
写真製本
各26.0×23.0×3.8cm（120冊）

22
野村 仁
'moon'score：真空からの発生
1980-84年
写真、CD
133.0×740.0cm、7'26''

23
野村 仁
内部構造：弦4
1996年
ガラス、大理石
42.0×81.0×60.0cm
寄託作品

24
野村 仁
宇宙振動
2006年
大理石
55.0×43.0×43.0cm
寄託作品

25
狗巻 賢二
無題
1974年
色鉛筆、方眼紙
75.5×106.4cm
村松画廊蔵

26〜50
狗巻 賢二
無題
1974年
サインペン、紙
各55.4×79.0cm（25枚組）
村松画廊蔵

51〜64
狗巻 賢二
無題
1980年
水彩、紙
各55.7×77.0cm（14枚組）
村松画廊蔵

65
狗巻 賢二
無題
1996年
墨、方眼紙
70.0×105.0cm
村松画廊蔵

66
狗巻 賢二
ローシェンナ、コバルトブルー
2019年
油彩、カンヴァス
91.0×65.2cm
ギャラリーヤマキファインアート蔵

67
狗巻 賢二
ローシェンナ、バーントシェンナ
2019年
油彩、カンヴァス
91.0×72.7cm
ギャラリーヤマキファインアート蔵

68
狗巻 賢二
ローシェンナ、カーマインマダー
2019年
油彩、カンヴァス
100.0×72.7cm
ギャラリーヤマキファインアート蔵

69
狗巻 賢二
白い壁の様な事
2011年
アクリル、カンヴァス、和紙

97.0×130.5cm
ギャラリーヤマキファインアート蔵

70
狗巻 賢二
豊田市美術館での現地制作のための素材（針金、ロープ、ハトロン紙）
2022年
針金、ロープ、ハトロン紙
個人蔵

71
狗巻 賢二
作品 92-16
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5cm

72
狗巻 賢二
作品 92-15
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5cm

73
狗巻 賢二
作品 92-10
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

74
狗巻 賢二
作品 92-9
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

75
狗巻 賢二
作品 92-8
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

76
狗巻 賢二
作品 92-7
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm

77
狗巻 賢二
作品 92-6
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

78
狗巻 賢二
作品 92-5
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

79
狗巻 賢二
作品 92-4
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

80
狗巻 賢二
作品 92-3
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm

81
狗巻 賢二
作品 92-1
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5cm

82
堀尾 昭子
無題
2018年
鉛筆、紙箱
3.5×13.5×11.5cm

83
堀尾 昭子
無題
2020年
アクリルミラー、アクリル
7.4×12.9×3.0cm

84
堀尾 昭子
無題
2019年
コピー紙、カラーコピー
22.0×20.5cm

85
堀尾 昭子
無題
2021年
プラスティックケース、ネジ釘
12.3×26.0×33.0cm

86
堀尾 昭子
無題
2020年
アクリル、アクリル板
9.0×7.6×0.4cm

87
堀尾 昭子
無題
2018年
アクリル、木材、アクリル板
2.0×8.2×7.3cm

88
堀尾 昭子
無題
1966年
水性塗料、紙、コラージュ
14.0×13.3cm
大阪大学総合学術博物館蔵

89
堀尾 昭子
無題
1967年頃
水性塗料、紙、材木
19.8×30.0×5.8cm
大阪大学総合学術博物館蔵

90
堀尾 昭子
作品 I
1974年
水性塗料、紙、スポンジ、水性系接着剤、材木
10.2×33.9×33.4cm
大阪大学総合学術博物館蔵

91
堀尾 昭子
無題
1975年
水性塗料、材木
16.0×16.0×12.2cm
大阪大学総合学術博物館蔵

92
堀尾 昭子
無題
1977年頃
鏡（ガラス）、水性塗料、材木
15.8×15.7×15.7cm
大阪大学総合学術博物館蔵

93
堀尾 昭子
無題
1981年
合板、アクリルミラー
120.5×90.0×3.0cm
大阪大学総合学術博物館蔵

94
堀尾 昭子
無題
1983年
シルクスクリーン、紙
12.5×18.5×4.0cm
大阪大学総合学術博物館蔵

95
堀尾 昭子
10本の線
1983年
セメント、アクリル板、アクリルミラー
6.0×20.5×6.0cm
大阪大学総合学術博物館蔵

96
堀尾 昭子
無題
1985年
シルクスクリーン、紙
11.5×16.5×6.0cm
大阪大学総合学術博物館蔵

97
堀尾 昭子
無題
1988年
紙箱、アクリルミラー
6.0×14.5×14.0cm
大阪大学総合学術博物館蔵

98
堀尾 昭子
無題
1988年
紙箱、アクリルミラー
5.8×14.5×13.0cm
大阪大学総合学術博物館蔵

99
堀尾 昭子
無題
1991年
アクリル、材木
12.3×17.5×1.0cm
大阪大学総合学術博物館蔵

100
堀尾 昭子
無題
1995年
アクリル、水性塗料、材木
22.0×20.0×20.0cm
大阪大学総合学術博物館蔵

101
堀尾 昭子
無題
2000年
アクリル、アクリル板
9.0×8.8×0.3cm
大阪大学総合学術博物館蔵

102
堀尾 昭子

無題
2001年
アクリル、材木、鉄板
11.5×14.4×17.0cm
大阪大学総合学術博物館蔵

103
堀尾 昭子
無題
2001年
アクリル、アクリル板
49.8×100.5cm
大阪大学総合学術博物館蔵

104
堀尾 昭子
無題
2020年
アクリル、水性塗料、プラスチック
5.8×5.0×4.5cm
作家蔵

105
堀尾 昭子
無題
2022年
アクリル、紙
作家蔵

106
堀尾 昭子
無題
2022年
プラスチックケース、色紙
10.0×14.3×3.1cm
作家蔵

107
堀尾 昭子
無題
2022年
ケント紙、水性塗料、鉛筆
作家蔵

108
堀尾 昭子
無題
2022年
銀厚紙、紙、アクリル、プラスチック薄板
10.0×13.4×53.0cm
作家蔵

109
堀尾 昭子
無題
2023年
日めくりカレンダー、アクリル、ガッシュ、プラスチック
10.7×14.2×2.2cm
作家蔵

110
堀尾 昭子
無題
2023年
水性塗料、アクリルミラー
105.7×12.6×0.2cm
作家蔵

111
櫃田 伸也
ノート、写真、新聞の切り抜き、ポストカード、ポスター、マケット
1960年代-2020年代
作家蔵

112
櫃田 伸也
触風景
1975, 85年
油彩、カンヴァス
162.0×180.0cm

113
櫃田 伸也
風の出来事
1977年
油彩、カンヴァス
81.0×117.0cm

114
櫃田 伸也
通り過ぎた風景
1996年
油彩、カンヴァス
182.0×318.0cm

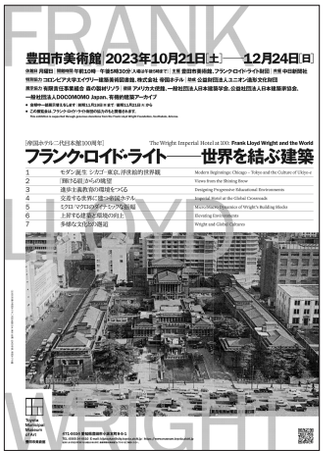
115
櫃田 伸也
通り過ぎた風景（山々）
1999年
油彩、カンヴァス
182.0×259.0cm

116
櫃田 伸也
箱
2003-19年
油彩、マスキングテープ、カンヴァス
116.5×116.5cm

帝国ホテル二代目本館100周年
フランク・ロイド・ライト
世界を結ぶ建築

2023年10月21日［土］−12月24日［日］
56日間
展示室8

アメリカ近代建築の巨匠フランク・ロイド・ライト（1867-1959）。「落水荘」や「グッゲンハイム美術館」で知られるライトは、「帝国ホテル二代目本館」や「自由学園明日館」を手がけ、熱烈な浮世絵愛好家の顔も持つ、日本と深い縁で結ばれた建築家である。
帝国ホテルが落成したのは、1923年、関東大震災の発生当日にあたる。災禍を生き延びたことでライトに大きな名声をもたらした帝国ホテルは、広大な敷地に客室のほか劇場や舞踏会室などさまざまな用途を備えた、それ自体が都市であるかのような壮大なプロジェクトであり、ライトのキャリアの結節点に位置するものと言える。
2012年に5万点以上におよぶ図面他資料がフランク・ロイド・ライト財団からニューヨーク近代美術館とコロンビア大学エイヴリー建築美術図書館に移管され、建築に加え、芸術、デザイン、著述、造園、教育、技術 革新、都市計画と、ライトの広範な視野と知性を明るみにする調査研究が続けられてきた。本展ではこうした近年の研究成果をふまえ、財団およびエイヴリー建築美術図書館の全面的な協力のもと、帝国ホテルを基軸に、多様な文化と交流し常に先駆的な活動を展開したライトの姿を明らかにした。



ポスター

観覧料：一般 1,400円［1,200円］／高校・大学生: 1,000円［800円］／中学生以下無料
※［ ］内は前売券及び20名以上の団体料金　※障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名含む）、豊田市内在住又は在学の高校生の方、豊田市在住の18歳以下の方（満18歳から最初の3月31日まで）、豊田市内在住の満70歳以上の方は無料［要証明］
主催：豊田市美術館、フランク・ロイド・ライト財団　　**共催：**中日新聞社
特別協力：コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館、株式会社帝国ホテル
助成：公益財団法人ユニオン造形文化財団
展示協力：有限責任事業組合 森の製材リソラ
後援：アメリカ大使館、一般社団法人日本建築学会、公益財団法人日本建築家協会、
一般社団法人DOCOMOMO Japan、有機的建築アーカイブ
出品点数：428点　　**観覧者数：**35,004人


展示風景


展示風景


展示風景

関連事業：

記念講演会
講師：ケン・タダシ・オオシマ氏（展覧会監修者、ワシントン大学建築学部教授）、ジェニファー・グレイ（フランク・ロイド・ライト財団副代表、タリアセン・インスティテュート・ディレクター）
日時：10月21日［土］ 午後2時−5時
会場：講堂

中日文化センター特別協賛講演会
講師：千葉真智子（当館学芸員）
日時：11月4日［土］ 午後2時−3時30分
会場：講堂

トーク「ブロードエーカー・シティー：ライトの民主主義のための社会の模型」
講師:磯矢亮介（建築家、元タリアセンアプレンティス）
日時：11月28日［火］ 午後2時−3時
会場：展示室8　ユーソニアン住宅原寸模型前

講演会「ライトの建築ーその造形と思想のありか」
講師：富岡義人（三重大学教授）
日時：12月3日［日］ 午後2時−3時30分
会場：講堂

ライトの図面を見る、読む
講師：伊藤維（名古屋造形大学准教授、伊藤維建築設計事務所代表）
日時：12月16日［土］ 午後3時30分−4時30分
会場：展示室8

担当学芸員によるギャラリートーク
日時：12月9日［土］、23日［土］ 午後4時−5時
会場：展示室8

印刷物：
ポスター：B1判、B2判
チラシ：A3二つ折り
ギャラリーガイド：12ページ
カタログ：B5判／254ページ
グラフィックデザイン：刈谷悠三＋角田奈央［neucitora］
作品輸送・展示：ヤマト運輸株式会社
会場設営：株式会社カトウスタヂオ
学芸担当：千葉真智子、西﨑紀衣
庶務担当：大柳良輔

SECTION 1 モダン誕生　シカゴ―東京、浮世絵的世界観

1–1
フランク・ロイド・ライト、タリアセンにて
撮影者不詳 撮影：1924年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

1–2
フランク・ロイド・ライト
リトル第二邸「北の家」窓ガラス／フランシス・W・リトル邸の窓ガラス
製作：テンプル・アート・グラスカンパニー
製作：1912年
ガラス、鉛、木
149.0×54.8cm
豊田市美術館

1 モダン都市シカゴ

1–3
1871年のシカゴ大火後の空撮
撮影：ショー、1871年
ステレオグラフ（複写）

1–4
ダニエル・バーナム、エドワード・H. ベネット『シカゴ計画』（バーナム・プラン）
図版：ジュール・ゲラン 出版：シカゴ商業クラブ
1909年
印刷、リトグラフ、紙
31.5×25.0×2.5cm
東京大学工学・情報理工学図書館 工1号館図書館A（社会基盤学）

1–5
ルッカリー・ビル（イリノイ州シカゴ）エントランスホール
建築：バーナム＆ルート 改修：フランク・ロイド・ライト
撮影：1893年
写真（複写）
シカゴ歴史博物館

1–6
オーディトリアム・ビル（イリノイ州シカゴ）南西からの外観
建築：アドラー＆サリヴァン 撮影：J. W. テイラー
撮影：1887年
写真（複写）
シカゴ歴史博物館

1–7
リライアンス・ビル（イリノイ州シカゴ）
建築：チャールズ・アトウッド（バーナム設計事務所）
撮影：バーンズ・クロスビー社、1897–1904年
写真（ガラス乾板からの複写）
シカゴ歴史博物館

+ シカゴ万国博覧会と鳳凰殿

1–8
シカゴ万国博覧会 鳥瞰絵図
製作：ランド・マクナリー社
1893年
印刷、紙（複写）
オリジナル：74.9×101.6cm
シカゴ歴史博物館

1–9
シカゴ万国博覧会コート・オブ・オナーの大人工池の西端からの眺望
撮影者不詳 撮影：1893年
写真（複写）
シカゴ歴史博物館

1–10
シカゴ万国博覧会 交通館
撮影：C.P. ラムフォード、1893年
写真（複写）
シカゴ歴史博物館

1–11
シカゴ万国博覧会日本館 鳳凰殿
撮影：1893年
写真（複写）
オリジナル：11.0×25.5cm
帝国ホテル

1–12
久保田 米僊
『閣龍世界博覧会美術品画譜 第壱集』
1893–94年
印刷、紙
24.5×16.0×1.0cm
公益財団法人 吉野石膏美術振興財団

1–13
久保田 米僊
『閣龍世界博覧会美術品画譜 第弐集』
1893–94年
印刷、紙
24.5×16.0×1.0cm
公益財団法人 吉野石膏美術振興財団

1–14
久保田 米僊
『閣龍世界博覧会美術品画譜 第参集』
1893–94年
印刷、紙
24.5×16.0×1.0cm
公益財団法人 吉野石膏美術振興財団

1–15
久保田 米僊
『閣龍世界博覧会美術品画譜 第四集』
1893–94年
印刷、紙
24.5×16.0×1.0cm
公益財団法人 吉野石膏美術振興財団

2 モダン都市東京

1–16
ヘルマン・エンデ＆ヴィルヘルム・ベックマン
官庁集中計画 エンデ＆ベックマン 第一案
1886年
写真、台紙
45.0×31.0 ／ 53.0×41.0cm
日本建築学会図書館

1–17
ヘルマン・エンデ＆ヴィルヘルム・ベックマン
官庁集中計画 エンデ＆ベックマン 第二案
1887年
インク、水彩、和紙、裏打ち
49.0×35.0cm
日本建築学会図書館

1–18
ヘルマン・エンデ＆ヴィルヘルム・ベックマン
諸官庁新築眺望図『Arkitekten, Ende & Bockmann』
1886年
34.0×46.5cm
リトグラフ、紙
日本建築学会図書館

1–19
絵葉書 東京名所 東京駅
1914年
9.0×14.0㎝
印刷、紙
渡辺秀樹コレクション

1–20
絵葉書 東京名所 新築落成成セル中央ステーション
1914年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

1–21
絵葉書 東京名所 馬場先門通り
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

1–22
絵葉書 東京名所第一輯 帝国劇場
1911年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

1–23
絵葉書 東京名所 海軍省
1894年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

1–24
絵葉書 東京名所第一輯 司法省
1895年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

1–25
絵葉書 東京名所 警視庁
1911年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

1–26
絵葉書 丸の内より俯瞰せる 日比谷公園扞に霞が関諸官庁
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

1–27
絵葉書 東京名所 帝国ホテル（一代目）
1890年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

1–28
絵葉書 東京名所 日比谷公園正門
1903年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

1–29
絵葉書 東京名所 日比谷公園音楽堂
1905年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

1–30
絵葉書 大東京高架鉄道より据然たる帝国ホテルを望む
1923年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

1–31
絵葉書 東京 桜田門
印刷、紙
9.0×14.0㎝

渡辺秀樹コレクション

1–32
絵葉書 第二次仮議事堂
1891年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

1–33
絵葉書 東京府庁舎と東京市庁舎
1898年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

1–34
絵葉書 米国貴賓一行 新橋停車場着之光景
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

3 キャリアのはじまり

+ 師サリヴァンと自然モチーフの装飾

1–35
シカゴで働き始めた頃のフランク・ロイド・ライト
撮影者不詳 撮影：1890年頃
写真（複写）
オリジナル：12.7×7.8cm
ウィスコンシン歴史博物館

1–36
フランク・ロイド・ライト
ベルフォンテーヌ墓地のウェインライト家の墓（ミズーリ州セントルイス）1892年 フランク・ロイド・ライトによる門の装飾
建築：ルイス・サリヴァン
インク、鉛筆、ドラフティング・クロス
70.5×61.3cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

1–37
ベルフォンテーヌ墓地のウェインライト家の墓（ミズーリ州セントルイス）1892年装飾の詳細
建築：ルイス・サリヴァン
撮影：1996年
写真（複写）
ヴァージニア大学リチャード・ウィルソン建築アーカイヴ

1–38
ベルフォンテーヌ墓地のウェインライト家の墓（ミズーリ州セントルイス）1892年
建築：ルイス・サリヴァン
撮影者不詳
撮影：1920年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

1–39
ルイス・サリヴァン
『建築装飾の体系人間の力の原理に基づく』
出版：リツォーリ社（再版）
1924/1990年
印刷、紙
44.2×36.0×2.3㎝
東京大学駒場図書館

1–40
オーウェン・ジョーンズ
『装飾の文法』
出版：デイ&サン
1856年
34.0×24.0×5.0㎝
印刷、紙
東京大学駒場図書館

+ 初期の実践

1–41
フランク・ロイド・ライト
第1葉 ウィンズロー邸、透視図『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
45.0×63.5㎝
豊田市美術館

1–42
ウィンズロー邸(イリノイ州リバーフォレスト)
1893–94年
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジェームズ・コールフィールド、2005年
写真（複写）

1–43
ウィンズロー邸(イリノイ州リバーフォレスト)
1893–94年 応接ホール内観
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジェームズ・コールフィールド、2014年
写真（複写）

1–44
フランク・ロイド・ライト
第24葉 ヒコックス邸、平面図および透視図『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
63.5×45.0㎝
リトグラフ、紙
豊田市美術館

1–45
フランク・ロイド・ライト
ヒコックス邸 ハイバック・チェア
1900年頃
カシ
129.6×46.9×50.3㎝
豊田市美術館

4 ユニティ・テンプル：鉄筋コンクリート造の神殿

1–46
フランク・ロイド・ライト
第64葉 ユニティ・テンプル、正面 『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
63.5×45.0㎝
豊田市美術館

1–47
フランク・ロイド・ライト
第63葉 ユニティ・テンプル、透視図『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
45.0×63.5㎝
豊田市美術館

1–48
フランク・ロイド・ライト
第63葉 ユニティ・テンプル、立面図『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
63.5×45.0㎝
豊田市美術館

1–49
フランク・ロイド・ライト
第64葉 ユニティ・テンプル、平面図『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
45.0×63.5㎝
豊田市美術館

1–50
フランク・ロイド・ライト
模型 ユニティ・テンプル
1920年頃
石膏
29.0×102.0×65.5cm 縮尺1: 50
京都大学

1–51
ユニティ・テンプル（イリノイ州オークパーク）
1905–08年 外観、礼拝堂を左手に見る
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジェームズ・コールフィールド、2021年
写真（複写）

1–52
ユニティ・テンプル（イリノイ州オークパーク）
1905–08年 礼拝堂内観、説教壇から見る
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジェームズ・コールフィールド、2019年
写真（複写）

1–53
ユニティ・テンプル（イリノイ州オークパーク）
1905–08年 礼拝堂の照明器具
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジェームズ・コールフィールド、2018年
写真（複写）

1–54
ユニティ・テンプル（イリノイ州オークパーク）
1905–08年 礼拝堂内観図
フランク・ロイド・ライト
図面（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

1–55
歌川 豊春
浮絵 歌舞妓芝居之図
1767年頃
木版、紙（複写）
オリジナル：26.5×39.0cm
太田記念美術館

5 日本の発見

+ 浮世絵的視覚と建築ドローイング

1–56
デローズ邸（インディアナ州サウスベンド）
1906年 透視図
建築：フランク・ロイド・ライト、レンダリング：マリオン・マホニー
原図はインク、鉛筆、色鉛筆、紙（複写）
オリジナル：47.0×65.4cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

1–57
フランク・ロイド・ライト
第29葉 デローズ邸、平面図および透視図『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙

63.5×45.0㎝
豊田市美術館

1–58
歌川 広重
名所江戸百景　山下町日比谷外さくら田
1857年
木版、紙
35.9×24.5㎝

1–59
歌川 広重
名所江戸百景 堀切の花菖蒲
1857年
木版、紙
35.9×24.5㎝

1–60
歌川 広重
名所江戸百景 浅草川大川端宮戸川
1857年
木版、紙
35.9×24.5㎝

1–61
歌川 広重
名所江戸百景 八ツ見のはし
1856年
木版、紙
36.0×26.0cm
神奈川県立歴史博物館
［前期］

1–63
歌川 広重
名所江戸百景 霞かせき
1857年
木版、紙
35.9×24.5㎝

1–64
歌川 広重
名所江戸百景 外桜田弁慶堀靴町
1856年
木版、紙
35.9×24.5㎝

1–65
歌川 広重
名所江戸百景 芝愛宕山
1857年
木版、紙
35.9×24.5㎝

1–66
フランク・ロイド・ライト
第15葉 ハーディ邸、透視図『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
45.0×63.5㎝
豊田市美術館

1–67
歌川 広重
東海道五拾三次 亀山 雪晴
1833年頃
木版、紙
24.6×37.2cm
神奈川県立歴史博物館
［前期］

1–68
フィエーゾレ、ヴィリーノ・ベルヴェデーレのライトの住まいを見上げる、前景に藪と塀
撮影：テイラー・A. ウーレイ、1910年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

+ 日本初訪問

1–69
「ライトの来日旅行写真アルバム」
1905年
写真（複写）
写真提供：フランク・ロイド・ライト・トラスト・コレクション

1–70
フランク・ロイド・ライト
東本願寺名古屋別院 本堂「ライトの来日旅行写真アルバム」
撮影：1905年
写真（複写）
写真提供：フランク・ロイド・ライト・トラスト・コレクション

1–71
フランク・ロイド・ライト
岡山後楽園 延養亭と庭園「ライトの来日旅行写真アルバム」
撮影：1905年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

1–72
京都平等院ライトの来日旅行写真アルバム
写真（複写）
撮影者不詳
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

1–73
アレキサンダー・ウールコット
長崎丸山遊郭の通り
1932年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

+ 日本美術愛好家、アートディーラー、展覧会プロデューサーとして

1–74
フランク・ロイド・ライト
『日本の浮世絵：或る解釈』
出版：ラルフ・フレッチャー・シーモア
1912年
印刷、紙
21.2×13.5cm
成城大学図書館

1–75
フランク・ロイド・ライト
『日本の浮世絵：或る解釈』ライト自身による書き込みのあるページ
出版：ラルフ・フレッチャー・シーモア
1912年
印刷、鉛筆、紙
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
エイヴリー・クラシックス

1–76
フランク・ロイド・ライト
ウィリアム・スポールディングのための浮世絵ギャラリー計画案（マサチューセッツ州ボストン）1914年 縦展開図
インク、鉛筆、色鉛筆、麻布
51.4×82.9cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

1–77
シカゴ美術館における1908年の浮世絵展
撮影：1908年
写真（複写）
シカゴ美術館

1–78
展示風景：シカゴ建築クラブの1907年の年次展 シカゴ美術館にて
撮影：ファーマン&サンズ、1907年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

1–79
展示風景：シカゴ建築クラブの1914年の年次展、シカゴ美術館にて
撮影：ファーマン&サンズ、1914年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

1–80
歌川 広重
名所江戸百景 亀戸天神境内
1856年
紙本木版多色刷り
35.9×24.5㎝
個人蔵

1–81
歌川 広重
東海道五拾三次 江尻 三保遠望
1833年頃
紙本木版多色刷り（複写）
オリジナル：25.0×37.6cm
神奈川県立歴史博物館

1–82
勝川 春常
二代目市川門之助の清十郎 三代目瀬川菊之丞のおなつ
1781年
紙本木版多色刷り（複写）
オリジナル：細判二枚続30.0×28.5cm
ボストン美術館ビゲロー・コレクション

1–83
礒田 湖龍斎
見立て浄瑠璃姫
1770年代初頭
紙本木版多色刷り（複写）
オリジナル：柱絵 69.5×12.0cm
ボストン美術館スポールディング・コレクション

1–84
礒田 湖龍斎
見立て浄瑠璃姫
江戸時代
紙本木版多色刷り（複写）
オリジナル：柱絵 63.8×12.0cm
ボストン美術館スポールディング・コレクション

SECTION 2「輝ける眉」からの眺望

6 アメリカ中西部プレイリーの風土と気候

2–1
フランク・ロイド・ライト
谷を下りる
1898–1900年頃
コロタイプ（複写）
7.6×23.5㎝
ウィスコンシン歴史博物館

2–2
フランク・ロイド・ライト
ヒルサイド・ホームスクール近くの風景
1898–1900年頃
コロタイプ（複写）
9.5×23.5㎝
ウィスコンシン歴史博物館

2–3
フランク・ロイド・ライト
雪の積もったスケート池
1895年頃
コロタイプ（複写）
8.9×23.8㎝
ウィスコンシン歴史博物館

2–4
タリアセン近くにたたずむ土浦信子 土浦亀城、信子夫妻のアルバム「Taliesin Life (2)」
撮影：土浦亀城、1924–25年
写真（複写）
土浦亀城アーカイブズ

2–5
タリアセンにつくられた水門 土浦亀城、信子夫妻のアルバム「Taliesin Life (2)」
撮影：土浦亀城、1924–25年
写真（複写）
土浦亀城アーカイブズ

2–6
タリアセンからの眺め 土浦亀城、信子夫妻のアルバム「Taliesin Life (2)」
撮影：土浦亀城、1924–25年
写真（複写）
土浦亀城アーカイブズ

2–7
タリアセンの丘の眺望、風車「ロメオとジュリエット」が見える。土浦亀城、信子夫妻のアルバム「Taliesin Life (2)」
撮影：土浦亀城、1924–25年
写真（複写）
土浦亀城アーカイブズ

2–8
タリアセン鳥瞰写真
撮影年不詳
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
エドガー・ターフェル建築記録・資料

2–9
雪のタリアセン 土浦亀城、信子夫妻のアルバム「Taliesin Life (2)」
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：土浦亀城、1924–25年
写真（複写）
土浦亀城アーカイブズ

7 ルーツとしてのウェールズ

2–10
祖父リチャード・ロイド・ジョーンズとライトの一族 後列：左から9番目ライトの両親ウィリアム・キャリー・ライトとアンナ・ロイド・ライト 前列：左から6番目妹のマジネルを抱いた少年フランク・ロイド・ライト
撮影者不詳 撮影：1883年
写真（複写）
ウィスコンシン歴史博物館

2–11
フランク・ロイド・ライトと家族 左から：叔父ジェンキン、ジェンキンの妻、ジェーン・ライト、息子ロイドを抱いた妻キャサリン・ライト、母アンナ、妹マジネル、ライト本人、ジェンキンの娘
撮影者不詳 撮影：1890年頃
写真（複写）
写真提供：フランク・ロイド・ライト・トラスト

8 草原植物と『ハウス・ビューティフル』

2–12
ウィリアム・ガネット
『ハウス・ビューティフル』
デザイン：フランク・ロイド・ライト 出版：オーヴェルニュ・プレス、ハスブルック（ファクシミリ版）
1896–97/1963年
印刷、紙
35.5×29.5×1.4cm
東京大学駒場図書館

2–13
歌川 広重（初代）
撫子に蝶
1836–40年
木版、紙
34.0×8.0cm
神奈川県立歴史博物館
［前期］

2–14
歌川 広重（初代）
山茶花に雀
1845–48年
木版、紙
33.0×9.0cm
神奈川県立歴史博物館
［後期］

2–19
フランク・ロイド・ライト
第3葉 ウィンズロー邸の厩舎、平面図および透視図『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
45.0×63.5㎝
豊田市美術館

9 住空間の革新

2–20
『レディース・ホーム・ジャーナル』1901年2月号
出版：カーチス社
印刷、紙
42.5×29.0㎝
水上優コレクション

2–21
『レディース・ホーム・ジャーナル』1901年7月号
出版：カーチス社
印刷、紙
41.5×29.0cm
水上優コレクション

+ 花の環で世界をめぐる

2–22
フランク・ロイド・ライト
第32葉 ダーヴィン・D.マーティン邸、鳥瞰図
『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
45.0×63.5㎝
豊田市美術館

2–23
フランク・ロイド・ライト
第33葉 ダーヴィン・D.マーティン邸、平面図
『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
45.0×63.5㎝
豊田市美術館

2–24
ダーヴィン・D.マーティン邸（ニューヨーク州バッファロー）1903–05年
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：トーマス・ラッセル、1904年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–25
ダーヴィン・D.マーティン邸（ニューヨーク州バッファロー）1903–05年 空撮
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：マシュー・ディガティ、2022年
写真（複写）
フランク・ロイド・ライト マーティン・ハウス

2–26
ダーヴィン・D.マーティン邸（ニューヨーク州バッファロー）1903–05年 庭園のフロリサイクル（花の環）
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：マシュー・ディガティ、2021年
写真（複写）
フランク・ロイド・ライト マーティン・ハウス

2–27
ダーヴィン・D.マーティン邸（ニューヨーク州バッファロー）1903–05年 パレル・チェアが並べられた応接ホール
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：マシュー・ディガティ、2022年
写真（複写）
フランク・ロイド・ライトマーティン・ハウス

+ 外と内をつなぐ庭

2–28
フランク・ロイド・ライト
クーンリー邸（イリノイ州リバーサイド）
1906–09年 初期案、外観とステンド・グラスが見える透視図
1907年
石墨、紙
39.3×85.5cm
米国議会図書館版画写真部

2–29
フランク・ロイド・ライト
クーンリー邸（イリノイ州リバーサイド）
1906–09年 テラスのスタディ
レンダリング：ウィリアム・ドラモンド
1911年
インク、色鉛筆、紙
55.9×76.2cm
豊田市美術館

2–30
フランク・ロイド・ライト
第57葉 クーンリー邸、透視図および窓ガラスのデザイン『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
45.0×63.5㎝
豊田市美術館

2–31
フランク・ロイド・ライト
第56葉 クーンリー邸、平面図および内部空間『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
45.0×63.5㎝
豊田市美術館

2–32
フランク・ロイド・ライト
第57葉 クーンリー邸、平面図『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社

1910年
リトグラフ、紙
45.0×63.5㎝
豊田市美術館

2–33
フランク・ロイド・ライト、ジョージ・M. ニーデッケン
クーンリー邸 椅子
製作：ニーデッン=ウォルブリッジ社
製造：1908年頃
カシ
100.2×37.5×46.8cm
豊田市美術館

2–34
フランク・ロイド・ライト
クーンリー邸 壁面照明器具
1908年頃
ガラス、ブロンズ
18.4×22.9×27.9cm
豊田市美術館

2–35
クーンリー邸（イリノイ州リバーサイド）
1906–09年 池越しに見た正面外観
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1907年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
エドガー・ターフェル建築記録・資料

2–36
クーンリー邸（イリノイ州リバーサイド）
1906–09年 車寄せから見た外観
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1907年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–37
クーンリー邸（イリノイ州リバーサイド）
1906–09年 庭
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1907年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–38
クーンリー邸（イリノイ州リバーサイド）
1906–09年 庭の格子垣
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1907年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–39
クーンリー邸（イリノイ州リバーサイド）
1906–09年 食堂内観、ニーデッケンによる壁画を正面に見る
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジェームズ・コールフィールド、2019年
写真（複写）

+ プレイリー・ハウスの到達点―有機的建築

2–40
ロビー邸（イリノイ州シカゴ）1908–10年
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ファーマン&サンズ、1908–10年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–41
ロビー邸（イリノイ州シカゴ）1908–10年
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジェームズ・コールフィールド、2013年
写真（複写）

2–42
フランク・ロイド・ライト
第37葉 ロビー邸、透視図『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
45.0×63.5㎝
豊田市美術館

2–43
フランク・ロイド・ライト
第37葉 ロビー邸、平面図『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
45.0×63.5㎝
豊田市美術館

2–44
ロビー邸（イリノイ州シカゴ）1908–10年 居間から暖炉を見る
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジェームズ・コールフィールド、2019年
写真（複写）

+ エコロジー住宅の発想

2–45
ロビー邸（イリノイ州シカゴ）1908–10年 南側窓
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジェームズ・コールフィールド、2014年
写真（複写）

10 在来と外来：ジェンス・ジェンセンの庭園思想

2–46
フランク・ロイド・ライト
ブース邸計画案（イリノイ州グレンコー）
1911年 第1案、透視図
1911年
鉛筆、色鉛筆、イラストレーション・ボード
54.6×81.0㎝
ニューヨーク近代美術館 Christopher H. Browne Purchase Fund, 2002

2–47
ジェンス・ジェンセンによるブース邸計画案
第1案、植栽計画
デザイン：ジェンス・ジェンセン
1911年
原図：インク、麻（複写）
オリジナル：94.9×80.0cm
ミシガン大学図書館デジタル・コレクション

2–48
ジェンス・ジェンセンによる「集いの輪」
デザイン：ジェンス・ジェンセン
撮影年不詳
写真（複写）
モートン植物園スターリング・モートン図書館

2–49
歌川 広重
名所江戸百景 せき口上水端 はせを庵 椿やま
1857年
木版、紙
35.9×24.5㎝

11 タリアセン：最初の理想郷

2–50
フィエーゾレ、ヴィリーノ・ベルヴェデーレのライトの住まい。壁面に図面が見える
撮影：テイラー・A. ウーレイ、1910年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–51
フィエーゾレ、ヴィリーノ・ベルヴェデーレのライトの住まい。バラのあずまやのある中庭
撮影：テイラー・A. ウーレイ、1910年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–52
ヴィリーノ・ベルヴェデーレからのフィエーゾレ眺望
撮影：テイラー・A. ウーレイ、1910年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–53
タリアセン第一（ウィスコンシン州スプリンググリーン）中庭より西をのぞむ
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ファーマン&サンズ、1912年頃
写真（複写）
ウィスコンシン歴史博物館

2–54
タリアセン第二（ウィスコンシン州スプリンググリーン）
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ファーマン&サンズ、1915年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–55
タリアセン第二（ウィスコンシン州スプリンググリーン）食堂
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ファーマン&サンズ、1920年頃
写真（複写）
ウィスコンシン歴史博物館

2–56
タリアセン（ウィスコンシン州スプリンググリーン）ライトの書斎
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1947年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–57
タリアセン（ウィスコンシン州スプリンググリーン）全景
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：アンドリュー・ピラージ、2015年
写真（複写）
フランク・ロイド・ライト財団

2–58
タリアセン（ウィスコンシン州スプリンググリーン）居間
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：アンドリュー・ピラージ、2015年
写真（複写）
フランク・ロイド・ライト財団

12 地形と建築

2–59
模型 山邑邸
制作 : 兵庫県立大学環境人間学部水上研究室
制作 : 2023年
60.0×70.0×105.0cm 縮尺1:100
ミクストメディア

2–60
山邑邸（現・ヨドコウ迎賓館、兵庫県芦屋市）
1918–24年 遠景
建築 : フランク・ロイド・ライト
撮影 : 山田新治郎、2021年
写真（複写）

2–61
山邑邸（現・ヨドコウ迎賓館、兵庫県芦屋市）
1918–24年 玄関
建築 : フランク・ロイド・ライト
撮影 : 山田新治郎、2022年
写真（複写）

2–62
フランク・ロイド・ライト
山邑邸（現・ヨドコウ迎賓館）建築装飾
2021年
銅
24.5×24.5cm

2–63
山邑邸（現・ヨドコウ迎賓館、兵庫県芦屋市）
1918–24年 窓の装飾から光が差し込んでいる
建築 : フランク・ロイド・ライト
撮影 : 山田新治郎、2021年
写真（複写）

2–64
フランク・ロイド・ライト
山邑邸（現・ヨドコウ迎賓館、兵庫県芦屋市）
1918–24年 実測立面図 西立面図、東立面図
1985年
白焼図、紙
54.7×79.0cm
遠藤現コレクション

2–65
フランク・ロイド・ライト
山邑邸（現・ヨドコウ迎賓館、兵庫県芦屋市）
1918–24年 実測平面図 3、4階
1985年
白焼図、紙
54.5×79.3cm
遠藤現コレクション

2–66
フランク・ロイド・ライト
小田原ホテル計画案（神奈川県小田原市）
1917年 透視図
鉛筆、トレーシング・ペーパー
31.0×62.3cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–67
エドガー・カウフマン邸「落水荘」（ペンシルベニア州ミルラン）1934–37年
建築 : フランク・ロイド・ライト
撮影 : アンドリュー・ピラージ、2018年
写真（複写）

2–68
エドガー・カウフマン邸「落水荘」（ペンシルベニア州ミルラン）1934–37年 居間内観
建築 : フランク・ロイド・ライト
撮影 : 二川幸夫、1980年代
写真（複写）
GA / A.D.A. EDITA Tokyo Co., Ltd.

2–69
映像「落水荘の建設現場」
撮影 : 1930年代後半
映像 : 4分
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–70
歌川 広重
名所江戸百景 王子不動之瀧
1857年
木版、紙
35.8×24.5cm

2–71
歌川 広重
名所江戸百景 目黒千代か池
1856年
木版、紙
35.8×24.5cm

2–72
日光 霧降の滝
「ライトの来日旅行写真アルバム」
撮影者不詳
写真（複写）
フランク・ロイド・ライト・トラスト・コレクション

2–73
サルト・デル・アルバの滝、メキシコ
撮影者、撮影年不詳
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

13 タリアセン・ウェスト：砂漠のなかのもうひとつの理想郷

2–74
フランク・ロイド・ライト
『リバティー』誌のための表紙デザイン案 柱サボテンとサボテンの花（部分）
1927–28年
色鉛筆、石墨、トレーシング・ペーパー
33.2×52.6cm
米国議会図書館版画写真部

2–75
フランク・ロイド・ライト
『リバティー』誌のための表紙デザイン案 4月の雨（部分）
1926–27年
色鉛筆、石墨、トレーシング・ペーパー
33.0×52.3cm
米国議会図書館版画写真部
［後期］

2–76
サボテンの横に立つジェンス・ジェンセン
撮影 : コーネリア・ブライアリー、撮影年不詳
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–77
パッカード社製の自家用車に乗ったライト、妻オルギヴァナと娘たち。オカティラ砂漠キャンプ（アリゾナ州チャンドラー近く）にて
撮影者不詳 撮影 : 1928年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–78
タリアセン・ウェスト（アリゾナ州スコッツデール）1938年– 外観 山を遠方にのぞむ
建築 : フランク・ロイド・ライト
撮影 : ペドロ・E. ゲレロ、1940年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–79
タリアセン・ウェスト（アリゾナ州スコッツデール）1938年– サボテンの見える外観
建築 : フランク・ロイド・ライト
撮影 : 1940年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

2–80
タリアセン・ウェスト（アリゾナ州スコッツデール）1938年– 全景
建築 : フランク・ロイド・ライト
撮影 : フォスケット、2016年
写真（複写）
フランク・ロイド・ライト財団

2–81
タリアセン・ウェスト（アリゾナ州スコッツデール）1938年–ガーデンルーム内観
建築 : フランク・ロイド・ライト
撮影 : アンドリュー・ピラージ、2020年
写真（複写）
フランク・ロイド・ライト財団

2–82
映像「タリアセン・ウェストのフランク・ロイド・ライト」
1953年
映像 : 5分
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

SECTION 3 進歩主義教育の環境をつくる

14 ヒルサイド・ホームスクールの実験的教育

3–1
ヒルサイド・ホームスクール第一（ウィスコンシン州スプリンググリーン）1887年 旧校舎
建築 : フランク・ロイド・ライト
撮影 : フランク・ロイド・ライト、1892年
オリジナル : 22.2×12.1cm
写真（複写）
ウィスコンシン歴史博物館

3–2
エレン・C. ロイド・ジョーンズ、ジェーン・ロイド・ジョーンズ
ヒルサイド・ホームスクール第一学校案内パンフレット 1891–92年
発行 : 1891年
印刷、紙（複写）
ウィスコンシン歴史博物館

3–3
ヒルサイド・ホームスクール第一の女子体育授業
撮影 : フランク・ロイド・ライト、1900年頃
写真（複写）
オリジナル : 20.3×25.4㎝
ウィスコンシン歴史博物館

3–4
ヒルサイド・ホームスクール第二の化学授業
撮影 : フランク・ロイド・ライト、1898年頃
写真（複写）
オリジナル : 18.7×18.1㎝
ウィスコンシン歴史博物館

3–5
エレン・ロイド・ジョーンズ（左）とジェーン・ロイド・ジョーンズ姉妹（ヒルサイド・ホームスクール創設者、ライト叔母）
撮影者、撮影年不詳
写真（複写）
オリジナル : 10.8×14.0㎝
ウィスコンシン歴史博物館

3–6
フランク・ロイド・ライト
第10葉 ヒルサイド・ホームスクール第二、平面図『フランク･ロイド･ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
45.0×63.5㎝
豊田市美術館

15 シカゴ郊外の仕事場

3–7
フランク・ロイド・ライト自邸とスタジオ（イリノイ州オークパーク） 1889 –1911年 スタジオの待合室
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ヘンリー =ラッセル・ヒッチコック、1897年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

3–8
フランク・ロイド・ライト自邸とスタジオ（イリノイ州オークパーク）1889–1911年 スタジオの玄関テラス
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジェームズ・コールフィールド、2018年
写真（複写）

3–9
フランク・ロイド・ライト自邸とスタジオ（イリノイ州オークパーク）1889–1911年 スタジオの設計室
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジェームズ・コールフィールド、2013年
写真（複写）

3–10
CG映像 フランク・ロイド・ライト自邸とスタジオ（増築の変遷）
制作：工学院大学建築学部鈴木敏彦研究室
制作：2023年
CGアニメーション：3分20秒
工学院大学建築学部鈴木敏彦研究室

参考出品
フランク・ロイド・ライト
第6葉 フランク・ロイド・ライトのアトリエ、平面図および透視図『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
45.0×63.5㎝
豊田市美術館

+ 女性建築家 マリオン・マホニー

3–11
マリオン・マホニー（1871–1961）
撮影：1894年
写真（複写）
マサチューセッツ工科大学／ウォルター・バーレイ&マリオン・マホニー・グリフィン・コレクション／シカゴ美術館レイアソン&バーナム美術建築アーカイブ

+ キャサリン・トビン・ライトの幼稚園

3–12
フランク・ロイド・ライト自邸とスタジオ（イリノイ州オークパーク）1889–1911年 子ども用プレイルーム
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジェームズ・コールフィールド、2013年
写真（複写）

3–13
妻キャサリン・トビン・ライト（1871–1959）夫がデザインしたドレスを着用している
撮影：アーノルド、撮影年不詳
5.0×9.5cm
写真（複写）
フランク・ロイド・ライト・トラスト

+ メイマー・ボートン・ボスウィックと女性運動家エレン・ケイ

3–14
著：エレン・ケイ 訳：メイマー・ボートン・ボスウィック
『ウーマン・ムーヴメント』
出版：G. P. パトナムス社
1912年
印刷、紙
20.0×14.0×4.0cm
パナソニック汐留美術館

3–15
メイマー・ボートン・ボスウィックからエレン・ケイにあてた手紙
年記なし（1912年頃）
インク、紙（複写）
スウェーデン国立図書館

3–16
フランク・ロイド・ライトからエレン・ケイにあてた手紙
1914年12月8日
インク、紙、手紙（複写）
スウェーデン国立図書館

3–17
メイマー･ボートン･ボスウィック(1869–1914)
シカゴ・トリビューン社
撮影年不詳
写真（複写）
ウィスコンシン歴史博物館

16 クーンレイ・プレイハウス幼稚園：風船と紙吹雪のモチーフの展開

3–18
フランク・ロイド・ライト
クーンリー・プレイハウス幼稚園（イリノイ州リバーサイド）1911年初期案 プレイハウスとステンド・グラスが見える透視図
1911年
石墨、色鉛筆、紙
25.5×41.9cm
米国議会図書館版画写真部

3–19
フランク・ロイド・ライト
オークパーク公園協会への設計競技案「キンダーシンフォニーズ」（イリノイ州オークパーク）1926年（No. 2）
1926年
鉛筆、色鉛筆、トレーシング・ペーパー
24.5×31.8cm
豊田市美術館

3–20
フランク・ロイド・ライト
オークパーク公園協会への設計競技案「キンダーシンフォニーズ」（イリノイ州オークパーク）1926年（No. 3）
1926年
石墨、色鉛筆、トレーシング・ペーパー
27.4×31.8cm
豊田市美術館

3–21
フランク・ロイド・ライト
オークパーク公園協会への設計競技案「キンダーシンフォニーズ」（イリノイ州オークパーク）1926年（No. 4）
1926年
鉛筆、色鉛筆、トレーシング・ペーパー
22.6×31.8cm
豊田市美術館

3–22
フランク・ロイド・ライト
クーンリー・プレイハウス幼稚園の窓ガラス
1912年頃
ガラス、鉛、木
61.0×97.5cm
豊田市美術館

3–23
クーンリー・プレイハウス幼稚園（イリノイ州リバーサイド）1911年
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1912年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
エドガー・ターフェル建築記録・資料

3–24
クーンリー・プレイハウス幼稚園（イリノイ州リバーサイド）1911年 室内
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1912年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
エドガー・ターフェル建築記録・資料

3–25
クィーン･フェリー･クーンリー（1874–1958）
撮影：1950年頃
写真（複写）
エイヴリー・クーンリー・スクール

17 リトル・ディッパー・スクールと舞台

3–26
フランク・ロイド・ライト
リトル・ディッパー幼稚園とコミュニティ・プレイハウス計画案（カリフォルニア州ロサンゼルス）1923年 ランドスケープ、テキスタイル・ブロック、基礎、ステンド・グラスが描かれた外観図
1923年
白焼図、色鉛筆、紙
47.5×73.0cm
米国議会図書館版画写真部
［前期］

3–27
フランク・ロイド・ライト
リトル・ディッパー幼稚園とコミュニティ・プレイハウス計画案（カリフォルニア州ロサンゼルス）1923年 ランドスケープ、テキスタイル・ブロック、基礎、パタフライ屋根が描かれた立面図
1923年
石墨、トレーシング・ペーパー
43.2×53.0cm
米国議会図書館版画写真部

3–28
フランク・ロイド・ライト
模型 劇場計画案（または銀座活動写真館）
1918年頃
石膏
71.5×81.4×34.5cm 縮尺1: 50
京都大学

3–29
バーンズドール邸「立葵の家」（カリフォルニア州ロサンゼルス）1918–21年 外観 ハリウッドを遠方にのぞむ
建築：フランク・ロイド・ライト

撮影：1920年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

3–30
アリーン・バーンズドール（1882–1946）
撮影：1916年
写真（複写）
ホリーホックハウス・デイヴィッド&マイケル・デヴァイン・コレクション

18 木も花も本来ひとつ：自由学園とローゼンヴァルド学校計画

3–31
フランク・ロイド・ライト
自由学園（東京、池袋）1921年 立面図
1921年
インク、トレーシング・ペーパー
27.5×81.1cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

3–32
自由学園明日館（東京、池袋）1921年 正面ファサード
建築：フランク・ロイド・ライト、遠藤 新
撮影：2021年
写真（複写）
自由学園明日館

3–33
自由学園明日館（東京、池袋）1921年 食堂内観
建築：フランク・ロイド・ライト、遠藤 新
撮影：2023年
写真（複写）
自由学園明日館

3–34
フランク・ロイド・ライト氏送別会の日
撮影：1922年7月
写真（複写）
自由学園資料室

3–35
竣工当時の明日館食堂 お食事時間
撮影：1922年4月頃
写真（複写）
自由学園資料室

3–36
自由学園開校を前に相談 左から：植村環（文学科長）、斎藤その子（実際科）羽仁吉一、羽仁もと子、松岡久子（家庭科長）
撮影：1921年1月頃
写真（複写）
自由学園資料室

3–37
遠藤 新
自由学園 食堂用椅子
1922年
木
78.4（SH37.3）×33.0×39.7cm
自由学園明日館

3–38
模型 自由学園
建築：フランク・ロイド・ライト 制作：日本大学工学部建築学科谷川正己研究室
制作：1990年
ミクストメディア
32.0×85.0×62.0㎝ 縮尺1:100
自由学園明日館

3–39
フランク・ロイド・ライト
自由学園（東京、池袋）初期案 平面図 部屋別概要の記載（フランク・ロイド・ライト財団から寄贈された複写）
1921年
白焼図、紙（複写）
61.5×73.5cm
自由学園明日館

3–40
『婦人之友』1921年3月号
出版：婦人之友社
1921年
インク、紙
21.0×13.5×1.0cm
青森県立美術館

3–41
『婦人之友』1922年6月号
出版：婦人之友社
1922年
インク、紙（複写）
21.0×13.5×1.0cm
自由学園資料室

3–42
第一回作品展覧会 絵画・図案・手芸 パンフレット
出版：自由学園
1922年
印刷、紙、機関誌
18.7×13.2cm
自由学園資料室

3–43
関東大震災救護活動絵巻4点
自由学園本科3年生有志（6回生）
1923年
インク、水彩、紙
①29×79cm ②29.3×75.5cm ③29×79.6cm ④29.5×79.2cm
自由学園資料室

3–44
フランク・ロイド・ライト
お悔やみ書簡（1957年7月30日、羽仁もと子追悼）
インク、紙
22.0×28.0cm
自由学園資料室

3–45
フランク・ロイド・ライト
ローゼンワルド財団の学校計画案（ヴァージニア州ハンプトン）1928年 透視図
鉛筆、色鉛筆、トレーシング・ペーパー
31.4×65.9cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

19 建築教育の場としてのタリアセン・フェローシップ

3–46
映像「タリアセン・フェローシップ」
ダウ・フィルム社
撮影：1933年
映像：5分
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

3–47
タリアセン・フェローシップ建築群「ヒルサイド・シアター」（ウィスコンシン州スプリンググリーン）1952年
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：アンドリュー・ピラージ、2016年
写真（複写）
フランク・ロイド・ライト財団

3–48
タリアセン・ウェスト（アリゾナ州スコッツデール）1938年– 設計室内観
撮影：2019年
写真（複写）
フランク・ロイド・ライト財団

3–49
妻オルギヴァナ・ライト（1898–1985）
撮影：ブラックストーン、撮影年不詳
写真（複写）
オリジナル：22.9×35.6cm
ウィスコンシン歴史博物館

SECTION 4 交差する世界に建つ帝国ホテル

4–1
フランク・ロイド・ライト、帝国ホテルにて
撮影者不詳　撮影：1922年頃
写真（複写）
帝国ホテル

20 写真コレクションにみるデザイン・ソース

4–2
チェチェンイッツア遺跡ククルカンの神殿
撮影：ローラ・ギルピン、1930年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–3
チェチェンイッツア遺跡戦士の神殿 外観装飾の詳細
撮影：ローラ・ギルピン、1930年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–4
ボロブドゥール遺跡（インドネシア、ジャワ島中部）
撮影：ヘルミグ社、ジャワ島、撮影年不詳
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–5
帝国ホテル二代目本館 外観の装飾。ライト自身によるトリミング
撮影：フランク・ロイド・ライト、1922年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–6
古代ローマ円形劇場コロッセウム
撮影：テイラー・A. ウーレイ、1910年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

21 共鳴するミッドウェイ・ガーデンズ

4–7
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）第1案、1913–23年 地階横断面図
1914年
インク、鉛筆、ドラフティング・クロス
24.5×87.6cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–8
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）第1案、1913–23年 鳥瞰透視図
1914年
インク、鉛筆、色鉛筆、ドラフティング・クロス
38.4×89.2cm

コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–9
フランク・ロイド・ライト
ミッドウェイ・ガーデンズ（イリノイ州シカゴ）
1913–14年 初期の構想図
1913年
鉛筆、色鉛筆、ドラフティング・クロス
41.3×101.6cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–10
フランク・ロイド・ライト
ミッドウェイ・ガーデンズ（イリノイ州シカゴ）
1913–14年 家具と室内調度品のデザイン
1913年
鉛筆、色鉛筆、紙
41.2×51.4cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–11
ミッドウェイ・ガーデンズ（イリノイ州シカゴ）
1913–14年 正面ファサード
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ヘンリー・ファーマン、1914年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–12
ミッドウェイ・ガーデンズ（イリノイ州シカゴ）
1913–14年 中庭
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ヘンリー・ファーマン、1914年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–13
ミッドウェイ・ガーデンズ（イリノイ州シカゴ）
1913–14年 食堂内観
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ヘンリー・ファーマン、1914年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–14
ミッドウェイ・ガーデンズ（イリノイ州シカゴ）
1913–14年 彫刻と外壁タイル
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ヘンリー・ファーマン、1914年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–15
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジャネット・ラム・クラークソン、1939年
写真（複写）
オリジナル：17.0×24.5cm
帝国ホテル

4–16
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 演芸場
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影者不詳
写真（複写）
オリジナル：10.5×18.0㎝
帝国ホテル

4–17
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 池と北翼、玄関回り
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影者不詳
写真（複写）
オリジナル：17.5×12.0㎝
帝国ホテル

22 帝国ホテル二代目本館クロニクル

4–18a
林愛作と妻、タリアセンにて
撮影者不詳 撮影：1916年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–18b
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）第1案 宿泊棟とメイン・ダイニングを通る横断面図
1914年
インク、鉛筆、麻布（複写）
オリジナル：47.0×198.8cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–18c
帝国ホテル建築設計事務所にて。左から：ジョン・ロイド・ライト、遠藤新、フランク・ロイド・ライト、伊藤文四郎
撮影者不詳 撮影：1917年
写真（複写）
オリジナル：9.0×14.5cm
遠藤現コレクション

4–18d
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）建設現場。鹿鳴館が背景に見える
建築：フランク・ロイド・ライト
写真（複写）
オリジナル：11.0×15.5cm
帝国ホテル

4–18e
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）建設現場。宴会場「孔雀の間」の装飾を建てている
建築：フランク・ロイド・ライト
写真（複写）
オリジナル：11.0×15.5cm
帝国ホテル

4–18f
絵葉書 帝国ホテル二代目本館(東京、日比谷)
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1935年頃
印刷、紙（複写）
オリジナル：9.0×14.0㎝
帝国ホテル

4–18g
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）集合写真。左より：遠藤新、フランク・ロイド・ライト、林愛作、ポール・ミュラー
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1922年
写真（複写）
22.0×28.0cm
帝国ホテル

4–18h
日比谷公園から見た帝国ホテル二代目本館全景
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影年不詳
写真（複写）
オリジナル：13.0×29.5cm
帝国ホテル

4–18i
戦前の帝国ホテル二代目本館 中央に鹿鳴館、左に帝国ホテル
建築：フランク・ロイド・ライト
1941年以前
写真（複写）
オリジナル：9.5×14.5cm
帝国ホテル

4–18j
絵葉書 1965年頃の帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）全景
建築：フランク・ロイド・ライト
1965年頃
写真（複写）
帝国ホテル

4–18k
移築された帝国ホテル二代目本館の玄関部分
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ToLoLo Studio、2023年
写真（複写）

4–18l
ロジャース・レイシー・ホテル計画案（テキサス州ダラス）1946–47年 透視図
フランク・ロイド・ライト
原図:色鉛筆、インク、トレーシング・ペーパー（複製）
オリジナル：85.7×76.8cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–18m
ロジャース・レイシー・ホテル計画案（テキサス州ダラス）1946–47年 吹き抜けより中庭を見下ろす
フランク・ロイド・ライト
原図:色鉛筆、インク、トレーシング・ペーパー（複製）
オリジナル：85.7×76.8cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–18n
田根剛氏による帝国ホテル東京 新本館イメージパース
ATTA– Atelier Tsuyoshi Tane Architects
2022年
コンピューターグラフィックス
帝国ホテル

23 メガ・プロジェクトのはじまり

4–19
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 第2案、横断面図
1915年
インク、鉛筆、色鉛筆、ドラフティング・クロス
37.9×102.1cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–20
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 第2案、縦断面図
1915年
インク、鉛筆、ドラフティング・クロス
52.5×154.5cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–21
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 第2案、キャバレー・レストラン、演芸場、宴会場「孔雀の間（ピーコック・ルー

ム)」の断面図
1915年
インク、鉛筆、色鉛筆、ドラフティング・クロス
147.3×103.5cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–22
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 地下1階平面図、メイン階（2階）平面図
白焼図
45.5×61.0cm
遠藤現コレクション

4–23
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）地階（1階）平面図、宴会場 平面図
白焼図
45.5×61.0cm
遠藤現コレクション

4–24
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 ルーフ階（3階）平面図
白焼図
61.0×45.5cm
遠藤現コレクション

4–25
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 宴会場「孔雀の間（ピーコック・ルーム）」へのプロムナード
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1925年頃
写真（複写）
オリジナル：10.5×15.0cm
帝国ホテル

4–26
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 外観 南東方面を見る
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影年不詳
写真（複写）
オリジナル：11.0×15.5cm
帝国ホテル

4–27
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 外観 南東方面を見る
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影年不詳
写真（複写）
オリジナル：10.5×15.5cm
帝国ホテル

4–28
絵葉書 帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）1913–23年 ロビー内観
建築：フランク・ロイド・ライト
1965年頃
絵葉書（複写）
オリジナル：12.0×17.0cm
帝国ホテル

4–29
模型 3D計測データを用いた3Dプリントレプリカ 帝国ホテル二代目本館模型
建築：フランク・ロイド・ライト 制作：京都工芸繊維大学KYOTO Design Lab
制作：2023年
オリジナル：石膏 レプリカ：塗装、ジェッソ、PLA樹脂
36.0×84.5×139.5cm（オリジナル：44.0×109.0×170.0cm 縮尺1:100）
京都大学（原作模型所蔵）

24 宿泊とエンターテインメント

4–30
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館客室のサイド・テーブル
木
72.0×70.0×66.0cm
帝国ホテル

4–31
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 客室
建築：フランク・ロイド・ライト
写真（複写）
オリジナル：10.5×17.0cm
帝国ホテル

4–32
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 客室
建築：フランク・ロイド・ライト
写真（複写）
オリジナル：11.5×17.5cm
帝国ホテル

4–33
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 客室
建築：フランク・ロイド・ライト
印刷、紙（複写）
オリジナル：12.0×17.0cm
帝国ホテル

4–34
帝国ホテル別館（東京、日比谷）1920年 ライトの居室内観
撮影者不詳 撮影：1920年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

4–35
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）アーケード入口
写真（複写）
オリジナル：12.0×16.5 cm
帝国ホテル

4–36
帝国ホテル二代目本館ルーフ・ガーデンでの映画会プログラム（表紙）
1937年
印刷、紙（複写）
オリジナル：11.5×16.0 cm
帝国ホテル

4–37
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 ルーフ・ガーデンでの映画会
建築：フランク・ロイド・ライト
印刷、紙（複写）
オリジナル：11.5×16.0cm
帝国ホテル

4–38
繁岡 鑒一
帝国ホテル二代目本館 パンフレット
1925–30年頃
印刷、紙
15.5×18.5cm
帝国ホテル

4–39
繁岡 鑒一
帝国ホテル二代目本館 英語パンフレット
1925年
印刷、紙
9.0×19.5cm
帝国ホテル

4–40
高梨 由太郎
『帝国ホテル』
出版：洪洋社
1925年
印刷、紙
26.0×19.0×1.5cm
遠藤現コレクション

4–41a, 41b
繁岡 鑒一
帝国ホテル二代目本館 パンフレット
1925–30年頃
印刷、紙、パンフレット
9.0×19.5cm
水上優コレクション

4–42
絵葉書 帝国ホテル二代目本館 宴会場「孔雀の間」
印刷、紙書
9.0×13.8cm
水上優コレクション

25 総合芸術としての帝国ホテル

4–43
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館 キャバレー・レストランで用いられたディナー・ウェア
再製作：株式会社ノリタケカンパニー
デザイン：1916–22年頃、再製作：1962–68年
ディナープレート：φ27.0 cm、サラダ・プレート：φ19.4 cm、パン皿：φ16.2 cm、フルーツ・ボウル：φ14.5 cm、カップ：5.5×10.7 cm、φ8.6 cm、ソーサー：φ13.5 cm
磁器
豊田市美術館

4–44
デザイナー不詳
帝国ホテル二代目本館で用いられていたコーヒーポット
銀
17.0×φ8.0cm
帝国ホテル

4–45
デザイナー不詳
帝国ホテル二代目本館で用いられていたクリーマー
銀
7.5×φ7.5cm
帝国ホテル

4–46
帝国ホテル二代目本館で用いられていたメニュー
1926年
印刷、紙
16.0×10.5cm
帝国ホテル

4–47
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館 椅子「ピーコック・チェア」
デザイン：1913年頃 製作：1930年頃
カシ、ニレ、モミジバフウ
96.0×38.8×41.5cm
豊田市美術館

4–48
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館 椅子「ピーコック・チェア」
デザイン：1913年頃 製作：椅子1950年以降
木

98.5×39.5×45.9cm
豊田市美術館

4–49
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館 テーブル
デザイン：1913年頃 製作年不詳
木
59.2×88.3×88.7cm
豊田市美術館

4–50
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館 椅子
デザイン：1920年頃 修復：2023年
木
95.5×39.5×43.5cm

4–51
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館 2階ラウンジの椅子
デザイン：1913年頃 再製作：1985年
木、籐、合成皮革
96.5（SH42.0）×40.5×44.5cm
博物館明治村

4–52
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 プロムナード中央パーラー（宝の間）南側暖炉の上の着彩レリーフ
1921年
色鉛筆、白焼図、紙
56.7×88.9cm
米国議会図書館版画写真部
［前期］

4–53
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 プロムナード中央パーラー（宝の間）北側暖炉の上の着彩レリーフ
1921年
色鉛筆、白焼図、紙
56.5×87.6cm
米国議会図書館版画写真部
［後期］

4–54
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 演芸場の壁面装飾 原寸詳細図
1915年頃
鉛筆、トレーシング・ペーパー
130.8×99.7cm
豊田市美術館

4–55
ノエミ・レーモンド
帝国ホテル二代目本館 宴会場「孔雀の間(ピーコック・ルーム)」装飾スタディ
1920年
水彩、トレーシング・ペーパー（複写）
オリジナル：L 19.0×16.0cm、R 21.0×20.5cm
北澤興一コレクション

4–56
絵葉書 帝国ホテル二代目本館(東京、日比谷)
1913–23年 大食堂
写真（複写）
オリジナル：11.0×15.5cm
帝国ホテル

4–57
絵葉書 帝国ホテル二代目本館宴会場「孔雀の間」
写真（複写）
帝国ホテル

4–58
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 2階ラウンジ
建築：フランク・ロイド・ライト
写真（複写）
帝国ホテル

4–59
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 プロムナード中央パーラー（宝の間）南側暖炉の上の大谷石の着彩レリーフ
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影年不詳
写真（複写）
オリジナル：11.0×16.0㎝
帝国ホテル

4–60
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）プロムナード中央パーラー（宝の間）北側暖炉の上の大谷石の着彩レリーフ
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影年不詳
写真（複写）
オリジナル：11.0×16.0㎝
帝国ホテル

4–61
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 メイン・ダイニングの柱の装飾
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影年不詳
写真（複写）
オリジナル：24.5×21.0cm
帝国ホテル

26 素材の探求：大谷石とすだれレンガ

4–62
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館 金箔入りガラス
1919–23年頃
金箔、ガラス、金属
6.0×29.0×0.5cm
帝国ホテル

4–63
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館 テラコッタの装飾ブロック
1919–23年頃
テラコッタ
22.0×21.5×6.5cm
帝国ホテル

4–64
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館 千鳥模様のすだれレンガ
1919–23年頃
レンガ
8.0×15.0×8.0cm
帝国ホテル

4–65
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館照明・換気用に用いられるテラコッタの装飾ブロック（復刻版）
テラコッタ
10.0×13.0×13.0cm
帝国ホテル

27 ライト精神の継承

4–66
アントニン・レーモンド
帝国ホテルの建設現場で働く日本の職人たちの空想的スケッチ
水彩、紙
25.0×17.5cm
北澤興一コレクション

4–67
アントニン・レーモンド
帝国ホテルの建設現場で働く日本の職人たちの空想的スケッチ
オリジナル：グワッシュ、紙（複製）
53.5×50.0cm
北澤興一コレクション

4–68
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 建設現場
撮影年不詳
写真（複写）
オリジナル：12.0×16.5cm
帝国ホテル

4–69
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 建設現場
撮影年不詳
写真（複写）
オリジナル：11.0×15.0cm
帝国ホテル

4–70
帝国ホテル二代目本館（東京、日比谷）
1913–23年 建設現場
撮影年不詳
写真（複写）
オリジナル：12.0×16.5cm
帝国ホテル

4–71
フランク･ロイド･ライトから遠藤新、福原氏、羽仁もと子にあてた手紙1928年4月12日付
インク、紙
27.0×18.7cm
遠藤現コレクション

4–72
ライトを囲む宴会 前列左から3人目アントニン･レーモンド、4人目遠藤新、5人目ポール･ミュラー、7人目フランク・ロイド・ライト、8人目林愛作
1922年頃
写真（複写）
オリジナル：12.5×26.0cm
遠藤現コレクション

4–73
甲子園ホテル（現・武庫川女子大学甲子園会館、兵庫県西宮市）1930年 中庭の池からの全景
建築：遠藤 新
写真（複写）
オリジナル：11.5×15.5cm
遠藤現コレクション

4–74
甲子園ホテル（現・武庫川女子大学甲子園会館、兵庫県西宮市）1930年 玄関側からの外観
撮影:ジョン(ジャック)･アーウィン･ヒグビー、2013年
写真（複写）
オリジナル：11.5×15.5cm
遠藤現コレクション

4–75
土浦亀城邸（東京、品川）1935年
建築：土浦亀城
写真（複写）
土浦亀城アーカイブズ

4–76
ニューホープの農場、1939–40年 前列左にアントニンとノエミ・レーモンド夫妻
建築：アントニン・レーモンド
撮影：1940年
写真（複写）

ペンシルベニア大学建築アーカイヴズ・レーモンドコレクション

SECTION 5 ミクロ／マクロのダイナミックな振幅

28 フレーベル恩物：ユニット・システムの原点

5–1
フレーベル恩物 第3恩物、第4恩物、第5恩物
考案：フリードリヒ・フレーベル 製作：ミルトン・ブラッドレー
製作年不詳
木
9.0×10.0×10.0㎝ . 6.5×7.0×7.0㎝
青森県立美術館

29 リチャーズ社の通販式プレファブ住宅

5–2
フランク・ロイド・ライト
アメリカ式システム工法住宅、リチャーズ社との共作 1915–17年 C3モデル平面図
リトグラフ、紙
27.9×21.6cm
ニューヨーク近代美術館 Gift of David Rockefeller, Jr. Fund, Ira Howard Levy Fund, and Jeffrey P. Klein Purchase Fund, 1993

5–3
フランク・ロイド・ライト
アメリカ式システム工法住宅、リチャーズ社との共作 1915–17年 C3モデル外観透視図
リトグラフ、紙
27.9×21.6cm
ニューヨーク近代美術館 Gift of David Rockefeller, Jr. Fund, Ira Howard Levy Fund, and Jeffrey P. Klein Purchase Fund, 1993

5–4
フランク・ロイド・ライト
アメリカ式システム工法住宅、リチャーズ社との共作 1915–17年 C3モデル内観透視図
リトグラフ、紙
27.9×21.6cm
ニューヨーク近代美術館 Gift of David Rockefeller, Jr. Fund, Ira Howard Levy Fund, and Jeffrey P. Klein Purchase Fund, 1993

5–5
『レディース・ホーム・ジャーナル』1907年4月号
出版：カーチス社
印刷、紙
41.5×29.0㎝
水上優コレクション

30 関東大震災に耐えた構造

5–6
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館 すだれレンガ
1919–23年頃
レンガ
6.5×21.5×6.5cm
帝国ホテル

5–7
フランク・ロイド・ライト
帝国ホテル二代目本館 大谷石のブロック
大谷石
1919–23年頃
21.0×20.8×20.0cm
博物館明治村

5–8
映像「 関東大震災記録」
ブラック・ホーク映像
1923年
映像：3分
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

5–9
絵葉書 米国水兵の食料運搬 帝国ホテルにて 大正十二年九月一日 大震災
9.0×14.0㎝
印刷、紙
渡辺秀樹コレクション

5–10
絵葉書 帝劇付近 大正十二年九月一日大震災
1923年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

5–11
絵葉書 大東京大惨害実況 宮城前の避難者
1923年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

5–12
絵葉書 大正12.9.1 東京大震災 実況 日比谷音楽堂倒壊実況
1923年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

5–13
絵葉書 丸の内郵船ビルヂングの震災
1923年
印刷、紙
14.0×9.0cm
渡辺秀樹コレクション

5–14
絵葉書 東京大地震の惨状 丸の内ビルヂング
1923年
印刷、紙
14.0×9.0cm
渡辺秀樹コレクション

5–15
絵葉書 丸の内内外ビルヂング 建築中の震災
1923年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

5–16
絵葉書 大正12.9.1 東京大震災実況 惨愴たる丸の内 内外ビルヂングの全壊
1923年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

5–17
絵葉書 大正12.9.1 東京大震災実況 丸の内の亀裂
1923年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

5–18
絵葉書 大正12.9.1 東京駅前震災猛火襲来避難実況
1923年
印刷、紙
9.0×14.0㎝
渡辺秀樹コレクション

5–19
フランク・ロイド・ライト
「帝国ホテルのはなし：建築叙情」
1927年頃
インク、紙（ホログラム複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

31 コンクリート・ブロックの展開

+ テキスタイル・ブロック・システムの創案

5–20
フランク・ロイド・ライト
ミラード夫人邸「ミニアトゥーラ」（カリフォルニア州パサデナ）1923–24年庭園側から見た透視図
色鉛筆、石墨、紙
52.7×49.8cm
ニューヨーク近代美術館Gift of Mr. and Mrs. Walter Hochschild, 1981

5–21
ミラード夫人邸「ミニアトゥーラ」（カリフォルニア州パサデナ）1923–24年 庭からの外観
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1923年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

5–22
ミラード夫人邸「ミニアトゥーラ」（カリフォルニア州パサデナ）居間内観
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1923年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

5–23
ミラード夫人邸「ミニアトゥーラ」（カリフォルニア州パサデナ）の建設現場にたたずむ土浦信子
撮影：土浦亀城、1923–24年頃
1923–24年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

5–24
ミラード夫人邸「ミニアトゥーラ」（カリフォルニア州パサデナ）の建設現場
撮影：土浦亀城、1923–24年頃
1923–24年頃
写真（複写）
土浦亀城アーカイブズ

5–25
フランク・ロイド・ライト
ストーラー邸（カリフォルニア州ロサンゼルス）1923–24年 外観 正面ファサード
1923年
石墨、色鉛筆、和紙
38.7×71.3cm
米国議会図書館版画写真部
［後期］

5–26
ストーラー邸（カリフォルニア州ロサンゼルス）1923–24年
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：水上優、2019年
写真（複写）

+ コンクリート・ブロックの拡張

5–27
フランク・ロイド・ライト
ドヘニー・ランチ宅地開発計画案（カリフォルニア州ロサンゼルス）1923年 透視図
1923年頃
鉛筆、色鉛筆、トレーシング・ペーパー
31.9×73.8cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

5–28
フランク・ロイド・ライト
ドヘニー・ランチ宅地開発計画案（カリフォルニア州ロサンゼルス）1923年 透視図
1923年頃
鉛筆、色鉛筆、トレーシング・ペーパー
42.6×57.2cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

5–29
フランク・ロイド・ライト
ドヘニー・ランチ宅地開発計画案（カリフォルニア州ロサンゼルス）1923年 ランドスケープとテキスタイル・ブロック住宅のある透視図
1923年頃
石墨、和紙
35.0×89.5cm
米国議会図書館版画写真部

5–30
フランク・ロイド・ライト
ドヘニー・ランチ宅地開発計画案（カリフォルニア州ロサンゼルス）1923年 Cタイプ住宅の外観図
1923年頃
石墨、色鉛筆、和紙
50.7×78.1cm
米国議会図書館版画写真部

5–31
ドヘニー・ランチ宅地開発計画地（現・トルースデール地所）
撮影：2018年
写真（複写）

5–32
フランク・ロイド・ライト
サン・マルコス砂漠リゾート・ホテル計画案（アリゾナ州チャンドラー）1928–29年 透視図
鉛筆、紙
41.6×139.9cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

5–33
フランク・ロイド・ライト
サン・マルコス砂漠リゾート・ホテル計画案（アリゾナ州チャンドラー）1928–29年 コンクリート・ブロック詳細図
鉛筆、紙
30.64×45.72cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

32 ユーソニアン住宅成長する建築

5–34
ジェイコブズ第一邸（ウィスコンシン州マディソン）1936–37年 居間内観
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1938年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

5–35
ユーソニアン住宅の原寸モデル展示
制作：有限責任事業組合森の製材リソラ、磯矢建築事務所
268.5×890×450cm
杉赤身材、天神原（南伊豆町）産

5–36
ハナ邸「ハニカムハウス」（カリフォルニア州パロアルト）1936–37年 鳥瞰
建築：フランク・ロイド・ライト
写真（複写）
スタンフォード大学図書館特別コレクション

5–37
ハナ邸「ハニカムハウス」（カリフォルニア州パロアルト）1936–37年 居間内観
建築：フランク・ロイド・ライト
写真（複写）
スタンフォード大学図書館特別コレクション

5–38
フランク・ロイド・ライト
ユーソニアン・オートマチック住宅ビムソン邸計画案（アリゾナ州フェニックス）1949年
アクソメ詳細図
鉛筆、紙（複写）
オリジナル：52.1×63.5cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

5–39
トレイシー邸（ワシントン州ノルマンディーパーク）1955年 玄関を見る
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：アンドリュー・ヴァン・レウエン、2012年
写真（複写）

5–40
トレイシー邸（ワシントン州ノルマンディーパーク）1955年 居間側外観
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：アンドリュー・ヴァン・レウエン
2012年
写真（複写）

5–41
トレイシー邸（ワシントン州ノルマンディーパーク）1955年 ワークスペースとバスルーム側外観
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：アンドリュー・ヴァン・レウエン、2012年
写真（複写）

33 らせん状建築

5–42
フランク・ロイド・ライト
ゴードン・ストロング自動車体験娯楽施設とプラネタリウム計画案（メリーランド州シュガーローフマウンテン）1924–25年 鳥瞰透視図
鉛筆、トレーシング・ペーパー
60.6×80.5cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ
［前期］

5–43
フランク・ロイド・ライト
ゴードン・ストロング自動車体験娯楽施設とプラネタリウム計画案（メリーランド州シュガーローフマウンテン）1924–25年透視図
1925年
石墨、色鉛筆、トレーシング・ペーパー
55.0×82.6cm
米国議会図書館版画写真部

5–44
フランク・ロイド・ライト
グッゲンハイム美術館（ニューヨーク）
1943–59年 透視図（複写）
オリジナル：鉛筆、色鉛筆、トレーシング・ペーパー（複写）
オリジナル：66.0×101.0cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

5–45
グッゲンハイム美術館（ニューヨーク）
1943–59年 内観 吹き抜けから天井を見上げる
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ディヴィッド・ヒールド
写真（複写）
写真提供：グッゲンハイム美術館

5–46
グッゲンハイム美術館（ニューヨーク）
1943–59年
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ディヴィッド・ヒールド
写真（複写）
写真提供：グッゲンハイム美術館

5–47
グッゲンハイム美術館（ニューヨーク）
1943–59年 内観 螺旋状スロープの展示ギャラリー
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ディヴィッド・ヒールド
写真（複写）
写真提供：グッゲンハイム美術館

5–48
有機的建築を説明するフランク・ロイド・ライトの手「ハンズ・シリーズ」
撮影：ペドロ・ゲレロ、1953年
写真（複写）
エステート・オブ・ペドロ・ゲレロ

SECTION 6 上昇する建築と環境の向上

34 快適さと機能の追求

6–1
フランク・ロイド・ライト
『フランク・ロイド・ライト竣工した建築』（ソフト・カバー版）
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1911年
印刷、紙
30.5×22.0㎝
水上優コレクション

6–2
フランク・ロイド・ライト
ラーキン・ビル（ニューヨーク州バッファロー）
1902–06年 透視図
1903年
鉛筆、トレーシング・ペーパー
42.9×57.2cm
豊田市美術館

6–3
フランク・ロイド・ライト
第33葉 ラーキン・ビル、平面図および透視図『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
63.5×45.0㎝
豊田市美術館

6–4
フランク・ロイド・ライト
第33葉a ラーキン・ビル、地階平面図および透視図『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙

63.5×45.0㎝
豊田市美術館

6–5
フランク・ロイド・ライト
第33葉 ラーキン・ビル、内観透視図『フランク・ロイド・ライトの建築と設計』
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
リトグラフ、紙
63.5×45.0㎝
豊田市美術館

6–6
ラーキン・ビル(ニューヨーク州バッファロー)
1902–06年 内観 吹き抜け
撮影：1905年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

6–7
フランク・ロイド・ライト
ラーキン・ビル 椅子付き事務机
製造：ヴァン・ドーン・アイアン・ワークス・カンパニー
1904年頃
木、スチール
61.0×122.0×109.0cm
豊田市美術館

6–8
フランク・ロイド・ライト
ラーキン・ビル折りたたみ式サイドチェア
製造：ヴァン・ドーン・アイアン・ワークス・カンパニー
1904年頃
木、スチール
94.0×51.1×51.1cm
豊田市美術館

6–9
フランク・ロイド・ライト
『フランク・ロイド・ライト ある建築家の生涯より』（ソフト・カバー版）
編：H. ド・フリース 出版：エルンスト・ポラック社
1911年
印刷、紙
30.5×22.0cm
東京都市大学図書館（蔵田周忠文庫）

35 高層建築―樹状構造

6–10
ジョンソン・ワックス・ビル（ウィスコンシン州ラシーン）1936–39年 樹状柱の耐荷重試験
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1937年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

6–11
ジョンソン・ワックス・ビル（ウィスコンシン州ラシーン）1936–39年 樹状柱の耐荷重試験
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジェームス・トムソン、1937年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

6–12
映像 ジョンソン・ワックス・ビル 樹状柱の耐荷重試験
映像：2分40秒
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

6–13
フランク・ロイド・ライト
ジョンソン・ワックス・ビル（ウィスコンシン州ラシーン）1936–39年 柱詳細図および最上階平面
インク、水彩、鉛筆、色鉛筆、紙
オリジナル：89.5×65.7㎝
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

6–14
ジョンソン・ワックス・ビル（ウィスコンシン州ラシーン）1936–39年 本部棟 北西から中央執務室を見る
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1954年頃
写真（複写）
写真提供：SCジョンソン社

6–15
ジョンソン・ワックス・ビル（ウィスコンシン州ラシーン）1936–39年 本部棟 中央執務室 南を見る
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：2015年
写真（複写）
写真提供：SCジョンソン社

6–16
フランク・ロイド・ライト
ジョンソン・ワックス・ビル 本部棟 中央執務室の椅子
製作：スチールケース・コーポレーション
製作：1936年頃
スチール、布
88.9×45.7×50.8cm
豊田市美術館

6–17
ジョンソン・ワックス・ビル（ウィスコンシン州ラシーン）本部棟 中央執務室 ライトのデザインによる椅子と机で執務する社員
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1939年
写真（複写）
写真提供：SCジョンソン社

6–18
ジョンソン・ワックス・研究タワー（ウィスコンシン州ラシーン）1943年
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1954年頃
写真（複写）
写真提供：SCジョンソン社

6–19
ジョンソン・ワックス・研究タワーで働く研究員
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：1950年
写真（複写）
写真提供：SCジョンソン社

6–20
フランク・ロイド・ライト
セント・マークス教区のアパートメント・タワー計画案（ニューヨーク）1927–29年 透視図
オリジナル:鉛筆、色鉛筆、トレーシング・ペーパー（複写）
オリジナル：68.6×33.2cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

6–21
フランク・ロイド・ライト
セント・マークス教区のアパートメント・タワー計画案（ニューヨーク）1927–29年 鳥瞰透視図
鉛筆、色鉛筆、トレーシング・ペーパー
60.3×38.1cm
ニューヨーク近代美術館 Jeffrey P. Klein Purchase Fund, Barbara Pine Purchase Fund, and Frederieke Taylor Purchase Fund, 1999.

6–22
プライス・タワー(オクラホマ州バートルズヴィル）1956年 外観
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ダン・オドネル、2008年
写真（複写）
写真提供：プライス・タワー・アート・センター

6–23
プライス・タワー(オクラホマ州バートルズヴィル）1956年　オフィス内観
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジョー・プライス、1956年
写真（複写）
写真提供：プライス・タワー・アート・センター
ジョー・プライス・PT・コレクション

6–24
プライス・タワー(オクラホマ州バートルズヴィル）1956年 19階エグゼクティブフロアのオフィスと居室内観
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：マーサ・アンブラー、2017年
写真（複写）
写真提供：プライス・タワー・アート・センター

6–25
模型 プライス・タワー
制作：兵庫県立大学環境人間学部水上研究室
2023年
75.0×65.0×65.0㎝
ミクストメディア

36 開けた大地に建つ高層建築―超高層ザ・マイル・ハイ・イリノイ

6–26
フランク・ロイド・ライト
花入れ
製作：ジェームズ・A. ミラー&ブラザー工房
1900年頃
銅
74.0×10.5×10.5㎝
豊田市美術館

6–27
ナショナル生命保険会社ビル計画案（イリノイ州シカゴ）1923–25年 ニューヨーク近代美術館で2014年に開催された「フランク・ロイド・ライト密度と過疎」展で制作されたライトボックス
2014年
ライトボックスによる複製
106.5×66.7×6.4㎝
ニューヨーク近代美術館

6–28
フランク・ロイド・ライト
マイル・ハイ・イリノイ計画案（イリノイ州シカゴ）1956年 透視図
鉛筆、インク、麻布（複写）
オリジナル：266.7×76.2㎝
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

6–29
フランク・ロイド・ライト
ゴールデン・ビーコン・アパートメント計画案（イリノイ州シカゴ）1956–57年 透視図
オリジナル：色鉛筆、絵具、紙（複写）
オリジナル：117.5×57.8㎝
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

6–30
マイル・ハイ・イリノイ計画案（イリノイ州シ

カゴ）フランク・ロイド・ライト記念日の記者発表会で公開されたプレゼンテーション
撮影者不詳 撮影：1956年10月16日
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

6–31
マイル・ハイ・イリノイ計画案（イリノイ州シカゴ）の図面を描くライト、タリアセンの設計室にて
撮影：エドガー・オブマ、1956年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

SECTION 7　多様な文化との邂逅

37 ライトへ注がれた同時代の目

+ 土浦亀城・信子　帝国ホテルでの協力を経て

7–1
ハーパー・アヴェニュー（カリフォルニア州西ハリウッド）のライトの事務所にて 左から：ウィル・スミス、土浦信子、ハリー・ウルフ「幸せな日々」
撮影者不詳、1923–24年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

7–2
ハーパー・アヴェニュー（カリフォルニア州西ハリウッド）のライトの事務所での食事 左から：ハリー・ウルフ、土浦信子、ウィル・スミス
撮影：土浦亀城、1923–24年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

7–3
花咲くユッカの前の土浦亀城、信子夫妻 カリフォルニア州サン・ガブリエル山地にて
撮影：ウィリアム・スミス、1923–24年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

7–4
教会の鐘の前にたたずむ土浦亀城、信子夫妻 ミッション・サンファン・カピストラーノにて
撮影：ウィリアム・スミス、1923–24年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

7–5
土浦亀城、信子夫妻とウィル・スミス ミッション・サンファン・カピストラーノにて
撮影者不詳、1923–24年頃
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

7–6
タリアセンのスタジオ（左から：ライト、土浦亀城、リチャード・ノイトラ、ヴェルナー・モーザー、土浦信子）土浦亀城、信子夫妻のアルバム「Taliesin Life (1)」
撮影：1924年頃
写真（複写）
12.0×17.0cm
帝国ホテル

7–7
タリアセンの居間 左から：ライト、リチャード・ノイトラ、シルバ・モーザー夫人、土浦亀城、信子、ヴェルナー・モーザー、ディオーネ・ノイトラ夫人
撮影者不詳 撮影：1924年頃
写真（複写）
土浦亀城アーカイブズ

7–8
エーリヒ・メンデルゾーンのタリアセン訪問 左上より時計回りに：土浦亀城、土浦信子、シルバ・モーザー夫人、ウィリアム・スミス、エーリヒ・メンデルゾーン、フランク・ロイド・ライト、リチャード・ノイトラ 土浦亀城、信子夫妻のアルバム「Taliesin Life (1)」
撮影：1924年
写真（複写）
土浦亀城アーカイブズ

7–9
エーリヒ・メンデルゾーンのタリアセン訪問 左から：メンデルゾーン、フランク・ロイド・ライト、リチャード・ノイトラ
土浦亀城、信子夫妻のアルバム「Taliesin Life (1)」
撮影：1924年
写真（複写）
土浦亀城アーカイブズ

7–10
フランク・ロイド・ライトとエーリヒ・メンデルゾーン 土浦亀城、信子夫妻のアルバム「Taliesin Life (1)」
撮影：1924年
写真（複写）
土浦亀城アーカイブズ

7–11
フランク・ロイド・ライト
フランク・ロイド・ライトから土浦信子への手書きの献辞入りヴァスムート“ To big little Nobu, Frank Lloyd Wright, Taliesin, November 11 25.”（小柄で偉大なノブへ、ライトより、1925年11月11日）
出版：エルンスト・ヴァスムート社
1910年
印刷、紙
65.0×40.0cm
土浦亀城アーカイブズ

7–12
フランク・ロイド・ライト
『Autobiography（自伝）』増補改訂版（土浦亀城旧蔵）
出版：デュエル・スローン・ピアース社
1932/43年
印刷、紙
22.0×21.8×4.0cm
土浦亀城アーカイブズ

+ オランダ前衛との交流

7–13
フランク・ロイド・ライト
『フランク・ロイド・ライト』
編：ヘンドリクス・ヴェイデフェルト 出版：ホーヘ・ブリュッヘ&C. A. ミース社
1925年
印刷、紙
34.0×33.0×2.5cm
東京都市大学図書館（仲田定之助文庫）

7–14
『ヴェンディンゲン』1921年4巻11号（表紙デザイン：エル・リシツキー）
出版：ホーヘ・ブリュッヘ&C. A. ミース社
1922年
印刷、紙
34.0×34.0cm
大阪中之島美術館

7–15
『ヴェンディンゲン』1925年7巻3号
出版：ホーヘ・ブリュッヘ&C.A. ミース社
1925年
印刷、紙
34.0×34.0cm
大阪中之島美術館

7–16
『ウェンディンゲン』1925年7巻4号
出版：ホーヘ・ブリュッヘ&C. A. ミース社
1925年
印刷、紙
34.0×34.0cm
大阪中之島美術館

7–17
『ウェンディンゲン』1925年7巻5号
出版：ホーヘ・ブリュッヘ&C. A. ミース社
1926年
印刷、紙
34.0×34.0cm
大阪中之島美術館

7–18
『ウェンディンゲン』1925年7巻6号
出版：ホーヘ・ブリュッヘ&C. A. ミース社
1926年
印刷、紙
34.0×34.0cm
大阪中之島美術館

7–19
『ウェンディンゲン』1925年7巻7号
出版：ホーヘ・ブリュッヘ&C. A. ミース社
1926年
印刷、紙
34.0×34.0cm
大阪中之島美術館

7–20
『ウェンディンゲン』1925年7巻8号
出版：ホーヘ・ブリュッヘ&C. A. ミース社
1926年
印刷、紙
34.0×34.0cm
大阪中之島美術館

7–21
『ウェンディンゲン』1925年7巻9号
出版：ホーヘ・ブリュッヘ&C. A. ミース社
1926年
印刷、紙
34.0×34.0cm
大阪中之島美術館

7–22
フランク・ロイド・ライトからヴェイデフェルトにあてた書簡、1930年8月6日
1930年8月6日
インク、紙（複写）
写真提供：オランダ建築協会ヘット・ニュー・インスティテュート、ヘット・スヒップ

7–23
フランク・ロイド・ライト、エーリヒ・メンデルゾーン
『フランク・ロイド・ライト作品集I』
出版：洪洋社
1926年
印刷、紙
25.8×19.3cm

7–24
フランク・ロイド・ライト、ヤーコブ・アウト
『フランク・ロイド・ライト作品集II』
出版：洪洋社
1926年
印刷、紙
25.8×19.3cm

7–25
フランク・ロイド・ライト、ヘンドリクス・ベルラーへ
『フランク・ロイド・ライト作品集III』
出版：洪洋社
1927年
印刷、紙
25.8×19.3cm

7–26
フランク・ロイド・ライト、アドルフ・ベーネ
『フランク・ロイド・ライト作品集IV』
出版：洪洋社
1928年
印刷、紙
25.8×19.3cm

7–27
フランク・ロイド・ライト
『フランク・ロイド・ライト作品集V』
出版：洪洋社
1928年
印刷、紙
25.8×19.3cm

+ 各国で開かれたライト作品展

7–28
フランク・ロイド・ライト
『近代建築』プリンストン大学におけるライトの連続講座の記録
出版：プリンストン大学出版
1931年
印刷、紙
27.0×21.0×1.5cm
東京都市大学（蔵田周忠文庫）

7–29
ヘンドリクス・ヴェイデフェルト
ポスター「フランク・ロイド・ライトの建築1893–1931年」展
1931年
リトグラフ、紙
76.8×48.8cm
豊田市美術館

7–30
「フランク・ロイド・ライトの建築1893–1931年」展、アムステルダム市立美術館にてエントランスの装飾
撮影者不詳　撮影：1931年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

+ アルヴァ・アアルト　北欧モダニズムとの交流

7–31
アルヴァ・アアルト、長女ヨハナと長男ハミルカル「落水荘」のゲストハウスにて
撮影：アイノ・アアルト、1939年
写真（複写）
アルヴァ・アアルト美術館

7–32
アルヴァ・アアルト、長女ヨハナと長男ハミルカル「落水荘」のゲストハウスにて
撮影：アイノ・アアルト、1939年
写真（複写）
アルヴァ・アアルト美術館

7–33
アルヴァ・アアルトからフランク・ロイド・ライトに宛てた手紙
1945年12月13日
インク、紙（複製）
アルヴァ・アアルト美術館

38 ライトとイタリア

+ 1910年のイタリア体験

7–34
ヴェルデ通りの眺望
撮影：テイラー・A. ウーレイ、1910年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

7–35
ヴェネツィアの運河沿いの館
撮影：テイラー・A. ウーレイ、1910年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

+ マシエリ記念学生会館とカルロ・スカルパ

7–36
フランク・ロイド・ライト
マシエリ記念学生会館計画案（イタリア、ヴェネツィア）1951 ／ 1952–55年 透視図
色鉛筆、水彩、トレーシング・ペーパー（複写）
オリジナル：63.5×49.5㎝
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

7–37
カルロ・スカルパによるマシエリ記念館 地階排気口詳細
カルロ・スカルパ、フランカ・セミ
撮影：ジョン・ヴォルパト、2016年
写真（複写）
マシエリ財団ヘリテージ資産管理ギャラリー・ネグロポンテ

7–38
カルロ・スカルパによるマシエリ記念館（イタリア、ヴェネツィア）1952–83年 カナル・グランデからの全景（左の建物）
建築：カルロ・スカルパ、フランカ・セミ
撮影：ジョン・ヴォルパト、2016年
写真（複写）
マシエリ財団ヘリテージ資産管理ギャラリー・ネグロポンテ

7–39
カルロ・スカルパによるマシエリ記念館（イタリア、ヴェネツィア）1952–83年 内観、カナル・グランデを見る
建築：カルロ・スカルパ、フランカ・セミ
撮影：ジョン・ヴォルパト、2016年
写真（複写）
マシエリ財団ヘリテージ資産管理ギャラリー・ネグロポンテ

7–40
カルロ・スカルパによるマシエリ記念館（イタリア、ヴェネツィア）1952–83年 2階ラウンジ内観
建築：カルロ・スカルパ、フランカ・セミ
撮影：ジョン・ヴォルパト、2016年
写真（複写）
マシエリ財団ヘリテージ資産管理ギャラリー・ネグロポンテ

7–41
カルロ・スカルパ
第12回ミラノ・トリエンナーレにおけるフランク・ロイド・ライト回顧展、断面図
1960年
鉛筆、色鉛筆、トレーシング・ペーパー（複写）
オリジナル：29.5×46.5cm
イタリア国立21世紀美術館

7–42
第12回ミラノ・トリエンナーレにおけるフランク・ロイド・ライト回顧展
会場構成：カルロ・スカルパ
撮影：1960年
写真、金属で裏打ち（複写）
オリジナル：30.5×38.6cm
イタリア国立21世紀美術館

7–43
第12回ミラノ・トリエンナーレにおけるフランク・ロイド・ライト回顧展
会場構成：カルロ・スカルパ
撮影：1960年
オリジナル：30.5×37.9 cm
写真、金属で裏打ち（複写）
イタリア国立21世紀美術館

7–44
「生ける建築の60年」展ストロッツィ宮（フィレンツェ）にて 左より：カルロ・スカルパ、アンジェロ・マシエリ、フランク・ロイド・ライト
撮影：フォト・レヴィ、1951年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

7–45
フランク・ロイド・ライトとカルロ・スカルパ他、ヴェネツィア、サン・マルコ広場ドゥカーレ宮殿前にて
撮影者不詳　撮影：1951年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

39 世界に向けたライトの目

+ アメリカ先住民文化への関心

7–46
フランク・ロイド・ライト自邸とスタジオ（イリノイ州オークパーク）1889–1911年 主寝室内観 北側壁面にオルランド・ジャンニーニによる壁画が見える
建築：フランク・ロイド・ライト
撮影：ジェームズ・コールフィールド、2013年
写真（複写）

7–47
フランク・ロイド・ライト
ナコマ・カントリー・クラブ計画案（ウィスコンシン州マディソン）1923–24年 北東から見た外観
鉛筆、色鉛筆、トレーシング・ペーパー、書き込みのある紙の上にマウント
65.1×91.8cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

7–48
フランク・ロイド・ライト
ナコマ・カントリー・クラブ計画案（ウィスコンシン州マディソン）1923–24年 屋根伏図
1924年
青焼図、紙（複写）
原図：92.0×144.0cm
土浦亀城アーカイブズ

+ 旅するライト

7–49
飛行機の前のフランク・ロイド・ライト
撮影者、撮影年不詳
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
エドガー・ターフェル建築記録・資料

7–50
ポートメイリオンの創設者、建築家クラフ・

ウィリアムズ・エリスと歩くフランク・ロイド・ライト
撮影:ニュース・クロニクル社マンチェスター、1956年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

7–51
アルキン夫妻とフランク・ロイド・ライト、ロシアにて
撮影者不詳　撮影：1937年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

+ イスラム文化圏への提案

7–52
フランク・ロイド・ライト
大バグダッド計画案（イラク、バグダッド）
1957年 鳥瞰透視図 北から文化センターと大学をのぞむ
インク、鉛筆、色鉛筆、トレーシング・ペーパー
88.9×131.9cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

40 未来へ向けた目：ブロードエーカー・シティ構想

7–53
フランク・ロイド・ライト
『消えゆく都市』
出版：W. F. ペイソン社
1932年
印刷、紙
21.5×21.5×1.4cm
遠藤現コレクション

7–54
フランク・ロイド・ライト
リヴィング・シティ構想、1958年 鳥瞰透視図
インク、鉛筆、色鉛筆、トレーシング・ペーパー
81.9×99.1cm
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

7–55
展覧会に出品されたブロードエーカー・シティ構想の模型
構想：フランク・ロイド・ライト
撮影：ロイ・ピーターソン、1934年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

7–56
映像インスタレーション フランク・ロイド・ライトのブロードエーカー・シティ構想に基づくCGアニメーション
建築、構想：フランク・ロイド・ライト
制作：ディヴィッド・ロメロ
映像投影システム・インスタレーション設計：八嶋有司
2023年
映像：2分30秒

41 フランク・ロイド・ライトとの対話

7–57
フランク・ロイド・ライトとの対話
制作：ナショナル・ブロードキャスティング・カンパニー他
1953年
映像：10分
ナショナル・ブロードキャスティング・カンパニー／ Getty Images
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

7–58
フランク・ロイド・ライト、タリアセン・ウェストにて
撮影者不詳　撮影：1954年
写真（複写）
コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
フランク・ロイド・ライト財団アーカイヴズ

コレクション展
歿後20年　若林奮

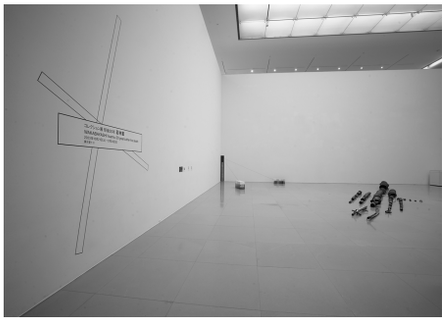
2023年10月21日［土］ー12月24日［日］
56日間
展示室1ー3

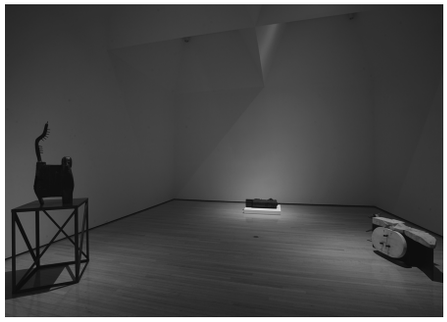
自然に対する独自の視点と精緻な観察に基づく作品で、戦後日本美術に大きな足跡を残した彫刻家・若林奮（わかばやし いさむ／1936-2003）。
若林のつくり出す作品は、積み重ねられた省察と深い思索に支えられながらも、寡黙で多くを語ることはない。修辞らしき部分を一切削ぎ落として本質に迫ろうとするその禁欲的な形態、鉄や銅、鉛といった金属あるいは硫黄などの素材によって成り立つ緊張感に満ちた表面には、思索の対象に対する鋭敏な感性と制作における強靭な意志とが交差しつつ生まれる繊細な詩情と深遠な思想が漂っている。それは、彫刻とはどのように在りうるのかという根源的な問いから発するものであり、また、空間や時間を含んだ自然やそこにある事物を、自己という唯一の存在を尺度として認識しようとする、作家自身の具体的で私的な経験の証跡となるものといえよう。若林の作品が持つこのような特徴が、彼をして現代日本彫刻の流れのなかで重要な位置を占めさせている。
若林が歿して20年の節目にあたる時期に、豊田市美術館が所蔵する若林作品をまとめて展示して、その作品に向き合い、改めてこの稀有な作家の思想に触れる機会とした。

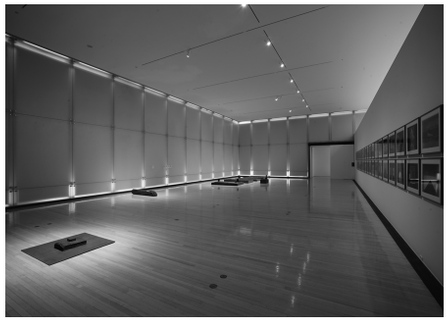


チラシ

観覧料：一般300円［250円］／高校・大学生200円［150円］／中学生以下無料
※［　］内は前売券及び20名以上の団体料金　※障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名含む）、豊田市内在住又は在学の高校生の方、豊田市在住の18歳以下の方（満18歳から最初の3月31日まで）、豊田市内在住の満70歳以上の方は無料［要証明］
主催：豊田市美術館
出品点数：27点（101枚組ドローイング1点を含む）
観覧者数：24,008人


展示風景


展示風景


展示風景

関連事業：
担当学芸員によるギャラリートーク
日時:10月29日［日］、11月25日［土］、12月10日［日］
午後2時ー3時
会場：展示室1ー3

印刷物：
チラシ：A4判
ギャラリーガイド：A4判／8ページ
グラフィックデザイン：矢萩喜従郎
作品展示：ヤマト運輸株式会社
会場設営：株式会社カトウスタヂオ
学芸担当：北谷正雄
庶務担当：籠谷明日香

展示室1

01
若林 奮
SEVERAL STRATUMS-1
1991年
エッチング、アクアチント、紙
100.0×85.0cm

02
若林 奮
SEVERAL STRATUMS-2
1991年
ソフトグランドエッチング、紙
100.0×85.0cm

03
若林 奮
SEVERAL STRATUMS-3
1991年
エッチング、アクアチント、紙
100.0×85.0cm

04
若林 奮
SEVERAL STRATUMS-4
1991年
エッチング、アクアチント、紙
100.0×75.0cm

05
若林 奮
ISAMU WAKABAYASHI (1992-N.Y.-)
1992年
カタログ、アクリル絵の具、鉄、布
31.0×26.2×1.0cm
寄託作品

06
若林 奮
SULPHUR DRAWING
1993年
カタログ、硫黄、アルミニウム
31.1×29.6×1.2cm
寄託作品

07
若林 奮
胡桃の葉
1994-96年
胡桃の葉、銅、インク、紙、木、鉄、アルミニウム
サイズ可変

08
若林 奮
樹皮と空地ー桐の樹
2002年
木、銅、鉄、紙、インク
サイズ可変

09
若林 奮
水没の振動尺
2002年
紙、鉄、綿、銅、インク
サイズ可変

展示室2

10
若林 奮
大風景 (4th Stage)
1964, 91年
アルミニウム、鉄、木
54.0×134.5×55.0cm

11
若林 奮
熱変へ II (3rd Stage)
1965, 90年
鉄
101.0×30.0×42.0cm

12
若林 奮
残り元素 V
1966年
鉄
30.0×100.0×50.0cm
寄託作品

展示室3

13
若林 奮
100の羨望
1967-72年
作家によってまとめられた一連のドローイング
全101点

14
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 I
1973年
木、グワッシュ、インク
5.5×35.1×14.9cm

15
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 II
1974年
木、鉄
15.3×21.5×15.1cm

16
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 III
1974年
木、グワッシュ
8.0×35.2×15.0cm

17
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 IV
1974年
木
19.7×24.0×19.3cm

18
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 V
1974年
木、グワッシュ、インク
21.3×13.0×14.0cm

19
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 VI
1974年
木、グワッシュ、インク
17.0×23.3×16.9cm

20
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 VII
1974年
木、インク
6.5×6.7×40.1cm

21
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 VIII
1974年
木、グワッシュ
14.0×19.0×6.8cm

22
若林 奮
100粒の雨滴 I
1976年
銅、鉄、真鍮
12.6×100.0×100.0cm

23
若林 奮
振動尺試作 I
1976-77年
木、鉛、鉄
22.0×22.0×145.0cm

24
若林 奮
所有・雰囲気・振動-草の侵略及び持物について I
1984年
鉄、銅、加熱器
36.4×183.0×91.6cm

25
若林 奮
所有・雰囲気・振動-草の侵略及び持物について II
1981-83年
鉄
19.2×182.7×91.0cm

26
若林 奮
所有・雰囲気・振動-草の侵略及び持物について III
1981-83年
鉄
35.6×182.7×91.5cm

27
若林 奮
所有・雰囲気・振動-草の侵略及び持物について IV
1984年
鉄、鉛
16.2×203.3×134.0cm

28
若林 奮
所有・雰囲気・振動-草の侵略及び持物について V
1981-83年
鉄、土
53.0×56.3×41.0cm

未完の始まり：
未来のヴンダーカンマー

2024年1月20日［土］−5月6日［月・祝］
95日間
展示室1, 8

絵画や彫刻に加え、動物の剥製や植物標本、地図は天球儀、東洋の陶磁器など、世界中からあらゆる美しいもの、珍しいものが集められた「ヴンダーカンマー（驚異の部屋）」。15世紀のヨーロッパで始まったこの部屋は、美術館や博物館の原型とされている。それは見知らぬ広大な世界を覗き見る、小さいながらも豊かな空想を刺激する空間だった。しかし、大航海時代の始まりとともに形成されたヴンダーカンマーには、集める側と集められる側の不均衡や異文化に対する好奇のまなざしも潜んでいた。
グローバル化が進み、加速度的に世界が均質化していくなかで、今改めて文化や伝統とはなにか、また他文化や他民族とどう出会うかが問われている。かつて「博物館行き」は物の終焉を意味する言葉だったが、本展出品の5人の作家たちは、歴史や資料を調査・収集し、現代のテクノロジーを交えながら、時を超えた事物の編み直しを試みた。美術館の隣に新しくできる博物館の開館にむけて開催した本展では、文化表象の実践の場としてのミュージアムの未来の可能性を探った。

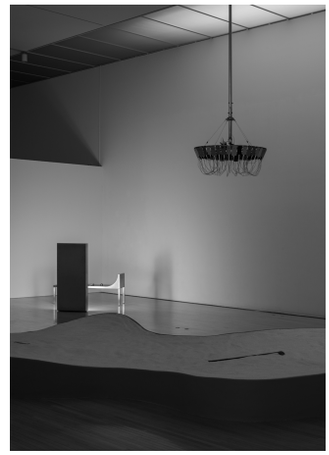
観覧料一般： 1,500円［1,300円］／高校・大学生1,000円［800円］／中学生以下無料
※［ ］内は前売券及び20名以上の団体料金　※障がい者手帳をお持ちの方（介添者1名含む）、豊田市内在住又は在学の高校生の方、豊田市在住の18歳以下の方（満18歳から最初の3月31日まで）、豊田市内在住の満70歳以上の方は無料［要証明］
主催： 豊田市美術館
協力： AGC株式会社、ANTENNA SPACE、PERROTIN、Taguchi Art Collection、TAKE NINAGAWA、豊田カントリー倶楽部
出品点数： 26点
観覧者数： 19,892人



ポスター


展示風景


展示風景


展示風景

関連事業：

タウス・マハチェヴァ＋鴻野わか菜対談
講師:タウス･マハチェヴァ（出品作家）､鴻野わか菜（ロシア現代美術・文学研究）
日時：1月20日［土］　午後2時−4時
会場：講堂（アーカイブ配信あり）

リウ・チュアンによるトーク
講師：リウ・チュアン（出品作家）
日時：1月21日［日］　午後2時−4時
会場：講堂（アーカイブ配信あり）

担当学芸員によるスライドトーク
日時：1月28日［日］、2月17日［土］、3月30日［土］
各日午後2時−3時
会場：講堂

美術館の大池で水切り（水の表面で石を飛ばす）をするワークショップ
講師：田村友一郎（出品作家）、橋本桂佑（水切り世界チャンピオン）
日時：4月14日［日］　午後2時−4時
会場：大池付近

田村友一郎＋ミラクルひかる対談
講師：田村友一郎（出品作家）＋ミラクルひかる（ものまねタレント）
日時：5月4日［土］　午後2時−3時30分
会場：講堂

印刷物：
ポスター：B1判、B2判
チラシ：A4版
作品ガイド：A3判／2つ折り/8ページ
カタログ：B5変形判/156ページ
広報物デザイン：REFLECTA
カタログデザイン：米山菜津子（YONEYAMA LLC.）
作品展示：ヤマト運輸株式会社
会場設営：ミラクルファクトリー
学芸担当：能勢陽子、石田大祐
庶務担当：籠谷明日香、松田吉範

ガブリエル・リコ

01
From Pythagoras to Penrose (Hare)
[ピタゴラスからペンローズへ (野ウサギ)]
2019年
羽根、PVC、セメントベース、鹿の枝角、ロープ、ネオン、野ウサギの剥製、ナイフ
180.0×300.0×180.0 cm
タグチアートコレクション蔵

02
VII from the seriesThe tasts of superlative and the admirable holiness
[最上級の味わいと見事な神聖さ (7)]
2021年
ネオン、枝、真鍮、金箔
123.0×173.0×8.0 cm
Courtesy of the Artist and Perrotin

03
With sweetness amongst the brains
[頭のなかでもっとも甘美な]
2021年
手彩色のセラミック
サイズ可変
Courtesy of the Artist and Perrotin

04
XLVII from the seriesMore robust nature... more robust geometry
[よりたくましい自然…よりたくましい幾何学 (47)]
2020年
ヒトデ、鹿の角、鉄輪、石、ネオン
92.0×130.0×8.0 cm
Courtesy of the Artist and Perrotin

05
To compound the small differences VII
[わずかな差を埋めるには VII]
2022年
ビーズ、エポキシ樹脂で覆った板
100.0×100.0×8.0 cm
Courtesy of the Artist and Perrotin

06
The second cause is meant to be an explanation of the first (Biznaga)
[ふたつめの原因はひとつめを説明するためのものである (ビズナガ)]
2020年
ウィチョル族の伝統的な手法で刺繍したカンヴァス
100.0×100.0×5.0 cm
Courtesy of the Artist and Perrotin

07
The second cause is meant to be an explanation of the first (Nopal)
[ふたつめの原因はひとつめを説明するためのものである (ノパル)]
2020年
ウィチョル族の伝統的な手法で刺繍したカンヴァス
100.0×100.0×5.0 cm
Courtesy of the Artist and Perrotin

08
El Horóscopo de Jesús (Dan, Richard & Joseph)
[イエスの星占い(ダン、リチャード&ヨセフ)]
2023年
枝、鉄、真鍮、ネオン、鹿の剥製
150.0×200.0×80.0 cm
Courtesy of the Artist and Perrotin

09
The second cause is meant to be an explanation of the first
(Páramo, The oak)
[ふたつめの原因はひとつめを説明するためのものである (パラモ山、オーク)]
2020年
ウィチョル族の伝統的な手法による刺繍と手描きによるカンヴァス
100.0×150.0×5.0 cm
尾上玉恵氏蔵
Courtesy of the Artist and Perrotin

10
I take comfort in your ignorance (the greatest obstacle of all) I
[あなたの無知を慰める (最大の障害) I]
2023年
色ガラス
118.0×42.5×5.0 cm
Courtesy of the Artist and Perrotin

11
I take comfort in your ignorance (the greatest obstacle of all) II
[あなたの無知を慰める (最大の障害) II]
2023年
色ガラス
118.0×42.5×5.0 cm
Courtesy of the Artist and Perrotin

12
I take comfort in your ignorance (the greatest obstacle of all) III
[あなたの無知を慰める (最大の障害) III]
2023年
色ガラス
119.0×52.0×5.0 cm
Courtesy of the Artist and Perrotin

13
If the Sun had been reduced in size because of the space between I and Us, much more would it have lost its color (glasssquare)
[もし太陽が私と私たちの間の空間でより小さくなっていたとしたら、その色はもっと失われていただろう (ガラスの四角)]
2020年
色ガラス
80.0×80.0×3.0 cm
Courtesy of the Artist and Perrotin

14
No podemos ver el interior del sol directamente (Pentágono y máscara)
[太陽の内部を直接見ることはできない (五角形とマスク)]
2022年
真鍮、マスク、ネオン
155.0×155.0×10.5 cm
Courtesy of the Artist and Perrotin

タウス・マハチェヴァ

15
リングロード
2018年
ミクストメディア
50.0×80.0×90.0 cm
Courtesy of the artist and M HKA, Museum of Contemporary Art

16
トラベルレポート No.0172931
2019年
印刷、シルクスクリーン、エンボス
各40.0×70.0 cm (3点組)
Courtesy of the artist and Shaltai Editions

17
セレンディピティの採掘
2021年
映像 (8分10秒)
Courtesy of the artist

18
セレンディピティの採掘
2020年
身体志向の工芸品 (真鍮、ガラス、金、磁器)
Courtesy of the artist and Frans Masereel Centrum

19
Яcалъул яc(アヴァル語で“の娘の娘”)
2024年
映像 (57分3秒)
Courtesy of the artist

20
42.6729165, 47.7314644
2023年
写真
Courtesy of the artist

21
Цlумихъ (アヴァル語で “鷲にて”)
2023年
映像 (59分45秒)
Courtesy of the artist

田村 友一郎

22
TiOS
2024年
ジョン・レノンの生成AIナレーションによるゴルフシミュレーション映像、宇宙船を模したセット、樹脂製パンカー、スマートフォン用ガラスの砂、チタン製ゴルフドライバー、ペーパーバック『ライ麦畑でつかまえて』、ステンレス製寝椅子、アファール猿人ルーシーのチタン製の骨、ステンレス製モノリス型照明、レントゲン写真、iPhone
作家蔵

リウ・チュアン

23
リチウムの湖のポリフォニーの島II
2023年
映像 (55分45秒)
Courtesy of the artist

ヤン・ヴォー

24
無題
2023
鉛筆、紙、インクジェットプリント、フン・ヴォーによる書、マクナマラの木による額
額: 46.4×34.0×3.1 cm (48点), コラージュ : 42.0×29.7 cm (48点)
courtesy of the artist and Take Ninagawa, Tokyo

25
Take My Breath Away
2017
ローマ時代 (紀元2世紀) の男性大理石立像の部分《下腿と両足》、真鍮
72.0×54.0×42.0 cm
courtesy of the artist; Marian Goodman Gallery, New York, Paris and Los Angeles; Take Ninagawa, Tokyo

26
2.2.1861
2009
紙にフン・ヴォーによる書
—
マクナマラの木、ガラス、板紙
29.7×21 cm
courtesy of the artist and Take Ninagawa, Tokyo

収集作品一覧

2023年度末　総点数	
国内作家	3,054点
国外作家	635点
合計	3,689点

2023年度 購入作品	
国内作家	0点
国外作家	0点

2023年度 寄贈作品	
国内作家	29点
国外作家	2点

寄贈作品 | 国内作家 | 美術



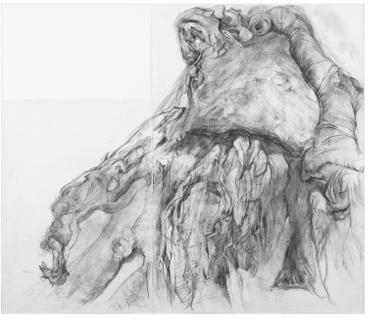
東 慎也
AZUMA Shinya
Human

2023年
油彩、板
53.0×45.5cm



池田 知嘉子
IKEDA Chikako
デッサン 三恵の大ケヤキ（山梨県）

2016年
木炭、鉛筆、紙
55.5×79.0cm



池田 知嘉子
IKEDA Chikako
デッサン 三恵の大ケヤキ（山梨県）

2016年
木炭、鉛筆、紙
78.4×93.7cm



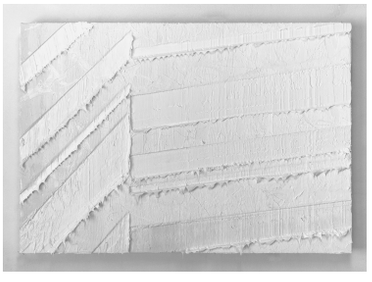
池田 知嘉子
IKEDA Chikako
デッサン 塚崎の大楠（佐賀県武雄）

2017年
木炭、鉛筆、紙
109.0×117.6cm



池田 知嘉子
IKEDA Chikako
デッサン 塚崎の大楠（佐賀県武雄）

2017年
木炭、鉛筆、紙
40.5×109.0cm



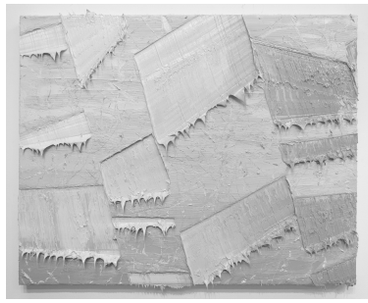
今西 真也
IMANISHI Shinya
Glimmering 08

2021年
油彩、カンヴァス
65.2×91.0cm



今西 真也
IMANISHI Shinya
Glimmering 09

2021年
油彩、カンヴァス
62.5×50.0cm



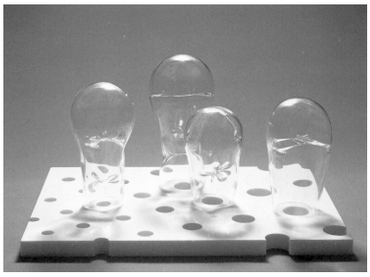
今西 真也
IMANISHI Shinya
Glimmering 17

2022年
油彩、カンヴァス
80.3×100.0cm



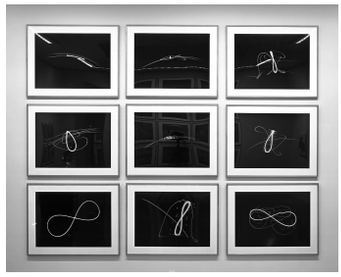
田島 美加
TAJIMA Mika
Art d'Ameublement（Cirque aux Mille Couleurs）

2023年
アクリル・スプレー、熱成形プラスチック
109.5×84.5×5.0cm



野村 仁
NOMURA Hitoshi
内部構造：弦 4

1996年
ガラス、大理石
42.0×81.0×60.0cm



野村 仁
NOMURA Hitoshi
アナレンマ : 惑星

1996-2000年
写真
各77.5×105.5cm（9点組）



野村 仁
NOMURA Hitoshi
宇宙農業 : 野菜の開花

1998年
写真
各81.0×122.0cm（9点組）



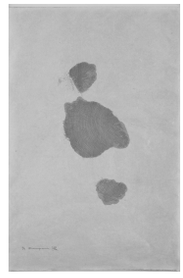
野村 仁
NOMURA Hitoshi
火星 : 太陽と石

1999年
写真
各81.5×100.0cm（9点組）



野村 仁
NOMURA Hitoshi
宇宙振動

2006年
大理石
55.0×43.0×43.0cm



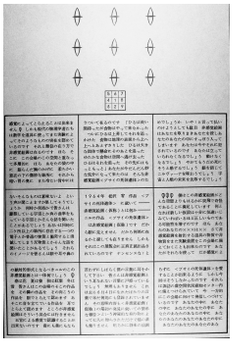
古郡 弘
FURUGORI Hiroshi
《あるてみすのいちじく》ドローイング（9）

1994年
鉛筆、パラフィン、和紙
91.0×60.5cm



松澤 宥
MATSUZAWA Yutaka
赤本（聖なる）

1962/63年
ペン、コラージュ、ノート
22.0×12.0×1.5cm



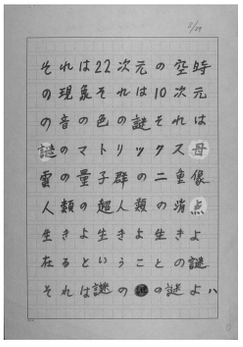
松澤 宥
MATSUZAWA Yutaka
〈プサイの死体遺体〉に就いて

1964年
印刷、紙
38.4×26.1cm



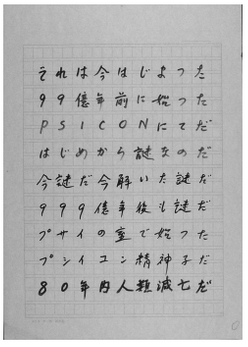
松澤 宥
MATSUZAWA Yutaka
精密絵画30（青本）

1967年
ペン、コラージュ、ノート
22.0×14.0×1.0cm



松澤 宥
MATSUZAWA Yutaka
謎の謎の謎よ

2003年
ペン、修正液、紙
31.0×22.0cm



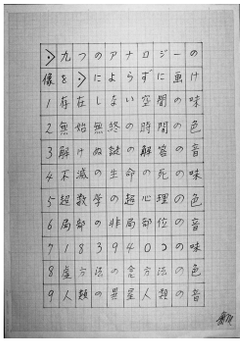
松澤 宥
MATSUZAWA Yutaka
80年問題

2003年
ペン、紙
26.5×19.5cm



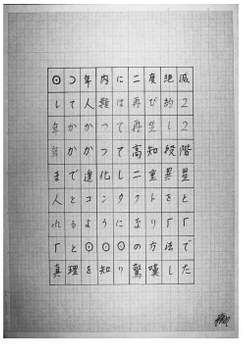
松澤 宥
MATSUZAWA Yutaka
宥密法 公案

2003年
ペン、紙、額、紐
33.9×26.5cm



松澤 宥
MATSUZAWA Yutaka
九つのアナロジー

2004年
ペン、コラージュ、ノート
44.0×30.9cm



松澤 宥
MATSUZAWA Yutaka
人類の絶滅と再生

2004年
ペン、鉛筆、紙
44.0×30.9cm



松澤 宥
MATSUZAWA Yutaka
80年問題－2005/2/5

2004-05年
ペン、鉛筆、修正液、チラシ、方眼紙
各29.7×21.0cm（送り状及び1-6番まで）7枚、各25.7×18.0cm（7-13番）7枚

寄贈作品 | 国内作家 | 美術資料

松澤 宥
MATSUZAWA Yutaka
パフォーマンス「白鳥の歌を聞けよ」、《白鳥の歌》に関する資料

2002年
ペン、色鉛筆、方眼紙、ファックスのコピー

松澤 宥
MATSUZAWA Yutaka
大書す

2006年
ペン、紙、額
34.5×26.5cm

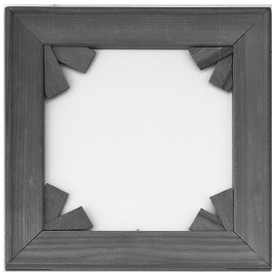
松澤 宥
MATSUZAWA Yutaka
大書せり

2006年
ペン、紙、額
34.5×26.5cm

松澤 宥
MATSUZAWA Yutaka
この一枚の白き和紙の中に、、、

制作年不詳
印刷、紙
10.0×10.0cm

寄贈作品 | 国外作家 | 美術



イミ・クネーベル
Imi KNOEBEL
木枠

1968/86年
木
30.0×30.0×2.0cm

黒田 辰秋
《流稜文飾手筐》のためのスケッチ
1950年頃
鉛筆、紙
23.5×30.5cm

黒田 辰秋
スケッチブック
1940-50年代
鉛筆、色鉛筆、水彩、紙
31.5×23.0cm

棟方 志功
棟方志功より黒田辰秋宛書簡
昭和45年3月
1970年
ペン、紙
25.5×36.0cm（専用便箋1枚）、20.5×9.0cm（封筒）

志賀 直哉
志賀直哉より黒田辰秋宛書簡
昭和29年8月23日付
1954年
ペン、紙
21.0×30.0cm（長便箋）、21.5×10.5cm（封筒）

川端 康成
川端康成より黒田辰秋宛書簡
1966年以降
墨、紙
20.0×120.0cm（長便箋）、20.5×9.0cm（封筒）

黒田 辰秋
黒田辰秋より武内潔眞宛書簡
昭和16年9月5日付
1941年
墨、ペン、紙
各22.0×19.0cm(便箋2枚)、21.5×9.5cm(封筒)

志賀 直哉
志賀直哉より黒田辰秋宛葉書
昭和44年11月
1969年
ペン、紙
25.0×17.8cm

白洲 正子
白洲正子より黒田辰秋宛葉書
昭和54年10月30日付
1979年
墨、紙
17.0×10.0cm

黒田 辰秋
朱漆鉄金具座三面鏡スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
37.0×27.5cm

黒田 辰秋
器局スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
25.2×32.0cm

黒田 辰秋
箱スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
26.0×35.0cm

黒田 辰秋
箱スケッチ
1959年
鉛筆、紙
20.0×28.0cm

黒田 辰秋
箱スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
24.5×34.5cm

黒田 辰秋
額スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
24.5×35.0cm

黒田 辰秋
額縁のデザイン-イ
1930-70年代
鉛筆、紙
24.5×35.0cm

黒田 辰秋
額縁のデザイン-し
1930-70年代
鉛筆、紙
24.5×35.0cm

黒田 辰秋
額縁のデザイン-D
1930-70年代
鉛筆、紙
24.5×35.0cm

黒田 辰秋
額縁のデザイン-G
1930-70年代
鉛筆、紙
24.5×35.0cm

黒田 辰秋
額縁の断面デザイン
1930-70年代
鉛筆、紙
27.5×37.0cm

黒田 辰秋
鏡台スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
36.0×25.0cm

黒田 辰秋
鏡台スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
28.5×23.5cm

黒田 辰秋
スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
27.7×21.5cm

黒田 辰秋
鏡台スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
28.4×24.0cm

黒田 辰秋
ランプシェードスケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
35.0×24.5cm

黒田 辰秋
錠スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
26.0×34.0cm

黒田 辰秋
スプーンスケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
26.0×18.0cm

黒田 辰秋
引出ノブデザイン
1930-70年代
鉛筆、紙
26.0×36.0cm

黒田 辰秋
部分図スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
25.0×35.0cm

黒田 辰秋
鉄灰皿デザイン
1961年
鉛筆、紙
25.0×35.0cm

黒田 辰秋
引出、取っ手スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
32.5×24.5cm

黒田 辰秋
間取り図スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
36.0×26.0cm

黒田 辰秋
間取り図スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
36.0×23.0cm

黒田 辰秋
棚スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
36.0×26.0cm

黒田 辰秋
猫スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
36.0×26.0cm

黒田 辰秋
フィジーの台のスケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
15.0×21.5cm

黒田 辰秋
フィジーの台のスケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
15.0×21.5cm

黒田 辰秋
フィジーの台のスケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
15.0×21.5cm

黒田 辰秋
衣紋掛けスケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
24.0×36.0cm

黒田 辰秋
図面
1930-70年代
鉛筆、紙
25.0×17.0cm

黒田 辰秋
図面
1930-70年代
鉛筆、色鉛筆、紙
24.5×35.5cm

黒田 辰秋
棚図面
1930-70年代

鉛筆、紙
24.5×36.0cm
黒田 辰秋
黒根来大椀スケッチ
1930-70年代
墨、紙
35.0×21.0cm

黒田 辰秋
乾漆耀貝螺鈿飾筐スケッチ
1930-70年代
墨、紙
25.0×18.0cm

黒田 辰秋
卍文様のデザイン
1930-70年代
鉛筆、水彩、紙
30.0×42.0cm

黒田 辰秋
棚の装飾デザイン
1930-70年代
鉛筆、水彩、紙
26.0×37.0cm

黒田 辰秋
文様デザイン（半分）
1930-70年代
鉛筆、紙
38.0×55.0cm

黒田 辰秋
文様デザイン（半分）
1930-70年代
鉛筆、紙
38.0×55.0cm

黒田 辰秋
時計文字盤デザイン、器断面図
1930-70年代
鉛筆、紙
42.5×30.0cm

黒田 辰秋
円
1930-70年代
鉛筆、紙
40.0×29.7cm

黒田 辰秋
拓本1
1930-70年代
木炭、紙
25.0×35.0cm

黒田 辰秋
拓本2
1930-70年代
木炭、紙
24.0×30.0cm

黒田 辰秋
拓本3
1930-70年代
木炭、色鉛筆、紙
25.0×30.0cm

黒田 辰秋
拓本4
1930-70年代
木炭、紙
23.0×37.0cm

黒田 辰秋
拓本5
1930-70年代
木炭、紙
30.5×33.0cm

黒田 辰秋
拓本6
1930-70年代
木炭、紙
28.5×43.0cm

黒田 辰秋
拓本7
1930-70年代
墨、紙
33.0×61.5cm

黒田 辰秋
拓本8
1930-70年代
木炭、紙
31.0×60.0cm

黒田 辰秋
拓本9ーアイヌ盆
1930-70年代
木炭、紙
40.5×54.0cm

黒田 辰秋
拓本10
1930-70年代
木炭、紙
40.0×28.0cm

黒田 辰秋
拓本11
1930-70年代
木炭、紙
10.0×5.0cm

黒田 辰秋
いろは-つね/はほ
1930-70年代
鉛筆、墨、紙
38.0×30.0cm

黒田 辰秋
いろは-す/もせ
1930-70年代
鉛筆、墨、紙
38.0×30.0cm

黒田 辰秋
いろは-ゆめ/さき
1930-70年代
鉛筆、墨、紙
38.0×30.0cm

黒田 辰秋
いろは-けふ/やま
1930-70年代
鉛筆、墨、紙
38.0×30.0cm

黒田 辰秋
いろは-おく/ゐの
1930-70年代
鉛筆、墨、紙
38.0×30.0cm

黒田 辰秋
いろは-む/なら
1930-70年代
鉛筆、墨、紙
38.0×30.0cm

黒田 辰秋
いろは-つね/れそ
1930-70年代
鉛筆、墨、紙
38.0×30.0cm

黒田 辰秋
いろは-よた/わか
1930-70年代
鉛筆、墨、紙
38.0×30.0cm

黒田 辰秋
いろは-るを/りぬ
1930-70年代
鉛筆、墨、紙
38.0×30.0cm

黒田 辰秋
いろは-とち
1930-70年代
鉛筆、紙
38.0×30.0cm

黒田 辰秋
いろは-はに/いろ
1930-70年代
鉛筆、墨、ペン、紙
38.0×30.0cm

黒田 辰秋
いろはにほへと
1930-70年代
鉛筆、紙
25.5×36.0cm

黒田 辰秋
いろはにほへと
1930-70年代
鉛筆、水彩、紙
29.0×37.5cm

黒田 辰秋
いろはにほへと
1930-70年代
鉛筆、水彩、紙
29.0×37.5cm

黒田 辰秋
いろはにほへと
1930-70年代
鉛筆、紙
30.0×38.0cm

黒田 辰秋
いろはにほへと
1930-70年代
鉛筆、紙
27.0×36.0cm

黒田 辰秋
いろは-ならむうゐの
1930-70年代
鉛筆、墨、紙
53.0×48.0cm

黒田 辰秋
いろは-の/はに
1930-70年代
鉛筆、紙
38.0×30.0cm

黒田 辰秋
新匠全卓の脚の型
1962年
インク、厚紙
25.5×9.5cm

黒田 辰秋
盆の角の原寸の型
1962年
インク、色鉛筆、厚紙
33.0×24.0cm

黒田 辰秋
栗八角机の型
1962年
インク、鉛筆、色鉛筆、厚紙
30.5×29.0cm

黒田 辰秋
新匠会机型
1962年頃
インク、鉛筆、色鉛筆、厚紙
28.0×29.0cm

黒田 辰秋
建物、パンのスケッチ
1930-70年代
鉛筆、インク、紙

35.0×26.0cm

黒田 辰秋
バラのスケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
25.0×36.0cm

黒田 辰秋
花/卵スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
28.0×24.0cm

黒田 辰秋
植物文様
1930-70年代
鉛筆、インク、紙
20.0×12.0cm

黒田 辰秋
鍵紋様デザイン
1930-70年代
鉛筆、紙
19.0×29.0cm

黒田 辰秋
器スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
19.0×29.0cm

黒田 辰秋
花紋様
1930-70年代
鉛筆、紙
24.0×27.5cm

黒田 辰秋
花鳥デザイン
1930-70年代
鉛筆、紙
28.0×24.0cm

黒田 辰秋
花デザイン
1930-70年代
鉛筆、紙
28.0×24.0cm

黒田 辰秋
器草紋装飾デザイン
1930-70年代
鉛筆、紙
28.0×24.0cm

黒田 辰秋
八角形図面
1930-70年代
鉛筆、紙
28.0×23.0cm

黒田 辰秋
花スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
25.0×33.0cm

黒田 辰秋
花鳥図案
1930-70年代
鉛筆、紙
24.0×28.0cm

黒田 辰秋
紋、顔／兎、唐草紋
1930-70年代
鉛筆、紙
28.0×24.0cm

黒田 辰秋
壽図案
1930-70年代
鉛筆、墨、紙
17.5×25.5cm

黒田 辰秋
寿図案
1930-70年代
鉛筆、紙
23.0×16.0cm

黒田 辰秋
梅香合図案
1930-70年代
鉛筆、紙
22.0×22.0cm

黒田 辰秋
彫花紋椅子スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
19.0×34.0cm

黒田 辰秋
図案
1930-70年代
ペン、紙
19.0×22.0cm

黒田 辰秋
吉祥紋図案
1930-70年代
墨、紙
20.0×27.0cm

黒田 辰秋
水辺図案
1930-70年代
鉛筆、紙
27.5×19.5cm

黒田 辰秋
花鳥図案
1930-70年代
ペン、紙
32.0×19.7cm

黒田 辰秋
菱型紋
1930-70年代
墨、紙
18.0×24.5cm

黒田 辰秋
レタリング、草花図案
1930-70年代
鉛筆、墨、紙
33.0×24.5cm

黒田 辰秋
輪繋ぎ紋デザイン
1930-70年代
鉛筆、紙
34.5×26.0cm

黒田 辰秋
筥スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
26.5×36.5cm

黒田 辰秋
彫花紋装飾デザイン
1930-70年代
鉛筆、紙
26.0×37.5cm

黒田 辰秋
断面図
1930-70年代
鉛筆、赤鉛筆、紙
24.5×18.0cm

黒田 辰秋
箱側面図
1930-70年代
鉛筆、紙
26.0×35.5cm

黒田 辰秋
箱側面図
1930-70年代
鉛筆、紙
26.0×35.5cm

黒田 辰秋
箱側面図
1930-70年代
鉛筆、紙
26.0×35.5cm

黒田 辰秋
箱側面図
1930-70年代
鉛筆、紙
33.0×49.0cm

黒田 辰秋
箱断面図
1930-70年代
鉛筆、紙
25.5×46.0cm

黒田 辰秋
錠付箱/椅子スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
26.0×35.5cm

黒田 辰秋
蓋物スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
36.0×24.0cm

黒田 辰秋
蓋物スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
36.0×24.0cm

黒田 辰秋
錠付き箱スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
21.5×28.0cm

黒田 辰秋
重ねた器断面図
1930-70年代
鉛筆、墨、紙
28.0×24.0cm

黒田 辰秋
皿断面図
1930-70年代
鉛筆、紙
29.0×21.0cm

黒田 辰秋
重ねた器断面図
1930-70年代
鉛筆、墨、紙
28.0×24.0cm

黒田 辰秋
棗断面図
1930-70年代
鉛筆、紙
31.0×23.5cm

黒田 辰秋
棗断面図
1930-70年代
鉛筆、紙
24.0×34.0cm

黒田 辰秋
帯留、香合スケッチ
1930-70年代
鉛筆、赤鉛筆紙

24.0×31.0cm

黒田 辰秋
大雲院金輪寺型
1930-70年代
鉛筆、紙
24.0×18.0cm

黒田 辰秋
器スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
30.0×24.5cm

黒田 辰秋
水指スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
30.0×42.0cm

黒田 辰秋
蓋物スケッチ
1930-70年代
ペン、水彩、紙
34.5×25.0cm

黒田 辰秋
皿の縁デザイン
1930-70年代
ペン、紙
29.5×31.0cm

黒田 辰秋
盆の縁デザイン
1930-70年代
鉛筆、ペン、紙
29.0×37.0cm

黒田 辰秋
盆原寸大図
1930-70年代
鉛筆、クレヨン、紙
76.0×54.0cm

黒田 辰秋
盆の縁と角のスケッチ
1930-70年代
インク、紙
49.0×39.0cm

黒田 辰秋
皿の縁スケッチ
1930-70年代
鉛筆、赤鉛筆、紙
18.0×25.5cm

黒田 辰秋
蓋表デザイン
1930-70年代
鉛筆、紙
36.0×30.0cm

黒田 辰秋
卓上紋様デザイン
1930-70年代
鉛筆、紙
38.5×58.0cm

黒田 辰秋
輪繋ぎ紋デザイン
1930-70年代
鉛筆、紙
26.0×36.0cm

黒田 辰秋
乾漆花壷スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
38.5×25.5cm

黒田 辰秋
盆スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
29.0×38.0cm

黒田 辰秋
梅花盆切り抜き
1930-70年代
鉛筆、紙
26.5×26.5cm

黒田 辰秋
梅花盆切り抜き
1930-70年代
鉛筆、紙
24.5×24.0cm

黒田 辰秋
蓋物上面図
1930-70年代
鉛筆、紙
25.0×35.0cm

黒田 辰秋
宝結文スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
26.0×37.0cm

黒田 辰秋
衝立スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
34.0×26.0cm

黒田 辰秋
紋様デザイン
1930-70年代
鉛筆、紙
36.0×26.0cm

黒田 辰秋
衝立スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙

26.0×36.0cm

黒田 辰秋
紋様パターンスケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
36.0×26.0cm

黒田 辰秋
扉スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
36.0×26.0cm

黒田 辰秋
紋様パターンスケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
36.0×26.0cm

黒田 辰秋
棚スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
26.0×36.0cm

黒田 辰秋
衝立：春夏秋冬スケッチ
1930-70年代
鉛筆、赤鉛筆、紙
26.0×36.0cm

黒田 辰秋
衝立：四君子スケッチ
1930-70年代
鉛筆、赤鉛筆、紙
26.0×36.0cm

黒田 辰秋
衝立雪月花スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
26.0×36.0cm

黒田 辰秋
衝立図面
1930-70年代
鉛筆、紙
26.0×36.0cm

黒田 辰秋
衝立スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
26.0×36.0cm

黒田 辰秋
衝立ザクロ図面
1930-70年代
鉛筆、ペン、紙
27.0×36.0cm

黒田 辰秋
ざくろ図面
1930-70年代
鉛筆、赤鉛筆、紙
25.0×36.0cm

黒田 辰秋
ざくろレタリング、デザイン
1930-70年代
鉛筆、ペン、紙
27.0×25.0cm

黒田 辰秋
棚スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
25.0×36.0cm

黒田 辰秋
棚スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
25.0×36.0cm

黒田 辰秋
紋様図案
1930-70年代
鉛筆、紙
36.0×27.0cm

黒田 辰秋
衝立スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
27.0×36.0cm

黒田 辰秋
衝立スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
27.0×36.0cm

黒田 辰秋
衝立スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
27.0×36.0cm

黒田 辰秋
衝立スケッチ
1930-70年代
鉛筆、紙
27.0×36.0cm

黒田 辰秋
室内スケッチ
1930-40年代
鉛筆、水彩、紙
28.2×58.6cm

黒田 辰秋
椿スケッチ
1944年
鉛筆、水彩、紙

38.0×27.5cm

黒田 辰秋
薔薇スケッチ
1944年頃
鉛筆、水彩、紙
33.5×22.0cm

黒田 辰秋
睡蓮スケッチ
1944年頃
鉛筆、水彩、紙
28.0×24.0cm

黒田 辰秋
水仙スケッチ
1944年頃
鉛筆、水彩、紙
36.5×30.5cm

黒田 辰秋
蘭スケッチ
1944年頃
鉛筆、水彩、紙
36.5×30.5cm

黒田 辰秋
カラタチスケッチ
1944年頃
鉛筆、水彩、紙
30.5×36.5cm

黒田 辰秋
蘭スケッチ
1944年
鉛筆、水彩、紙
21.5×30.0cm

黒田 辰秋
オニユリスケッチ
1944年頃
鉛筆、水彩、紙
30.0×21.5cm

黒田 辰秋
ポンポンダリアスケッチ
1944年頃
鉛筆、水彩、紙
28.0×24.0cm

黒田 辰秋
ポンポンダリアスケッチ
1944年頃
鉛筆、水彩、紙
29.0×24.0cm

黒田 辰秋
オガタマノキスケッチ
1944年頃
鉛筆、水彩、紙
21.0×26.5cm

黒田 辰秋
薊スケッチ
1931年
鉛筆、水彩、紙
37.0×26.0cm

黒田 辰秋
パンジースケッチ
1931年頃
鉛筆、水彩、紙
37.0×26.0cm

黒田 辰秋
薊スケッチ
1931年頃
鉛筆、水彩、紙
37.0×26.0cm

黒田 辰秋
百合スケッチ
1931年頃
鉛筆、水彩、紙
37.0×26.0cm

黒田 辰秋
鈴蘭スケッチ
1930-40年代
鉛筆、水彩、紙
37.0×26.0cm

黒田 辰秋
梅スケッチ
1944年
鉛筆、水彩、紙
30.0×36.0cm

黒田 辰秋
風景スケッチ
1930-40年代
鉛筆、水彩、紙
26.0×37.0cm

黒田 辰秋
花に鳥スケッチ
1930-40年代
墨、水彩、紙
36.0×30.0cm

黒田 辰秋
猫スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
36.0×30.0cm

黒田 辰秋
猫スケッチ
1930-40年代
鉛筆、色鉛筆、紙
29.5×21.0cm

黒田 辰秋
花スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
37.5×26.0cm

黒田 辰秋
カップに活けた花スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
37.5×26.0cm

黒田 辰秋
禅語：江國春風吹不起
1930-40年代
鉛筆、紙
37.5×26.0cm

黒田 辰秋
梅スケッチ
1945年
鉛筆、紙
36.5×30.0cm

黒田 辰秋
芍薬スケッチ
1945年
水彩、鉛筆、紙
42.0×30.5cm

黒田 辰秋
芍薬スケッチ
1945年
水彩、鉛筆、紙
42.0×30.5cm

黒田 辰秋
建物玄関スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
26.0×37.0cm

黒田 辰秋
牡丹・葉スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
42.0×30.0cm

黒田 辰秋
牡丹・花と葉スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
42.0×30.0cm

黒田 辰秋
薊スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
33.0×26.0cm

黒田 辰秋
牡丹スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
42.0×30.0cm

黒田 辰秋
風景：正福寺石部スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
26.0×33.5cm

黒田 辰秋
女性像スケッチ
1930-40年代
墨、水彩、紙
20.5×14.0cm

黒田 辰秋
自画像スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
33.5×26.0cm

黒田 辰秋
幼児スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
36.5×30.0cm

黒田 辰秋
猫スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
42.0×30.0cm

黒田 辰秋
猫スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
30.0×36.0cm

黒田 辰秋
猫スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
54.0×38.5cm

黒田 辰秋
猫スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
31.5×36.5cm

黒田 辰秋
猫スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
30.0×36.5cm

黒田 辰秋
猫スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
60.0×38.0cm

黒田 辰秋
猫スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙

30.5×36.5cm

黒田 辰秋
猫スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
30.5×36.5cm

黒田 辰秋
猫スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
31.0×36.5cm

黒田 辰秋
猫スケッチ
1930-40年代
鉛筆、紙
30.0×36.5cm

黒田 辰秋
猫スケッチ・半身
1930-40年代
鉛筆、紙
42.5×30.0cm

黒田 辰秋
猫スケッチ・上半身
1930-40年代
鉛筆、紙
42.5×30.0cm

黒田 辰秋
自画像スケッチ
1937年
鉛筆、紙
37.4×26.0cm

黒田 辰秋
猫と椿花スケッチ
1930-40年代
鉛筆、色鉛筆、紙
57.0×38.0cm

黒田 辰秋
落款印「大癡」
1937年
石
6.5×3.7cm

黒田 辰秋
落款印
1930-40年代
石
1.8×1.8cm

黒田 辰秋
落款印「無碍山房」
1930-40年代
石
3.5×3.5cm

黒田 辰秋
落款印
1930-40年代
石
3.3×3.3cm

黒田 辰秋
落款印「癡」
1930-40年代
石
3.3×2.2cm

黒田 辰秋
落款印「辰」
1930-40年代
陶磁
3.5×3.5cm

黒田 辰秋
落款印「秋」
1930-40年代
陶磁
3.0×3.0cm

黒田 辰秋
飾り手箱（未完）
1930-80年代
木
16.5×26.0×10.0cm

黒田 辰秋
卍文飾り手箱（未完）
1930-80年代
木
14.5×37.5×18.5cm

のぎす
1930-80年代
木、鉄
34.5×16.1×18.5cm

追入鐉
1930-80年代
木、鉄
20.0cm

罫引　1
1930-80年代
木、鉄
40.0×12.0cm

罫引　2
1930-80年代
木、鉄
38.5×18.7cm

ジェームズ・リー・バイヤーズ
豊田市民芸館にて
1996年
ペン、紙
25.7×18.1 cm

ジェームズ・リー・バイヤーズ
MEITETSU TOYOTA HOTEL
1996年
ペン、紙
14.9×21.0cm

ジェームズ・リー・バイヤーズ
名刺
1996年
ペン、名刺
5.5×9.1cm

ジェームズ・リー・バイヤーズ
WATER IS THE...
1996-97年？
印刷
21.6×21.6 cm

ジェームズ・リー・バイヤーズ
Léon
1997年
紙
26.0×18.6cm

ジェームズ・リー・バイヤーズ
ライス・グリーン・ブッダ
金箔、椀、黒い紙、白いナプキン
椀7.3cm、Φ13.0cm

ジェームズ・リー・バイヤーズ
立体作品2
箱、紙、テープ、卵の殻、木の実、顔料
5.3cm、Φ14.7cm

ジェームズ・リー・バイヤーズ
作品？
フェルト玉、スワロフスキーのタグ、赤い紙
3.0×1.5cm（フェルト玉5個）

ジェームズ・リー・バイヤーズ
ポートレート
1996年11月
写真

ジェームズ・リー・バイヤーズ
赤い封筒、金の色鉛筆
1996年頃
赤い封筒、金の色鉛筆
封筒22×10.7cm、色鉛筆7.0cm、Φ0.7cm

ジェームズ・リー・バイヤーズ
哲学者の爪楊枝
1996-97年頃
黒い棒（2本）
6.0cm

ジェームズ・リー・バイヤーズ？
押し花？
押し花

ジェームズ・リー・バイヤーズ
960916
ケルンのルードヴィッヒ美術館でジェームズ・リー・バイヤースのパフォーマンスで彼が撒き散らした紙片
1996年
666と印字のある白い紙、666と印字のある黒い紙、DR.DR.DR.DR.DR.BYARSの印字のあるピンクの紙、封筒
白い紙と黒い紙1.0×1.0cm、ピンクの紙2.0×1.0cm

ジェームズ・リー・バイヤーズ
MOVIE, SCORE CARD
1996-97年
紙
25.2×5.6cm

ジェームズ・リー・バイヤーズ
般若心經
冊子
17.5×7.6×0.5cm

ジェームズ・リー・バイヤーズ
NEWSWEEK 1997年2月10日号
雑誌
27.0×20.5cm

ジェームズ・リー・バイヤーズ
奈良公園散歩の折、犬追いの為の石
1997年
小石

ジェームズ・リー・バイヤーズ
ハニカム　マスク
マスク、箱

ジェームズ・リー・バイヤーズ
ライター
黒と金のBICのライター（2個）

ジェームズ・リー・バイヤーズ
ゴム手袋
ピンクのゴム手袋（バラの模様付き）

ジェームズ・リー・バイヤーズ
プラスティックのボトル
プラスティックのボトル（黒、蓋付き）
21.4×7.0cm

作品貸出実績

※会期が複数年度にまたがる巡回展は、
2023年度分のみとした。

作家名	作品名	展覧会名/会場	会期
高松 次郎	紐（黒 No.1）	**デザインに恋したアート・アートに嫉妬したデザイン**	
中西 夏之	コンパクト・オブジェ	大阪中之島美術館	2023年4月15日-6月18日
会田 誠	あぜ道		
中村 哲也	不知火		
草間 彌生	No. AB.	**Yayoi Kusama: 1945 to Now**	
		Museo Guggenheim Bilbao	2023年6月27日-10月8日
岸田 劉生	鯰坊主	**春陽会誕生100年　それぞれの闘い　岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ**	
宮脇 晴	少女立像	東京ステーションギャラリー	2023年9月16日-11月12日
宮脇 晴	家族	栃木県立美術館	2024年1月13日-3月3日
		長野県立美術館	2024年3月16日-5月12日
福田 美蘭	冬ー供花	**開館35周年記念 福田美蘭ー美術って、なに?**	
福田 美蘭	涅槃図	名古屋市美術館	2023年9月23日-11月19日
ジェームズ・リー・バイヤーズ	無垢への扉	**James Lee Byars Exhibition**	
ジェームズ・リー・バイヤーズ	問いかける立体が部屋の中を支配する	Pirelli HangarBicocca, Milano	2023年10月12日-2024年2月18日
奈良 美智	Dream Time	**奈良美智:The Beginning Place ここから**	
奈良 美智	Drawings	青森県立美術館	2023年10月14日-2024年2月25日
岸田 劉生	代々木附近	**芥川龍之介と美の世界　二人の先達ー夏目漱石、菅虎雄**	
		久留米市美術館	2023年10月28日-2024年1月28日
		神奈川県立近代美術館	2024年2月10日-4月7日
藤田 嗣治	美しいスペイン女	**藤田嗣治 心の旅路をたどるー手紙と手しごとを手がかりに**	
		アサヒグループ大山崎山荘美術館	2023年12月16日-2024年2月25日
フランク・ロイド・ライト	フランシス･W・リトル邸の窓ガラス	**フランク・ロイド・ライト　世界を結ぶ建築**	
フランク・ロイド・ライト	第1葉　W・H・ウィンズロー邸、透視図	パナソニック 汐留美術館	2024年1月11日-3月10日
フランク・ロイド・ライト	第3葉　ウィンズロー邸の厩舎、平面図および透視図	青森県立美術館	2024年3月20日-5月12日
フランク・ロイド・ライト	第10葉　ヒルサイド・ホーム・スクール、平面図		
フランク・ロイド・ライト	第15葉　トーマス・P・ハーディ邸、透視図		
フランク・ロイド・ライト	第24葉　ウォレン・F・ヒコックス邸、平面図および透視図		
フランク・ロイド・ライト	第29葉　K・C・デローズ邸、平面図および透視図		
フランク・ロイド・ライト	第32葉　D・D・マーティン邸、鳥瞰図		
フランク・ロイド・ライト	第32葉　D・D・マーティン邸、平面図		
フランク・ロイド・ライト	第33葉　ラーキン・カンパニー、平面図および透視図		
フランク・ロイド・ライト	第33葉 a　ラーキン・カンパニー、平面図および透視図		
フランク・ロイド・ライト	第33葉　ラーキン・カンパニー、内部空間		
フランク・ロイド・ライト	第37葉 フレッド・C・ロビー邸、透視図		
フランク・ロイド・ライト	第37葉 フレッド・C・ロビー邸、平面図		
フランク・ロイド・ライト	第56葉 a　アヴェリー・クーンレイ邸、平面図および内部空間		
フランク・ロイド・ライト	第57葉　アヴェリー・クーンレイ邸、透視図および窓ガラスのデザイン		
フランク・ロイド・ライト	第57葉　アヴェリー・クーンレイ邸、平面図		
フランク・ロイド・ライト	第63葉 ユニティ教会、透視図		
フランク・ロイド・ライト	第63葉 ユニティ教会、立面図		
フランク・ロイド・ライト	第64葉 ユニティ教会、正面		
フランク・ロイド・ライト	第64葉 ユニティ教会、平面図		
フランク・ロイド・ライト	アヴェリー・クーンレイ邸の椅子		

作家名	作品名	展覧会名/会場	会期
フランク・ロイド・ライト	ウォレン･ヒコックス邸のハイバック・チェア		
フランク・ロイド・ライト	キンダーシンフォニーズ (No. 2)		
フランク・ロイド・ライト	キンダーシンフォニーズ (No. 3)		
フランク・ロイド・ライト	キンダーシンフォニーズ (No. 4)		
フランク・ロイド・ライト	アヴェリー・クーンレイ邸の壁面照明器具		
フランク・ロイド・ライト	アヴェリー･クーンレイ･プレイハウスの窓ガラス		
フランク・ロイド・ライト	アヴェリー・クーンレイ邸のテラスの増築案		
フランク・ロイド・ライト	帝国ホテルの食器セット		
フランク・ロイド・ライト	帝国ホテルの椅子　2脚		
フランク・ロイド・ライト	帝国ホテルのテーブル		
フランク・ロイド・ライト	帝国ホテルの壁面装飾		
フランク・ロイド・ライト	ラーキン・カンパニー・ビルディング		
フランク・ロイド・ライト	ラーキン・カンパニー・ビルディングの椅子付き事務机		
フランク・ロイド・ライト	ラーキン・カンパニー・ビルディングの折りたたみ式サイドチェア		
フランク・ロイド・ライト	ジョンソン&サン社の椅子		
フランク・ロイド・ライト	花入れ		
ヘンドリクス・テオドルス・ヴェイデフェルト	フランク･ロイド･ライトの建築展		
フランシス・ベーコン	スフィンクス	**レアリスムの視点ー戦後具象美術と抽象美術**	
アルベルト・ジャコメッティ	ディエゴの胸像	岡崎市美術博物館	2024年1月27日-3月17日
白髪 一雄	無題		
田中 敦子	Work 1963 B		
ピーノ・パスカーリ	キリンの斬首	**Pino Pascali**	
ピーノ・パスカーリ	ミサイルー平和の鳩	Fondazione Prada	2024年3月28日-9月23日
コンスタンティン・ブランクーシ	眠る幼児	**ブランクーシ 本質を象る**	
コンスタンティン・ブランクーシ	若い男のトルソ II	アーティゾン美術館	2024年3月30日-7月7日
コンスタンティン・ブランクーシ	雄鶏		

教育・普及

1 講演会、シンポジウム

教育普及レクチャーシリーズ 04
より良い鑑賞へのガイド（とその難しさ）について考える
講師：森功次（大妻女子大学国際センター准教授）
日時：9月9日［土］午後1時－3時
会場：講堂
参加人数：60人
＊豊田市図工美術部会自主研修会と合同開催

帝国ホテル二代目本館100周年　フランク・ロイド・ライト　世界を結ぶ建築
記念講演会
講師：ケン・タダシ・オオシマ（展覧会監修者、ワシントン大学建築学部教授）、ジェニファー・グレイ（フランク・ロイド・ライト財団副代表、タリアセン・インスティテュート・ディレクター）
日時：10月21日［土］　午後2時－5時
会場：講堂
参加人数：121人

帝国ホテル二代目本館100周年　フランク・ロイド・ライト　世界を結ぶ建築
中日文化センター特別協賛講演会
講師：千葉真智子（当館学芸員）
日時：11月4日［土］午後2時－3時30分
会場：講堂
参加人数：46人

帝国ホテル二代目本館100周年　フランク・ロイド・ライト　世界を結ぶ建築
講演会「ライトの建築－その造形と思想のありか」
講師：富岡義人（三重大学教授）
日時：12月3日［日］午後2時－3時30分
会場：講堂
参加人数：170人

未完の始まり：未来のヴンダーカンマー
タウス・マハチェヴァ＋鴻野わか菜対談
講師:タウス･マハチェヴァ（出品作家）､鴻野わか菜（ロシア現代美術・文学研究）
日時：1月20日［土］　午後2時-4時
会場：講堂
会場：53人

未完の始まり：未来のヴンダーカンマー
リウ・チュアンによるトーク
講師：リウ・チュアン（出品作家）
日時：1月21日［日］　午後2時-4時
会場：講堂
参加人数：53人

豊田市美術館オンライントークシリーズ vol.6
「時空を編むこと」
講師：小川哲（小説家）
日時：3月2日［土］午後2時－3時30分
会場：講堂
参加人数：50人

未完の始まり：未来のヴンダーカンマー
田村友一郎＋ミラクルひかる対談
日時：5月4日［土］　午後2時－3時30分
会場：講堂
講師：田村友一郎（出品作家）、ミラクルひかる（ものまねタレント）
参加人数：145人

2 講座、解説会、ギャラリートーク、ワークショップ

吹けば風
船川翔司による公開制作
日時：7月8日［土］午前10時－12時
会場：展示室5
参加人数：50人
日時：7月9日［日］午後3時－5時
会場：展示室5
参加人数:50人

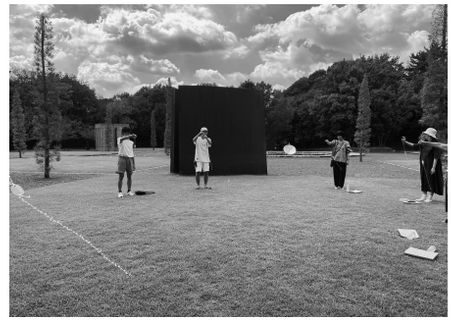
コレクション企画「枠と波」
担当学芸員によるギャラリートーク
講師：鈴木俊晴（当館学芸員）
日時：①7月8日［土］、②9月9日［土］午後3時30分－4時30分
会場：展示室
参加人数：①18人、②27人

吹けば風
船川翔司による「天気」のワークショップ
ゲスト：船川翔司（出品作家）
日時：7月22日［火］午前10時－12時
会場：展示室5及び庭園
参加人数:15人

吹けば風
澤田華によるワークショップ
ゲスト：澤田華（出品作家）
日時：7月25日［火］午後1時30分－4時
会場：ワークショップルーム
参加人数:23人

吹けば風
関川航平のなにがしたいんだろう1-4
講師：関川航平（出品作家）
日時：8月12日［土］午後3時－5時
会場：展示室1
参加人数：60人
日時：8月26日［土］午後3時－5時
会場：講堂
参加人数：45人
日時：9月2日［土］開館中不定期に実施
会場：館内及び庭園
参加人数：50人
日時：9月18日［月・祝］午後1時－5時
会場：1階階段室
参加人数：50人

吹けば風
船川翔司・AokidによるWeather twin
ゲスト:船川翔司（出品作家）､Aokid（ダンサー､作家）
日時：9月3日［日］午前10時－午後5時30分
参加人数：27人



コレクション企画「枠と波」
レクチャー＆パフォーマンス
「波音と夏の午後」
日時：9月10日［日］
午後3時－　レクチャー：「1970年代の日本美術における波音」 金子智太郎（愛知県立芸術大学准教授）
午後4時－　パフォーマンス：誉田千尋、山田聡　パフォーマンス協力：兒島朋笑、林晃世
会場：展示室
参加人数：60人

コレクション展　歿後20年　若林奮
担当学芸員によるギャラリートーク
講師：北谷正雄（当館学芸員）
日時：①10月29日［日］、②11月25日［土］、③12月10日［日］午後2時－3時
会場：展示室1－3

参加人数：①15人、②20人、③34人

帝国ホテル二代目本館100周年　フランク・ロイド・ライト　世界を結ぶ建築
トーク「ブロードエーカー・シティー：ライトの民主主義のための社会の模型」
講師:磯矢亮介（建築家、元タリアセンアプレンティス）
日時：11月28日［火］　午後2時ー3時
会場：展示室8　ユーソニアン住宅原寸模型前
参加人数：37人

帝国ホテル二代目本館100周年　フランク・ロイド・ライト　世界を結ぶ建築
ライトの図面を見る、読む
講師：伊藤維（名古屋造形大学准教授、伊藤維建築設計事務所代表）
日時：12月16日［土］　午後3時30分ー4時30分
会場：展示室8
参加人数：25人

帝国ホテル二代目本館100周年　フランク・ロイド・ライト　世界を結ぶ建築
担当学芸員によるギャラリートーク
日時：①12月9日［土］、②12月23日［土］　午後4時ー5時
会場：展示室8
参加人数：①29人、②30人

未完の始まり：未来のヴンダーカンマー
担当学芸員によるスライドトーク
実施日：①2024年1月28日［日］、②2月17日［土］、③3月30日［土］　各日午後2時ー3時
会場：講堂
講師：能勢陽子（当館学芸員）
参加者：①32人、②30人、③78人

未完の始まり：未来のヴンダーカンマー
田村友一郎によるワークショップ
日時：2024年4月14日［日］　午後2時ー4時
会場：大池付近
講師：田村友一郎（出品作家）、橋本桂佑（水切り世界チャンピオン）、荒木優光（DJ）
参加者：150人

アウトリーチ活動

館長と学芸員による連続出張美術講座
Vol.1　美術の楽しみ
講師：高橋秀治（当館館長）
日時：8月20日［日］午後2時–3時30分
場所：講堂
参加人数：39人

Vol.2 山田光春の芸術―画家と、教師と、瑛九と
講師：成瀬美幸（当館学芸員）
日時：9月19日［火］　午後1時ー2時30分
場所：崇化館交流館視聴覚室
参加人数：14人

Vol.3 こんなにある！豊田市の現代建築
講師：能勢陽子（当館学芸員）
日時：10月6日［金］　午後7時ー8時
場所：逢妻交流館中会議室
参加人数：30人

Vol.4 美術館ってなにするところ？現代美術と美術館
講師：石田大祐（当館学芸員）
日時：11月25日［土］　午後4時ー5時30分
場所：小原交流館会議室
参加人数：7人

Vol.5 アートと本　扉をあけたらなにがある？
講師：西﨑紀衣（当館学芸員）
日時：12月12日［火］　午後6時ー7時
場所：豊田市中央図書館　6階多目的ホール
参加人数：7人

Vol.6 それで、そもそも美術の鑑賞ってなんなんですか！？
講師：鈴木俊晴（当館学芸員）
日時：2024年1月14日［日］　午後2時ー3時
場所：猿投台交流館中会議室
参加人数：28人

Vol.7 アートとデザイン・ファッションの切れない関係
講師：千葉真智子（当館学芸員）
日時：2024年2月4日［日］午後2時-3時30分
場所：T-FACE　A館6F 多目的ホール「Yスタジオ」Room 1
参加人数：15人

Vol.8 超入門　美術の流れと豊田市美術館のコレクション
講師：北谷正雄（当館学芸員）
日時：2024年3月17日［日］　午後2時ー3時
会場：講堂
参加人数：40人

3　作品ガイドボランティア

美術館の教育・普及活動を支援、活性化していくことを目的に平成8年より活動を開始。
令和6年度に第7期生を募集。現在、46名が登録。

ギャラリーツアー

内容：各企画展の会期中、展示室において対話を交えた1時間程度のツアーを実施した。

定時：平日は午後2時から毎日
　　土･日･祝日は午前11時と午後2時の2回開催（毎月第3土曜の午前を除く）

定時	活動回数	301
	参加者数	1,942
団体	件数	29
	参加者数	626
参加者数合計		2,568

※団体からの事前予約によるツアー

鑑賞入門プログラム　みる×かんがえる×つたえる鑑賞会
内容：作品ガイドボランティアとの対話を交えながら、ひとつの作品を30ー40分かけて鑑賞するプログラム。
各回午後1時ー

日付	トーカー	作品	人数
4月2日	松葉	寺内曜子《ひとつづきの面》	16
4月16日	矢頭	長谷川繁《死ゲル》	16
5月7日	眞島	徳冨満《a vision of universe》	22
7月16日	角田	ゾリオ《憎しみ》	19
7月30日	岡野	櫃田伸也《触風景》	33
8月5日	三島	横山奈美《LOVE》	24
8月26日	城所	ゾリオ《言葉を純化するために》	45
9月10日	喜田	小堀四郎《黄衣の女》	26
9月23日	小野	川角岳大《Street Light》	26
11月19日	岡﨑	若林奮《大風景（4th stage)》	16
11月26日	小林	セラ《ダブル・コーンズ》	14
12月2日	加藤	岡崎和郎《HISASHI》	20
12月16日	堀口	若林奮《樹皮と空地 - 桐の樹》	20
1月27日	鈴木比	グスタフ・クリムト《オイゲニア・プリマフェージの肖像》	32
2月18日	鈴木恵	クリスト《梱包》	35
3月2日	鈴木浩	ボイス《ジョッキー帽》	25
3月16日	宍戸	奈良美智《Through the Break in the Rain》	25
3月31日	佐孝	グスタフ・クリムト《オイゲニア・プリマフェージの肖像》	33
合計			447

“こども”ギャラリーツアー

内容：学校の夏休みなどの長期休暇等に開催した子どもや親子向けのツアー
対象：小学3-4年生向け
実施日：5月6日、7月30日、8月8日、8月14日、11月24日、12月23日、3月20日、3月24日
参加人数：合計164人（8回実施）



ランドスケープツアー

内容：作品ガイドボランティアとともに庭園をめぐり、建築や庭園、屋外彫刻について理解を深めるプログラム
実施日：4月29日、5月1日、11月19日、11月25日
参加人数：合計64人（4回実施）

アートフレンド活動記録

作品ガイドボランティアによる自主組織アートフレンドの活動

日付	内容	場所	人数
2月20日	フレイル予防としてのアート鑑賞	広川町区民会館	16
7月8日	「子ども会」親子でアート鑑賞	美里1区区民会館	9
7月22日	フレイル予防としてのアート鑑賞	野見区民会館	16
7月26日	放課後児童クラブ出前講座	伊保小学校「せんだん」	50
8月2日	放課後児童クラブ出前講座	大林小学校放課後児童クラブ「なかよし」	110
8月3日	学校放課後児童クラブ出前講座	寿恵野小学校「のびのび」	130
8月10日	放課後児童クラブ出前講座	浄水北小学校「紙ひこうき」	29
8月10日	放課後児童クラブ出前講座	浄水小学校「ふぁみりー」	25
8月23日	豊田市美術館団体鑑賞ツアー	浄水小学校 放課後児童クラブ「ふぁみりー」	22
8月23日	豊田市美術館団体鑑賞ツアー	浄水北小学校 放課後児童クラブ「紙ひこうき」	22
8月24日	放課後児童クラブ出前講座	若林西小学校「ほたる」	49
7月29日	まちさとミライ塾＋2023「開催中の展覧会を知ろう！」	活動センター研修室	8
9月30日	フレイル予防講座	藤岡南交流館	45
10月1日	元気アップ教室	下古屋区民会館	11
10月1日	フレイル予防講座	下古屋区民会館	14
11月25日	豊田市美術館で開催中の展覧会を知ろう！	とよた市民活動センター	7
2月27日	対話で楽しむアート鑑賞会	美里交流館	15
合計			578

4 学校団体の受け入れ

■中学校／美術館見学学習

①博学連携プログラム
博学連携プログラムは豊田市博物館が2024年度に新規開館することをうけ、博物館・美術館と連携して学校受け入れを行うプログラム

来館日	学校名	人数
12月6日、7日	豊田市立童子山小学校	62
2月27日	豊田市立小原中部小学校	6
合計		68

②心に残る記念事業（コンサート）にあわせて希望校の3年生が来館した

来館日	学校名	人数
8月22日	豊田市立稲武中学校	9
8月23日	豊田市立足助中学校	68
8月23日	豊田市立小原中学校	25
8月24日	豊田市立下山中学校	22
8月24日	豊田市立石野中学校	33
合計		157

＊学習の基本的な流れ

1. 講堂へ入場
2. 館職員による概要説明、館紹介ビデオ視聴
3. グループ単位で常設展、企画展を観覧
4. 講堂へ再入場、点呼後、退場

■そのほか／授業・部活動等での見学

来館日	学校名	人数
6月30日	豊田市立足助小学校　4年生	18
7月5日	豊田市立朝日丘中学校　特別支援学級	29
7月21日	刈谷市立刈谷南中学校	25
7月25日	飯田市立竜峡中学校　美術部	18
8月23日	豊田市立浄水小学校　放課後児童クラブ	25
8月23日	豊田市立浄水北小学校　放課後児童クラブ	29
8月30日	豊田市立猿投台中学校　美術部	18
9月20日	豊田市立童子山小学校　2年生	65
9月27日	豊田市立童子山小学校　2年生	62
10月26日	豊田市立童子山小学校　2年生	22
10月27日	津島市立高台寺小学校　5年生	36
11月8日	豊田市立童子山小学校　1年生	124
11月17日	豊田市立萩野小学校　5・6年生	7
11月28日	豊田市立中山小学校	99
12月12日	半田市立乙川小学校	80
2月14日	豊田市立冷田小学校　3年生	10
2月28日	豊田市立土橋小学校　4年生	58
3月1日	豊田市立敷島小学校	4
3月2日	豊田市立猿投台中学校　美術部	12
3月7日	西尾市立一色中学校　1年生	31
合計		772

■高校生・大学生・専門学校生の見学

来館日	学校名	人数
4月11日	岐阜女子大学　4年生	14
4月25日	東海工業専門学校金山校	16
5月11日	名古屋芸術大学	15
8月10日	トライ式高等学院豊田キャンパス 1～3年生	39
6月28日	学校法人河合塾　河合塾美術研究所	20
7月2日	学校法人河合塾　河合塾美術研究所	8
7月25日	愛知県立豊田高等特別支援学校 美術・茶華道部	14
8月2日	帝塚山学院高等学院　美術コース・美術部	41
9月6日	近畿大学　DesignStudio	33
9月7日	京都工芸繊維大学美術部	29
9月21日	芝浦工業大学　建築設計研究室	21
9月21日	信州大学人文学部	16
10月25日	中京大学	26
10月31日	豊田工業高等専門学校3年生	48
11月2日	名古屋市立大学　芸術工学部　都市建築デザイン学科	11
11月5日	明治大学理工学部建築学科建築史・建築論研究室	23
11月7日	名古屋造形大学　地域社会圏領域	35
11月7日	芝浦工業大学　郷田研究室	18
11月11日	名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科2 ～ 4年	55
11月12日	ユネスコ・デザイン都市なごや/ディーキン大学	23
11月14日	愛知県立愛知総合工科高等学校デザイン工学科　2年生	42
11月14日	名城大学経済学部	20
11月15日	愛知県立愛知総合工科高等学校デザイン工学科　1年生	42
11月22日	愛知学泉大学	12
11月24日	愛知シュタイナー学園	14
11月29日	愛知県立岩倉総合高等学校	25
12月1日	愛知県立芸術大学	22
12月9日	中京大学　現代社会学部	15
12月15日	中京大学豊田キャンパス　学芸員課程	13
2月7日	愛知県立豊田高等特別支援学校	16
3月8日	愛知県立豊田東高等学校	31
合計		757

5 博物館実習

実習生：10人（7大学）
実習期間：8月22日［火］ー26日［土］ 計5日間

カリキュラム

	実習内容
1日目	オリエンテーション
	美術館の役割
	館内の施設・設備／管理運営について
	作品資料調査作業のための事前説明・資料配布
2日目	作品資料調査、調書作成
3日目	作品の管理・保存
	作品資料調査作業の報告
	展覧会の企画から実施まで
4日目	作品収集の意義
	調査研究活動について
	美術館建築について／美術館広報について
5日目	教育普及活動について
	実習のまとめ〜感想及び意見交換

6 研修会

来館日	団体名	人数
7月28日	豊田市図工美術教員夏季研修	88

7 庭園活用事業

美術館庭園を活用し、美術館への来館促進及びにぎわいの創出を目的に平成27年（2015年）秋から実施

お庭でマルシェ（春）
日時：5月3日［水・祝］、4日［木・祝］
　　午前10時ー午後4時（2日間）
会場：庭園
参加人数：2,020人
出店数：のべ55店

お庭でマルシェ（秋）
日時：11月25日［土］、26日［日］
　　午前10時ー午後4時（2日間）
会場：庭園
参加人数：3,203人
出店数：のべ52店

共催：豊田市中心市街地活性化協議会
運営：一般社団法人TCCM

8 出版・ビデオ・音声ガイド制作

出版、印刷物

『紀要 No.16』
『年報（令和4年度版）』
「配布用ギャラリーガイド／音声ガイド」
子ども向け「豊田市美術館ガイド」
企画展、テーマ展、常設展に関する出版／印刷物は、各展覧会の掲載ページを参照のこと。

ビデオ制作

企画展「吹けば風」 15分
企画展「フランク・ロイド・ライト　世界を結ぶ建築」15分
コレクション展「歿後20年　若林奮」 15分
企画展「未完の始まり：未来のヴンダーカンマー」15分
関連イベント記録ビデオ　15回分

9 撮影協力

企業カタログ、記念撮影等　62件

10 そのほか

学芸研修生の受け入れ

4人（愛知県立芸術大学との連携事業として）

託児サービス

企画展「フランク・ロイド・ライト　世界を結ぶ建築」
日時：12月23日［土］、24日［日］
参加人数：26件

企画展「未完の始まり：未来のヴンダーカンマー」
日時：2024年3月17日［日］、30日［土］
参加人数：6件

学芸員の解説付きベビーカーツアー

日時：2024年3月8日［金］、12日［火］、14日［木］
　　午前10時30分ー11時
会場：展示室2ー5
参加人数：28人

キッズアワー

日時：2024年3月8日［金］、12日［火］、14日［木］、20日［水］、24日［日］各日午前10時ー12時
会場：展示室1ー5

レストランで学芸員とティータイム

講師：①能勢陽子（当館学芸員）
　　②北谷正雄（当館学芸員）
　　③高橋秀治（当館館長）
日時：①2024年2月20日［火］、②29日［木］、③3月13日［水］いずれも午後3時ー4時
会場：レストラン
参加人数：①6人、②5人、③6人

調査研究

1. 展覧会に関すること

鈴木俊晴
・（カタログ）「枠によせ、波によせる」『枠と波』展覧会カタログ、豊田市美術館、2023年

千葉真智子
・作品解説「フランク・ロイド・ライト　帝国ホテル二代目本館（東京・日比谷）1913-23年　第2案、横断面図」『中日新聞』2023年10月31日
・作品解説「フランク・ロイド・ライト　リヴィング・シティ構想、1958年　鳥瞰透視図」『中日新聞』2023年11月1日
・「フランク・ロイド・ライト　アーティスト解体新書No.047」『Tokyo Art Navigation』2024年1月23日

能勢陽子
・「刻々と移り変わる夏を受け止める作品たち――『吹けば風』展キュレーターズノート」artscape、大日本印刷株式会社、2023年9月号
・（カタログ）「博物館の時間」『未完の始まり：未来のヴンダーカンマー』展カタログ、HeHe発行、2024年3月
・（カタログ）「作品解説　ひとつではなく多数の歴史を――「未完の始まり：未来のヴンダーカンマー」『未完の始まり：未来のヴンダーカンマー』展カタログ、HeHe発行、2024年3月
・「ミュージアム：ヤン・ヴォー《無題》、《Take My Breath Away》」毎日新聞、2024年4月27日

石田大祐
（カタログ）「吹けば風―作品の経験について」『吹けば風』展覧会カタログ、豊田市美術館、2023年

2. 所蔵作品・所蔵作家等に関すること

北谷正雄
・「若林奮―彫刻・場・自然」『若林奮　森のはずれ』武蔵野美術大学 美術館・図書館　2023年8月

千葉真智子
・「（座談会）：アール・デコにおける装飾芸術の諸相―建築史、デザイン史、服飾史からの視点　三田村哲哉、千葉真智子、朝倉三枝、筒井直子」『Fashion Talks』第15号　京都服飾文化研究財団　2023年1月
・「生きている美術館／アーカイヴとしての美術館―収め方と開き方」『視る』2023年7/8月号　京都国立近代美術館
・「表層の魅惑」『モダン・タイムス・イン・パリ1925　機械時代のアートとデザイン』ポーラ美術館（カタログ）青幻舎　2024年1月

西﨑紀衣
・「三つの髙橋節郎展を振り返って」『安曇野髙橋節郎記念美術館開館20周年記念　コレクション選』公益財団法人安曇野文化財団　安曇野髙橋節郎記念美術館、2023年
・「[報告] クリムト作《オイゲニア・プリマフェージの肖像》のX線、紫外線、赤外線及び高精細画像による撮影について」『豊田市美術館研究紀要』No.16、2024年3月

3. そのほか

成瀬美幸
・「山田光春の前半生（1912～1945）」『豊田市美術館研究紀要』No.16、2024年3月

利用実績

展覧会総観覧者数：203,046人
附属施設利用者数：81,749人
施設総利用者数：284,795人

1 観覧者数

※常設特別展含む　（人）

年	月	日数	企画展		常設展		髙橋節郎館		合計	
			観覧者数	1日平均	観覧者数	1日平均	観覧者数	1日平均	観覧者数	1日平均
5	4	26	5,631	217	6,020	232	2,624	101	14,275	549
	5	19	6,707	353	7,438	391	2,870	151	17,015	896
	6	4	977	244	378	95	190	48	1,545	386
	7	27	14,428	534	6,984	259	3,684	136	25,096	929
	8	28	13,367	477	6,748	241	3,699	132	23,814	850
	9	22	10,947	498	5,324	242	2,780	126	19,051	866
	10	9	4,669	519	4,258	473	1,341	149	10,268	1,141
	11	26	15,112	581	13,992	538	4,296	165	33,400	1,285
	12	21	15,223	725	13,499	643	3,047	145	31,769	1,513
6	1	10	2,094	209	2,216	222	−	−	4,310	431
	2	26	4,849	187	5,809	223	−	−	10,658	410
	3	27	5,165	191	6,680	247	−	−	11,845	439
合計		245	99,169	406	79,346	325	24,531	101	203,046	832

2 ギャラリー利用状況

※美術館利用分除く　（人）

開催期間	開催日数	展覧会名	入場者数	1日平均	市内・市外
2023年4月4日［火］−4月9日［日］	6	田中和枝個展	986	164	市内
4月18日［火］−4月23日［日］	6	キルトハーツ　パッチワークキルト展	877	146	市内
4月25日［火］−4月30日［日］	6	水野博子個展	925	154	市内
5月2日［火］−5月7日［日］	6	I AM A CAT	1,200	200	市内
5月9日［火］−5月14日［日］	6	石田グループ写真展	855	143	市内
5月16日［火］−5月21日［日］	5	第23回 G.A.M展	577	115	市内
6月27日［火］−7月2日［日］	6	輪島塗蒔絵の源流をたずねて	943	157	市外
7月4日［火］−7月9日［日］	6	令和3年度 豊田芸術選奨受賞記念 武山直樹展	1,206	201	市内
7月11日［火］−7月16日［日］	6	ジャパニジー	732	122	市外
7月25日［火］−7月30日［日］	6	＃101人の人生と101色の夢	467	78	市外
8月8日［火］−8月20日［日］	12	宇宙と生命	1,962	164	市外
8月29日［火］−9月3日［日］	6	K-TEN.29	1,159	193	市内
9月12日［火］−9月24日［日］	12	高木鈴香個展	1,430	119	市外
10月31日［火］−11月5日［日］	6	第15回 創造の仲間たち展	535	89	市内
11月21日［火］−11月26日［日］	6	季の文化展	968	161	市内
2024年2月27日[火]−3月3日[日]	6	ことしも描きました展	622	104	市内
3月5日［火］−3月17日［日］	12	ナルシシズムの星	1,362	114	市内
合計	119		16,806	141	

※開催期間は利用許可上の期間、開催日数は実際の開催日数で記載

3 ライブラリー利用状況

（人）

年	月	人数
5	4	341
	5	460
	6	47
	7	672
	8	518
	9	490
	10	254
	11	775
	12	815
6	1	193
	2	467
	3	571
合　計		5,603
1日平均		23

4 レストラン等付属施設利用状況

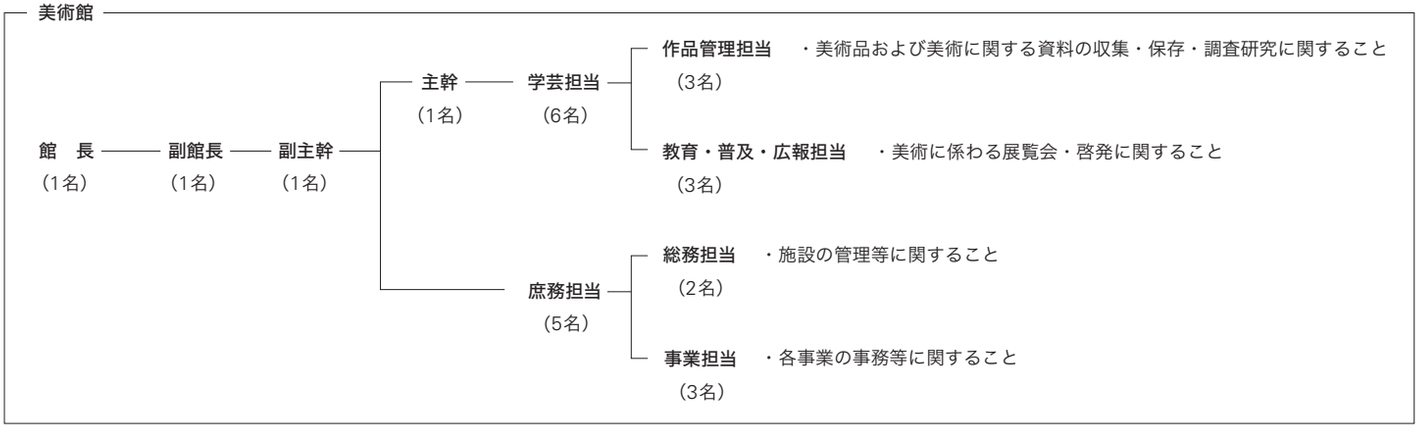
（人）

年	月	日数	レストラン	ミュージアムショップ	茶室童子苑	その他施設	合計
5	4	26	1,586	1,047	1,122	323	4,078
	5	19	1,520	1,369	1,267	2,335	6,491
	6	4	121	122	270	347	860
	7	27	1,576	1,124	983	286	3,969
	8	27	1,425	1,060	740	449	3,674
	9	22	1,326	1,128	727	689	3,870
	10	9	912	1,262	698	624	3,496
	11	26	2,830	3,926	1,768	4,350	12,874
	12	36	2,431	4,243	1,451	472	8,597
6	1	10	413	318	638	359	1,728
	2	26	1,093	924	702	2,256	4,975
	3	27	1,340	1,085	1,137	1,381	4,943
合計		259	16,573	17,608	11,503	13,871	59,555

※その他施設：ワークショップルーム、講堂、又日亭、七州城、庭園
※茶室童子苑は、立礼席利用者と茶室利用者の合計

組織

1 組織図　※令和5年4月1日現在



※ 美術館の分掌事務
- ・美術館の運営管理に関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の収集に関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の保管及び取扱いに関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の展示に関すること
- ・美術に関する展覧会等の事業の実施に関すること
- ・美術に係る調査研究に関すること
- ・美術の啓発に関すること

2 美術館運営協議会

より多くの感動を与え、親しまれる美術館運営を目指して、運営協議会を設置し、展覧会の開催、美術文化の普及啓発、来館者サービスの現状と課題について協議しました。

① 委　員　　10名
② 開催日　　令和5年8月3日（木）
　　令和6年2月9日（金）

3 美術品収集委員会

田島美加作「Art d'Ameublement（Cirque aux Mille Couleurs）」はじめ31件の寄贈受け入れについての審査及び評価がされ、すべての案件が可決されました。

① 委　員　　5名
② 開催日　　令和5年12月9日（土）

関係法規

豊田市美術館条例

平成7年3月31日
条例第1号

趣旨

第1条　この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2の規定に基づき、豊田市美術館の設置及び管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

設置

第2条　美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、豊田市美術館（以下「美術館」という。）を豊田市小坂本町8丁目5番地1に設置する。

事業

第3条　美術館においては、次に掲げる事業を行う。
(1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
(2) 美術に関する専門的な調査研究を行うこと。
(3) 美術に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
(4) 美術に関する講演会、講習会等を開催すること。
(5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置目的を達成するため、市長が必要と認めた事業

観覧料

第4条　美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者（以下「観覧者」という。）は、別表第1に定める観覧料を観覧日までに納付しなければならない。ただし、中学生以下の者は、無料とする。
2　前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、観覧日後において観覧料を納付することができる。
(1) 地方自治法第232条の6第1項の規定による公金振替の方法により納付がなされる場合
(2) その他市長が必要と認めた場合
3　前項の規定による納付は、市長が指定する日までになされなければならない。
4　第1項の規定にかかわらず、観覧者がクレジットカード、携帯端末等を用いた電子決済の方法(市長が指定したものに限る。)により観覧日までに納付の手続きを行ったときは、当該観覧者が観覧日において第1項の規定による納付をしたものとみなす。

利用の許可

第5条　別表第2に掲げる施設（以下単に「施設」という。）を利用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。
2　学術研究等のため、美術品等の撮影、模写、模造、熟覧等（以下「美術品等の利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。
3　市長は、施設又は美術品等の管理上必要があると認めたときは、前2項の許可に条件を付することができる。

利用の不許可

第6条　市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、施設の利用及び美術品等の利用を許可しない。
(1) 利用目的に違反すると認められるとき。
(2) 商業宣伝、営業等の行為が主たる目的であると認められるとき。
(3) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
(4) その他管理上支障があると認められるとき。

許可の取消し等

第7条　市長は、第5条第1項又は第2項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するとき、又は公益上特に必要があると認めたときは、その許可を取り消し、利用の中止若しくは停止を命じ、又は許可に付された条件を変更することができる。
(1) この条例又はこれに基づく規則の規定に違反したとき。
(2) 許可に付された条件に違反したとき。
(3) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
2　前項の規定による許可の取消し等によって利用者に損害が生じた場合においても、市は、その責めを負わないものとする。

使用料

第8条　利用者（第5条第1項の規定により許可を受けた者に限る。）は、許可を受けたときにおいて、別表第2に定める使用料を納付しなければならない。

観覧料等の減免

第9条　市長は、特別の事由があると認めたときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

観覧料等の不還付

第10条　既納の観覧料及び使用料は、還付しない。ただし、市長において特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

権利の譲渡等の禁止

第11条　利用者は、その利用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

設備の設置承認及び原状回復

第12条　利用者は、その利用に際して特別の設備を設置しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。
2　利用者は、前項の規定により特別の設備をしたときは、利用後速やかに原状に回復しなければならない。
3　利用者が前項の義務を履行しないときは、市がこれを代行し、その費用を利用者から徴収することができる。

入館の制限

第13条　市長は、美術館内の秩序を乱し、又は乱すおそれがあると認めた者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

損害賠償

第14条　美術館の入館者及び利用者は、故意又は過失により建物、附属設備又は物品を破損し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長が損害を賠償させることが適当でないと認めたときは、この限りでない。

美術館運営協議会

第15条　博物館法（昭和26年法律第285号）第23条第1項の規定に基づき、美術館に豊田市美術館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。
2　運営協議会は、委員10人以内をもって組織する。
3　委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。
(1) 学校教育の関係者

(2) 社会教育の関係者
(3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
(4) 学識経験を有する者
(5) 地域との連携に資する活動を行う者
(6) 公募による市民（市内に居住し、通勤し、又は通学する個人をいう。）
4　委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
5　前項本文の規定にかかわらず、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

委任

第16条　この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附　則

施行期日

1　この条例は、平成7年11月11日（以下「施行日」という。）から施行する。

別表第1（第4条関係）

豊田市美術館観覧料

区分		観覧料（円）（1人1回につき）		年間観覧料（1人につき）
		個人	20人以上の団体	
常設展示	一般	300	250	5,000円以内で市長が定める額
	大学生又は高校生	200	150	
常設特別展示		2,000円以内でその都度市長が定める額		
企画展示				

備考

1 「大学生又は高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校若しくは専修学校に在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
2 「年間観覧料」とは、当該観覧料を納付した日の翌日から起算して1年を経過する日の属する月の末日までの間、同一人が回数について制限を受けることなく観覧することができる観覧料をいう。
3　前項に規定する期間に美術館を臨時に1月以上連続して休館する期間がかかる場合は、同項中「1年」とあるのは、「美術館を臨時に1月以上連続して休館する期間の月数（当該期間に1月未満の端数がある場合は、これを1月に切り上げるものとする。）を1年に加算した期間」とする。

別表第2（第5条、第8条関係）

豊田市美術館使用料

1　ギャラリー使用料

区分	利用目的	単位	使用料（円）
ギャラリー	美術に関する展覧会等の開催	1日	12,000

2　茶室使用料

区分	利用目的	使用料（円）		
		午前（9：00 ～ 13：00）	午後（13：00 ～ 17：00）	夜間（17：00 ～ 21：00）
一歩亭	茶会の開催	3,500	3,500	3,500
豊祥庵		1,500	1,500	1,500

豊田市美術館管理規則

令和2年3月31日
規則第3号

趣旨

第1条　この規則は、豊田市美術館条例（平成7年条例第1号。以下「条例」という。）第16条の規定に基づき、豊田市美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

開館時間及び休館日

第2条　美術館の開館時間及び休館日は、次の表のとおりとする。

区分	開館時間	休館日
美術館（茶室を除く。）	午前10時から午後5時30分まで	(1)　月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。） (2)　12月28日から翌年1月4日まで (3)　美術品等（条例第3条第1号に規定する美術品等をいう。以下同じ。）の展示替えの作業を行う日として市長があらかじめ定める日
茶室	午前9時から午後9時まで	(1)　月曜日（休日に当たる日を除く。） (2)　12月28日から翌年1月4日まで

2　前項の規定にかかわらず、美術館が主催して展示する美術品等の展示会場（以下「展示会場」という。）へ入場できる時間（次項において「入場時間」という。）は、午前10時から午後5時までとする。
3　前2項の規定にかかわらず、市長は、特に必要があると認めたときは、臨時に開館時間、休館日及び入場時間を変更することができる。

観覧券の交付

第3条　市長は、条例第4条の規定により観覧料を納付した者に対し、観覧券を交付するものとする。

観覧券の提示

第4条　前条の規定により観覧券の交付を受けた者は、展示会場へ入場する際に当該観覧券を入口の係員に提示しなければならない。

利用の手続

第5条　条例第5条第1項の規定により施設の利用の許可を受けようとする者は、豊田市美術館利用許可申請書（様式第1号）を市長に提出しなければならない。
2　条例第5条第2項の規定により美術品等の利用の許可を受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書を市長に提出しなければならない。
(1) 美術品等を利用する者の氏名及び住所
(2) 利用する美術品等の名称その他の美術品等の特定に必要な情報
(3) 美術品等の利用目的
(4) 美術品等の利用日時
(5) その他市長が必要と認める事項
3　前項の場合において、利用しようとする美術品等が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得たことを証する書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得たことを証する書面をそれぞれ添付しなければならない。ただし、市長がその必要がないと認めるときは、この限りでない。
4　第1項及び第2項の許可を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、これらの項に規定する申請書その他必要な書面を別表第1に定める区分に従い同表に掲げる期間内に提出しなければならない。ただし、市長が特に必要と認めたときは、この限りでない。

利用許可書の交付

第6条　市長は、利用を許可したときは、豊田市美術館利用許可書（様式第2号。以下「許可書」という。）を申請者に交付する。

利用期間

第7条　施設を引き続き利用することのできる期間（以下「利用期間」という。）は、12日間とする。ただし、美術館が主催し、又は他の団体と共催する行事のために施設を利用するときその他市長が特に必要と認めたときは、この限りでない。

2　利用期間には、休館日を含めないものとする。

利用の変更

第8条　利用の許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、許可書に記載された事項を変更しようとするときは、豊田市美術館利用変更許可申請書（様式第3号）に許可書を添えて市長に提出し、その許可を受けなければならない。

2　市長は、前項の規定により利用の変更を許可したときは、豊田市美術館利用変更許可書（様式第4号。以下「変更許可書」という。）を利用者に交付する。

3　前項の規定により利用の変更を許可された場合において、既納の使用料の額が変更後の使用料の額に対して不足額を生じるときは、利用者は、直ちに当該不足額を納入しなければならない。

利用の許可の取消し

第9条　利用者は、許可の取消しを受けようとするときは、豊田市美術館利用許可取消申請書（様式第5号）に許可書又は変更許可書を添えて、市長に提出しなければならない。

2　市長は、前項の規定により許可を取り消したときは、豊田市美術館利用許可取消通知書（様式第6号）を利用者に交付する。

観覧料等の減免

第10条　条例第9条の規定により観覧料及び使用料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 小学校、中学校若しくは市内に所在する高等学校又はこれらに準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として児童又は生徒の引率者が美術館の展示を観覧しようとする場合　観覧料の全額

(2) 次に掲げる要件のいずれかに該当する者が当該要件に該当することを証明するものを係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合　観覧料の全額

ア市内に在住する18歳以下の者（18歳に達する者にあっては、18歳に達した日以後の最初の3月31日までの間にある者に限る。）及び70歳以上の者

イ市内に住所を有し、かつ、高等学校又はこれに準ずる学校に通学していること。

ウ市内に所在する高等学校又はこれに準ずる学校に通学していること。

(3) 次に掲げる手帳のいずれかの交付を受けている者及びその介添者が当該手帳を係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合　観覧料の全額

ア身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条に規定する身体障害者手帳

イ精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳

ウ戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条に規定する戦傷病者手帳

エ厚生労働大臣の定めるところにより交付された療育手帳

(4) 市内に住所を有する者で市が実施する母子・父子家庭医療費の助成事業において当該母子・父子家庭医療費に係る受給者証の交付を受けているものが当該証書を係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合　観覧料の全額

(5) 美術館の常設特別展示又は企画展示を観覧しようとする者が併せて美術館の常設展示を観覧しようとする場合　常設展示の観覧料の全額

(6) 市又は市の機関が主催し、又は他の団体と共催する行事のために施設を利用する場合　使用料の全額

(7) その他市長が特別の事由があると認めた場合　その都度市長が定める額

2　前項第1号又は第7号の規定により観覧料の減免を受けようとする者はあらかじめ豊田市美術館観覧料減免申請書（様式第7号）を、同項第6号又は第7号の規定により使用料の減免を受けようとする者は第5条第1項に規定する申請書の提出に併せて豊田市美術館使用料減免申請書（様式第8号）を市長に提出しなければならない。ただし、市長が特に必要がないと認めたときは、この限りでない。

3　市長は、観覧料の減免を承認したときは豊田市美術館観覧料減免承認書（様式第9号）を、使用料の減免を承認したときは豊田市美術館使用料減免承認書（様式第10号）を交付する。

優待券等

第11条　市長は、特に必要があると認めたときは、優待券又は招待券を発行することができる。

観覧料等の還付

第12条　条例第10条ただし書の規定による観覧料及び使用料の還付は、別表第2に定める基準によるものとする。

利用責任者

第13条　利用者は、施設及び美術品等の利用に係る規律を保持するため、あらかじめ利用責任者を定めておかなければならない。

事前打合せ

第14条　利用者は、事前に係員と利用方法その他必要な事項について打合せを行わなければならない。ただし、市長が特に必要がないと認めたときは、この限りでない。

利用後の届出等

第15条　利用者は、施設又は美術品等の利用が終わったときは、直ちにその旨を届け出て、係員の点検を受けなければならない。

利用者の遵守事項

第16条　利用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 利用の許可を受けていない施設及びその附属設備並びに美術品等の利用をしないこと。

(2) 次条各号に規定する行為をしないこと。

(3) 施設の利用に当たっては、入場者の安全確保の措置を講じ、及び入場者に次条各号に規定する行為をさせないこと。

(4) 美術品等の利用に当たっては、美術品等の保存に悪影響を及ぼし、及び観覧者の観覧に支障を来す行為をしないこと。

(5) 係員の指示に従うこと。

入館者の禁止事項

第17条　入館者は、次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 施設及びその附属設備並びに美術品等を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をすること。

(2) ライブラリーの図書、文献等の資料を所定の場所以外で閲覧すること。

(3) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をすること。

(4) 騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をすること。

(5) 他人に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込むこと。

(6) 許可を受けないで美術館内及び敷地内において物品を販売し、又は金品の募

集等の行為をすること。
(7) その他美術館の運営に支障を来す行為をすること。

美術館運営協議会の会長

第18条　豊田市美術館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。
2　会長は、運営協議会を代表し、会務を総理する。

運営協議会の会議

第19条　運営協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、議長となる。
2　会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
3　会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

会議の特例

第20条　会長は、緊急を要する場合その他やむを得ない理由のある場合は、委員に書面を送付し又は電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。以下同じ。）を送信し、その意見を徴し又は賛否を問い、その結果をもって会議の議決に代えることができる。
2　前条の規定は、前項の規定による書面又は電磁的記録による審議について準用する。この場合において、同条第2項中「会議」とあるのは「会議における審議」と、「過半数が出席しなければ開くことができない」とあるのは「半数以上から書面又は電磁的記録による回答がなければ成立しない」と、同条第3項中「出席委員」とあるのは「書面又は電磁的記録により回答のあった委員」と読み替えるものとする。

委任

第21条　この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

別表第1（第5条関係）

利用申請期間

利用区分		期間
施設の利用	ギャラリー	利用日の属する月が1月から3月までの場合 前年の1月5日から同月31日までの間
		利用日の属する月が4月から6月までの場合 前年の4月1日から同月30日までの間
		利用日の属する月が7月から9月までの場合 前年の7月1日から同月31日までの間
		利用日の属する月が10月から12月までの場合 前年の10月1日から同月31日までの間
	茶室	利用日の属する月の前12月から利用日の前7日までの間
美術品等の利用		利用日の属する月の前6月から利用日までの間

備考　引き続き2日以上利用しようとする場合の「利用日」とは、その最初の日をいう。

別表第2（第12条関係）

観覧料の還付の基準

区分	還付率
災害その他の観覧料（年間観覧料を除く。）を納付した者の責めに帰すことができない事由によって観覧ができなくなった場合	100%
その他市長が特別の事由があると認めた場合	その都度市長が定める還付率

使用料の還付の基準

区分	還付率
災害その他利用者の責めに帰すことができない事由による取消し	100%
利用日前30日までに取消申請がなされた場合	90%
利用日前20日までに取消申請がなされた場合	60%
利用日前10日までに取消申請がなされた場合	30%
その他市長が特別の事由があると認めた場合	その都度市長が定める還付率

沿革

昭和 54 (1979) 年 7月	市民意識調査で、市民の20%が美術館の建設を望む結果
59 (1984) 年 3月	第4次豊田市総合計画 (1984−1990) の文化施設整備で、(仮称) 豊田市美術館の建設を発表
平成 2 (1990) 年 4月	(仮称) 豊田市美術館構想委員会を設置
3 (1991) 年 3月	(仮称) 豊田市美術館構想委員会が (仮称) 豊田市美術館構想を答申
4月	(仮称) 豊田市美術館美術品収集委員会 (平成6年8月に同選定委員会に改称) を設置
9月	(仮称) 豊田市美術館・髙橋節郎記念館基本計画を策定
4 (1992) 年 3月	(仮称) 豊田市美術館建設基本設計を策定
5 (1993) 年 3月	(仮称) 豊田市美術館建設実施設計を策定
6月	建設工事着工
10月	ヴァチカン美術館との友好交流提携に調印
6 (1994) 年 6月	デトロイト美術館との友好交流提携に調印
7 (1995) 年 3月	豊田市美術館条例公布
6月	建設工事竣工
11月	豊田市美術館開館
8 (1996) 年 7月	入館者10万人達成
11月	豊田市都市景観賞 (主催 : 豊田市)
12月	サインデザイン準優秀賞 (主催 : (社) 日本サインデザイン協会)
9 (1997) 年 11月	入館者20万人達成
11月	建築業協会賞 (主催 : 建築業協会)
10 (1998) 年 2月	愛知まちなみ建築賞 (主催 : 愛知県)
4月	博物館登録
12月	中部建築賞 (主催 : 中部建築賞協議会)
11 (1999) 年 5月	入館者30万人達成
12 (2000) 年 11月	公共建築賞 (主催 : (社) 公共建築協会)
13 (2001) 年 1月	入館者40万人達成
12月	サインデザイン準優秀賞 (主催 : (社) 日本サインデザイン協会)
12月	印刷出版研究所奨励賞 (主催 : 印刷出版研究所)
14 (2002) 年 3月	豊田市美術館モニターを設置
4月	豊田市美術館運営協議会を設置
10月	グッドデザイン賞 (主催 : (財) 日本産業デザイン振興会)
12月	サインデザイン優秀賞 (主催 : (社) 日本サインデザイン協会)
15 (2003) 年 1月	入館者50万人達成
16 (2004) 年 6月	入館者60万人達成
9月	豊田市美術館評価専門委員会を設置
17 (2005) 年 11月	開館10周年記念事業
12月	入館者70万人達成
19 (2007) 年 7月	入館者80万人達成
22 (2010) 年 12月	入館者100万人達成
26 (2014) 年 9月	バリアフリー化等改修工事による休館 (-27年10月)
27 (2014) 年 10月	リニューアルオープン 開館20周年記念事業 (-28年6月)
29 (2017) 年 1月	入館者200万人達成
30 (2018) 年 7月	LED化等改修工事による休館 (-令和元年5月)
令和 1 (2019) 年 6月	リニューアルオープン
2 (2020) 年 5月	優秀照明施設東海支部長賞 (主催 : (社) 照明学会東海支部)
3 (2021) 年 6月	日本照明施設東海支部長賞 (主催 : (社) 照明学会東海支部)
5 (2023) 年 12月	髙橋節郎館改修工事による休館 (-7年1月予定)

奥付

豊田市美術館　年報　No.28（令和5年度）

発行：2024年7月

編集・発行：豊田市美術館

愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

tel：0565-34-6610

© 2024 Toyota Municipal Museum of Art

印刷・製作：三河印刷株式会社